

日本語

**AMS-221ENTS / IP-420
取扱説明書**

*コンパクトフラッシュ (TM) は米国サンディスク社の登録商標です。

目次

I. 機械編 (ミシンについて)	1
1. 仕様.....	1
2. 各部の名称.....	2
3. 据え付け.....	3
3-1. ベット固定ボルトの取り外し.....	3
3-2. 安全スイッチの調整.....	3
3-3. 針板補助カバーの取り付け.....	4
3-4. パネルの取り付け.....	5
3-5. 糸立装置の取り付け方.....	6
3-6. ミシンの起こし方.....	6
3-7. エアーホースの取り付け.....	8
3-8. 圧縮空気源 (供給エアースource) 設備についてのご注意.....	9
3-9. 目保護カバーの取り付け.....	10
4. ミシンの準備.....	11
4-1. 注油方法.....	11
4-2. 針の取り付け方.....	11
4-3. 上糸の通し方.....	12
4-4. 上糸クランプの方法.....	14
4-5. ボビンケースの出し入れ.....	14
4-6. ボビンの入れ方.....	15
4-7. 糸調子の合わせ方.....	15
4-8. 糸切れ検知センサーの調整方法.....	16
4-9. 中押え高さ.....	16
4-10. 糸取りばねの調節.....	17
(1) 糸取りばねの動き量を変える時.....	17
(2) 糸取りばねの強さを変える時.....	17
5. ミシンの操作.....	18
5-1. 縫製.....	18
5-2. 糸つかみ装置.....	18
II. 操作編 (パネルについて)	19
1. はじめに.....	19
2. IP-420 をご使用の場合.....	23
2-1. IP-420 各部の名称.....	23
2-2. 共通で使用されるボタン.....	24
2-3. IP-420 の基本操作.....	25
2-4. 縫い形状選択時の液晶表示部.....	27
(1) 縫い形状データ入力画面.....	27
(2) 縫製画面.....	29
2-5. 縫い形状の選択を行うには.....	31
2-6. 項目データを変更するには.....	33
2-7. 色替えモードを変更するには.....	35
2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには.....	36
(1) 縫製データ作成編集ソフト PM-1 で色替え命令を入力する.....	36
(2) 本体入力機能で色替え命令を入力する.....	38
(3) 本体入力機能で色替え命令を確認する.....	39

(4) 本体入力機能で糸色による色分け表示を行う	40
2-9. 形状確認を行うには	41
2-10. 針落ち点の修正を行うには	42
(1) 中押し高さの編集を行うには	42
(2) 色替えの編集を行うには	44
2-11. 一時停止の使い方	46
(1) 途中から続けて縫製を行うには	46
(2) 最初から縫い直すには	47
2-12. 針先が邪魔で縫製物がセットできない時	48
2-13. 糸を通す針棒と糸押えを切り替えるには	48
2-14. 上糸をクランプさせるには	49
2-15. 下糸を巻くには	50
(1) 縫製しながら下糸巻きを行う場合	50
(2) 下糸巻きのみを行う場合	50
2-16. カウンターを使うには	51
(1) カウンターの設定方法	51
(2) カウントアップの解除方法	53
(3) 縫製中のカウンター値の変更方法	53
2-17. ユーザーパターンの新規登録を行うには	54
2-18. ユーザーパターンに名称を付けるには	55
2-19. パターンボタンの新規登録を行うには	56
2-20. パターンボタン選択時の液晶表示部	57
(1) パターンボタンデータ入力画面	57
(2) 縫製画面	59
2-21. パターンボタン No. 選択を行うには	61
(1) データ入力画面からの選択	61
(2) ショートカットボタンによる選択	62
2-22. パターンボタンの内容を変更するには	63
2-23. パターンボタンをコピーするには	64
2-24. 縫いモードを変更するには	65
2-25. 組み合わせ縫い（コンビネーション）時の液晶表示部	66
(1) データ入力画面	66
(2) 縫製画面	68
2-26. 組み合わせ縫いを行うには	70
(1) 組み合わせデータの選択	70
(2) 組み合わせデータの作成方法	71
(3) 組み合わせデータの削除方法	72
(4) 組み合わせデータのステップの削除方法	72
(5) ステップのスキップ設定	73
2-27. 簡易操作モードを使用するには	74
2-28. 簡易操作選択時の液晶表示部	75
(1) データ入力画面（単独縫い）	75
(2) 縫製画面（単独縫い）	78
(3) データ入力画面（組み合わせ縫い）	81
(4) 縫製画面（組み合わせ縫い）	83
2-29. メモリースイッチデータを変更するには	85
2-30. インフォメーションを使用するには	86
(1) 保守点検情報を見るには	86
(2) 警告の解除方法	87
2-31. 通信機能を使用するには	88

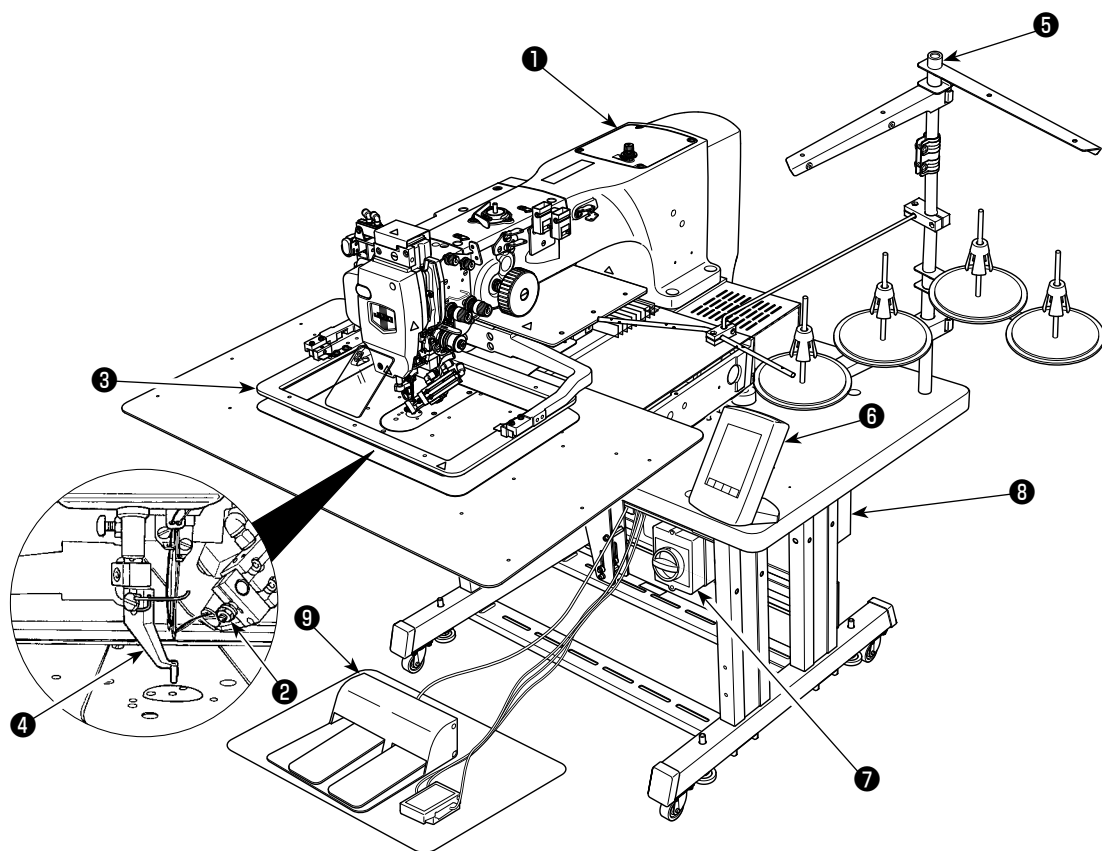
(1) 取り扱い可能なデータについて	88
(2) メディアを使って通信を行うには	88
(3) USB を使って通信を行うには.....	88
(4) データを取り込むには	89
(5) 複数のデータをまとめて取り込むには	90
2-32. メディアのフォーマットを行うには	92
2-33. X・Yモーター位置ずれエラー時の操作.....	93
(1) 縫製中に表示された場合.....	93
(2) 縫製終了後に表示された場合.....	94
(3) リセットスイッチが表示されていない場合.....	94
2-34. パターン作成時の注意	95
3. メモリースイッチデータ一覧.....	97
3-1. データ一覧表.....	97
3-2. 初期値一覧表.....	103
4. エラーコード一覧.....	105
5. メッセージ一覧.....	112
III. ミシンの保守	115
1. 保守.....	115
1-1. 針と釜	115
1-2. 押えの高さ.....	117
1-3. 中押えの上下ストローク調節.....	117
1-4. ワイパー位置.....	118
1-5. 動メスと固定メス	119
1-6. 糸つかみ装置.....	119
1-7. 指定箇所へのグリース補充.....	120
(1) 専用グリース搭載箇所	121
(2) ジューキグリース A の塗布箇所	121
(3) LM ガイド専用グリスの塗布箇所.....	124
1-8. 廃油の処理.....	125
1-9. 釜への給油量.....	125
1-10. ヒューズの交換	125
1-11. 100 ⇄ 200V 電圧仕様の切り替え方法	126
1-12. 縫いにおける現象・原因と対策.....	127
2. オプション	129
2-1. 針穴ガイド一覧.....	129
2-2. フェルト糸案内.....	129
2-3. バーコードリーダー	130

I. 機械編 (ミシンについて)

1. 仕様

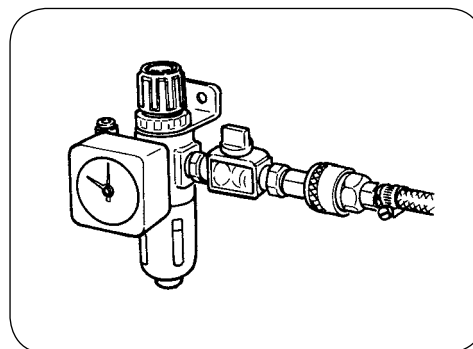
1	縫製範囲	X(左右)方向 Y(前後)方向 300 mm × 200 mm
2	最高縫い速度	2,500 sti/min (ピッチ 3.5mm 以下の時)
3	縫い目長さ	0.1 ~ 12.7 mm (最小分解能 0.05 mm)
4	布押え送り	間欠送り (パルスモーター 2 軸駆動方式)
5	針棒ストローク	41.2 mm
6	使用針	グロッツ・ベッケルト 135 × 17(#90 ~ #120) オルガン針 DP × 17(#14 ~ #20) ※使用できる左右の針番手差は 2 番手以内となります。
7	外押え上昇量	最大 30 mm
8	中押えストローク	標準 4 mm (0 ~ 10 mm)
9	中押え上昇量	20 mm
10	中押え下位置可変	標準 0 ~ 3.5 mm (最大 0 ~ 7.0 mm)
11	釜	半回転倍釜
12	使用油	JUKI ニューデフレックスオイル No. 2 (注油方式)
13	模様データの記憶	本体、メディア ・本体：最大 999 パターン (最大 50,000 針 / 1 パターン) ・メディア：最大 999 パターン (最大 50,000 針 / 1 パターン)
14	一時停止機能	縫い途中で停止させることができます。
15	拡大・縮小機能	パターンを縫製時に X・Y 軸独立に拡大・縮小することができます。 1% ~ 400% (0.1 % 単位)
16	拡大・縮小方式	縫い目長さ増減 / 針数増減の選択ができます。 (パターンボタン選択時は縫い目長さ増減のみとなります。)
17	縫速度制限	200 ~ 2,500 sti/min (100 sti/min 単位)
18	模様選択機能	パターン No. 選択方式 (本体：1 ~ 999、メディア：1 ~ 999)
19	下糸カウンター	アップ / ダウン方式 (0 ~ 9,999)
20	縫製カウンター	アップ / ダウン方式 (0 ~ 9,999)
21	メモリーバックアップ	電源遮断時、自動的に使用していたパターンを記憶します。
22	第 2 原点の設定	縫製後の針位置を縫製範囲の指定位置に寸動スイッチで第 2 原点を設定できます。この設定も記憶されます。 ※第 2 原点が設定可能な範囲については 「II-2-34. パターン作成時の注意」 p.95 を参照ください。
23	ミシンモーター	サーボモーター
24	外形寸法	W : 1,200 mm L : 1,070 mm H : 1,200 mm
25	質量 (総質量)	210kg
26	消費電力	700 VA
27	使用温度範囲	5 °C ~ 35 °C
28	使用湿度範囲	35 % ~ 85 % (結露なし)
29	電源電圧	定格 ± 10 % 50/60 Hz
30	使用エア一圧	0.6 MPa (最大 0.65MPa)
31	エア一消費量	2.8 dm ³ /min(ANR)
32	針棒上死点停止機能	縫製後、針棒を上死点位置に戻すことができます。
33	騒音	JIS B 9064 に準拠した測定方法による「騒音レベル」 縫い速度 = 2,500sti/min : 騒音レベル ≤ 84.5dBA

2. 各部の名称



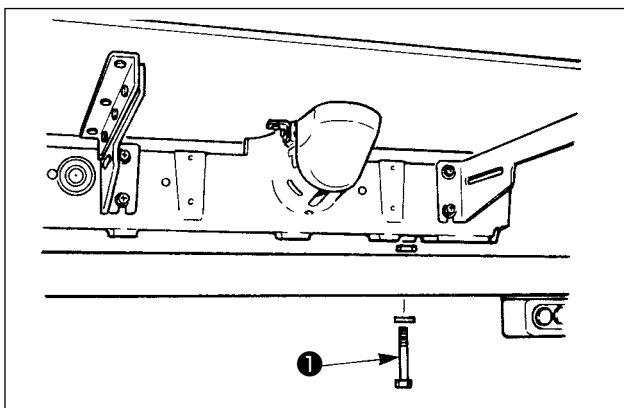
- ① ミシン頭部
- ② ワイパー、上糸吸引装置
- ③ 外押え
- ④ 中押え
- ⑤ 糸立装置
- ⑥ 操作パネル (IP-420)
- ⑦ 電源スイッチ (非常停止スイッチ兼用)
- ⑧ 制御ボックス
- ⑨ 足踏みペダル

エア制御装置



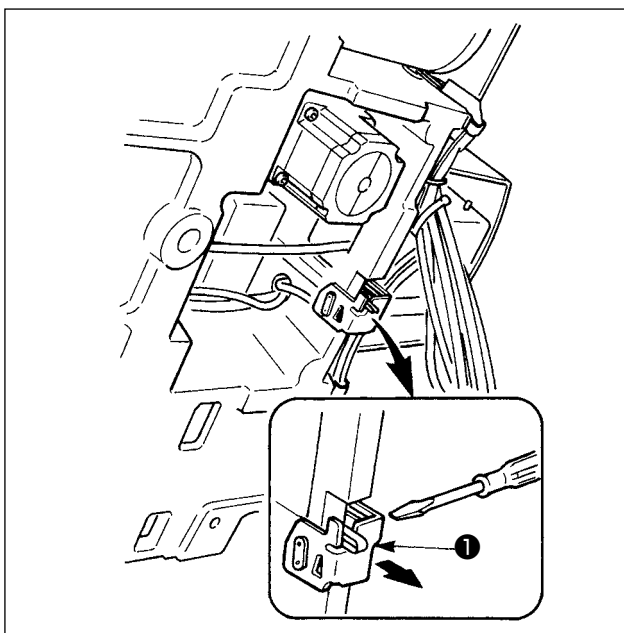
3. 据え付け

3-1. ベッド固定ボルトの取り外し



ベッド固定ボルト①を取り外してください。
ミシンを輸送するには必要なボルトです。

3-2. 安全スイッチの調整



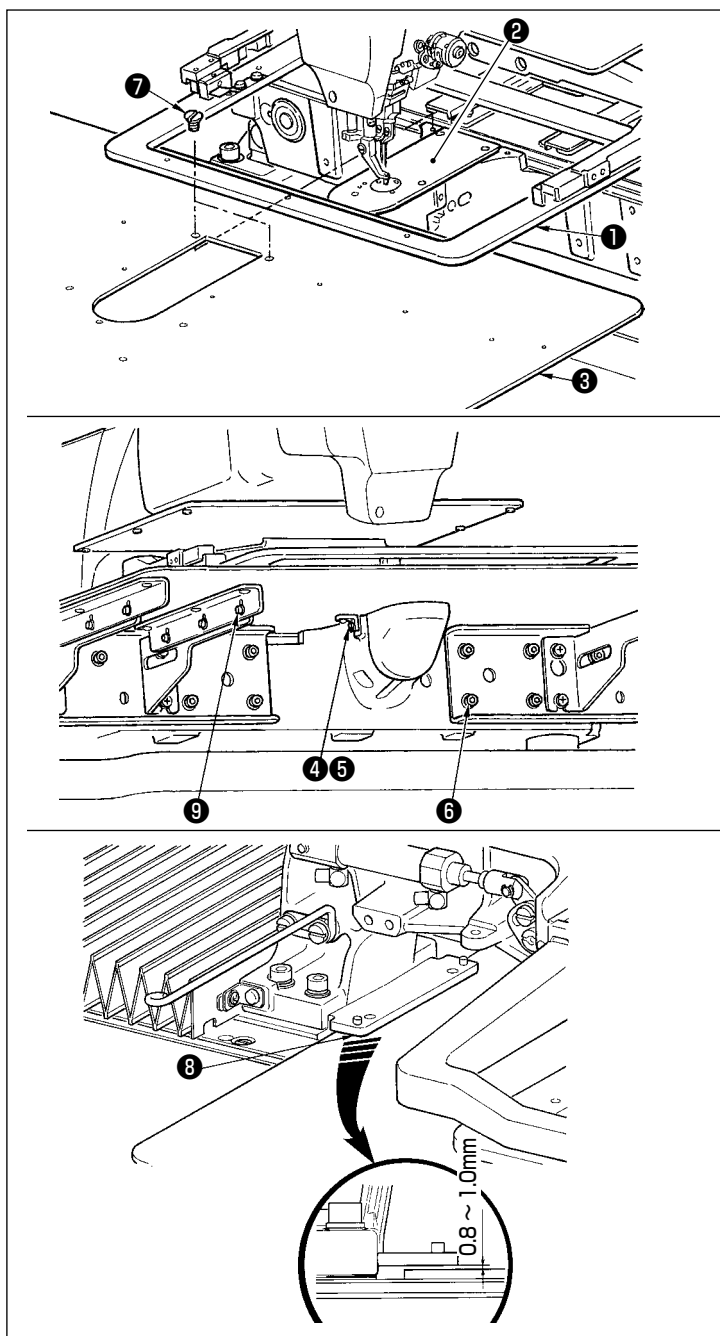
セットアップ後、ミシン動作時にエラー 302 が発生する場合は、ドライバーで安全スイッチ取付ねじをゆるめて、ミシン下方に安全スイッチ①を下げて調整してください。

3-3. 針板補助カバーの取り付け

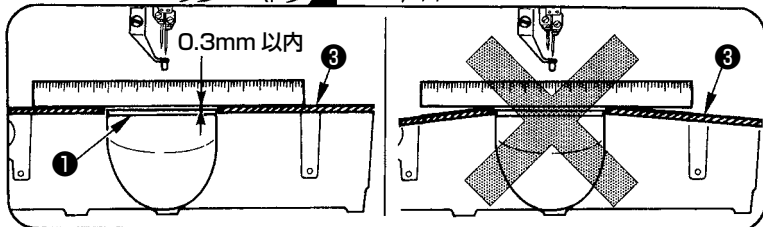
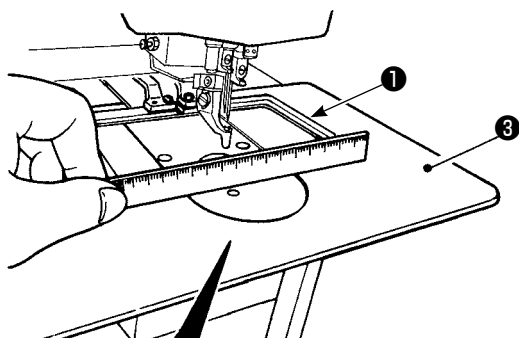


1. 出荷時、ステー類は針板補助カバーにセットされ、ベットへの取付けねじ、座金は付属品に同封されています。

2. 付属のカバーシートをご使用の際は、取付け前に針板補助カバーに貼りつけてください。



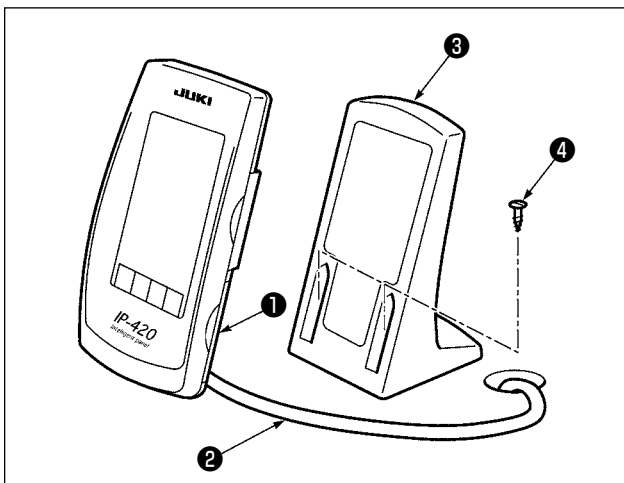
- 1) 布送り台を奥に移動して、下板**①**と針板**②**の間から針板補助カバー（組）**③**を入れます。この時下板**①**を曲げたり、傷つけたりしないように注意してください。
- 2) 針板補助カバー止めねじ**⑤**と座金**④**で、針板補助カバー（組）**③**を仮固定してください。
- 3) 針板補助カバー（組）**③**を針板補助カバー支え止めねじ**⑥**（10個）でベッドに仮固定します。
- 4) 皿ねじ**⑦**2本で針板補助カバー（組）**③**をベットに固定します。
- 5) 布送り台を左手前に動かし、下板取付板**⑧**の下面と針板補助カバー（組）**③**上面との距離が0.8～1.0mmになるように針板補助カバー（組）**③**を上下に動かし、止めねじ**⑥**を固定します。
- 6) 同様の事を布送り台を右手前に動かし行ってください。
- 7) 針板補助カバー止めねじ**⑤**を固定します。
- 8) 注意を参照し、針板補助カバーの位置出しを行ってください。位置出しが十分に行えない場合は、針板補助カバー止めねじ**⑤**、針板補助カバー台止めねじ**⑨**を一旦ゆるめて行ってください。



1. 針板補助カバー③が針板②より高く (0.3mm 以内) なるように固定してください。針板②より低いと、送り不良による針折れなどの原因となります。
2. 針板補助カバー③が水平に取り付けられていることを定規等をあてて確認してください。水平に取り付けられていないと、針板補助カバー③と下板①の部分当たりが発生し、異常摩耗の原因となります。

3-4. パネルの取り付け

1) IP-420 の取り付け

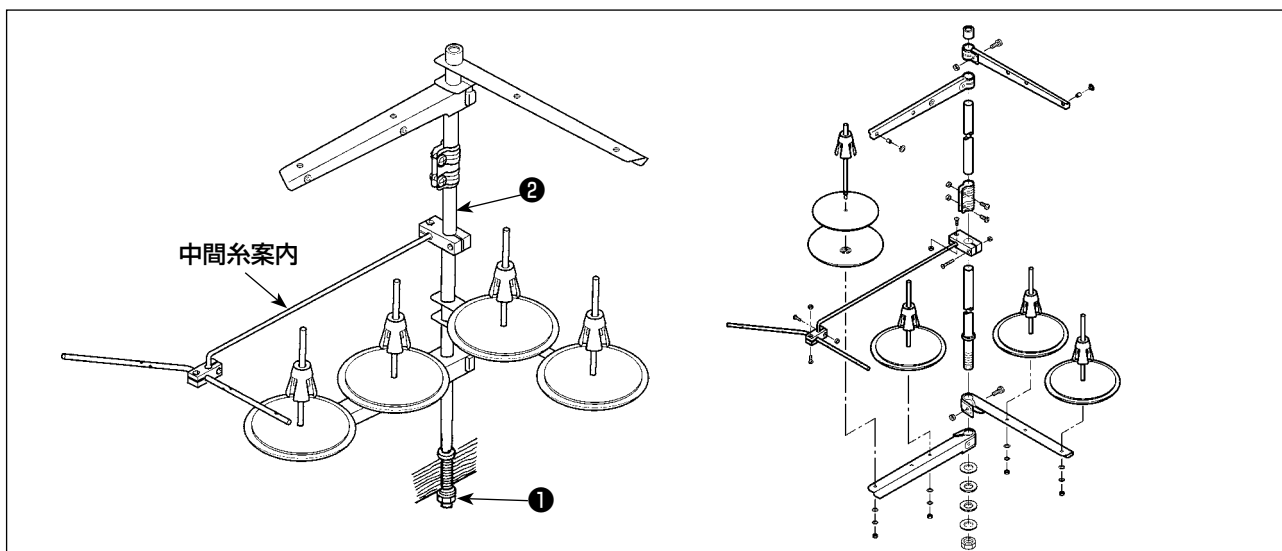


- 1) カバー①を開き、ケーブル②をいったん外してテーブルの穴を通した後、テーブル上面で再びパネルに繋いでください。
- 2) テーブル上の任意の場所に、操作ボックス取付板③を木ねじ 2 本④で固定します。



パネル破損の原因となるため、X 移動カバーや頭部グリップが干渉しない位置に取付けてください。

3-5. 糸立装置の取り付け方



- 1) 糸立装置を組み付け、テーブル左上の穴にセットしてください。
- 2) 糸立装置が動かないように止めナット①を締めてください。
- 3) 天井配線ができる場合は、電源コードは糸立棒②の中を通してください。

3-6. ミシンの起こし方

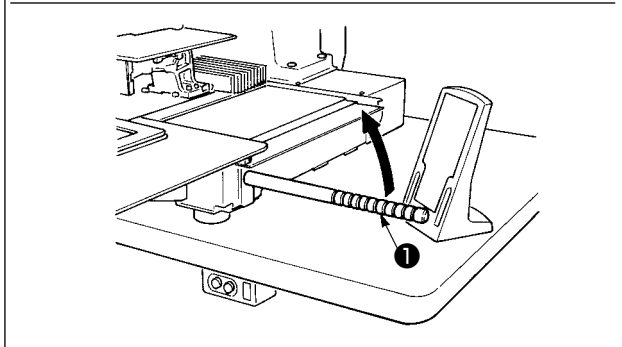
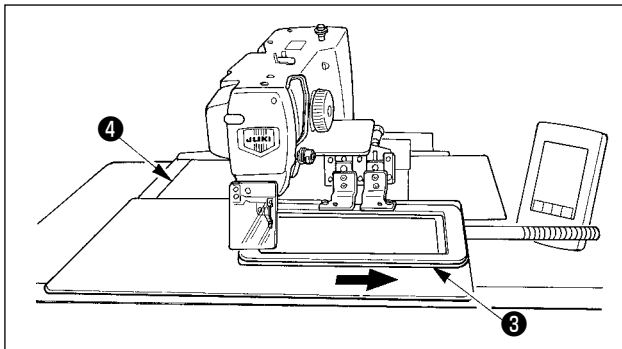


ミシンを倒したり起こしたりする時は、指をミシンにはさまないように注意して行なってください。また、不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行なってください。

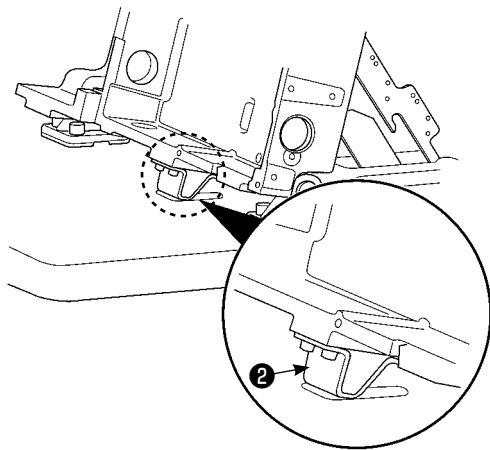
本ミシンは、針板補助カバー（組）を外さないと起こすことができません。[「I-3-3. 針板補助カバーの取り付け」 p.4](#)を参照し、針板補助カバー（組）を外してからミシンを起こしてください。ミシンを使用する際には、[「I-3-3. 針板補助カバーの取り付け」 p.4](#)を参照し針板補助カバー（組）を取付けてください。



1. 倒れ防止のため、必ず水平な場所で、脚卓（キャスター）が動かないよう固定してからミシンを起こしてください。
2. X移動カバー④がミシンテーブルと干渉し破損の原因となりますので、必ず、外押え③を最大限右に移動させてからミシンを起こしてください。
3. テーブル上への油汚れを防ぐため、ミシンを起こした時は、ミシン底面の▲部を清掃してください。



マシンメンテナンス位置

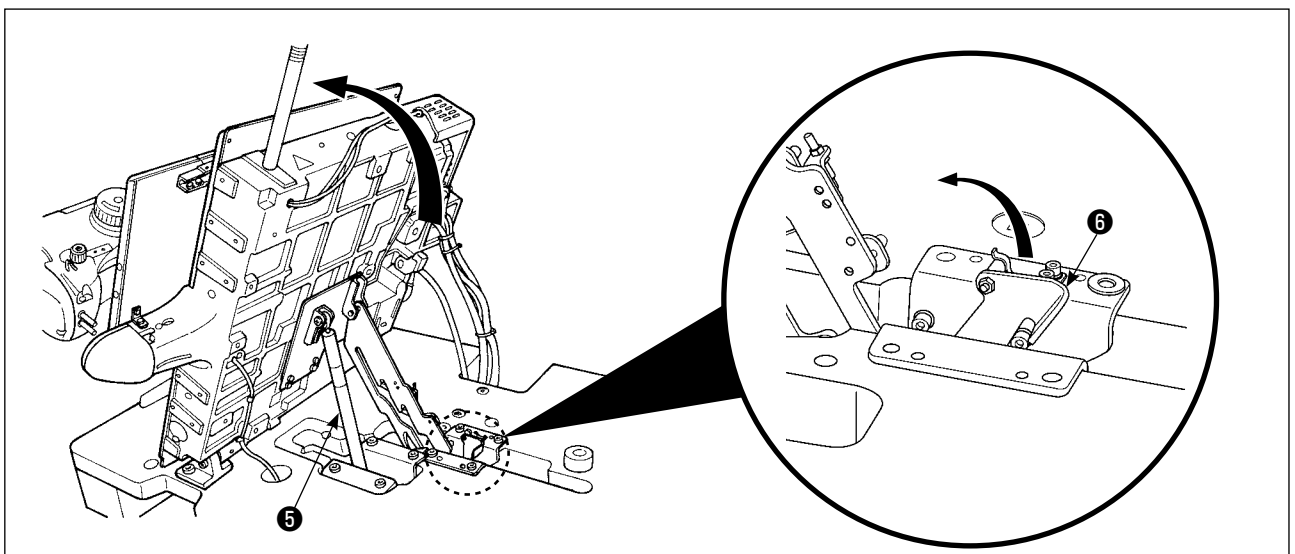


マシンを起こした状態で作業を行う場合は、下記の通り行ってください。

1. 外押え③を最大限右に寄せテープで固定して、付属の頭部グリップ①をいっぱいねじ込んで取り付けてください。
2. 頭部グリップ①を持ち、マシンをメンテナンス作業位置（頭部支え②がテーブルにつく位置）まで矢印方向に持ち上げてください。

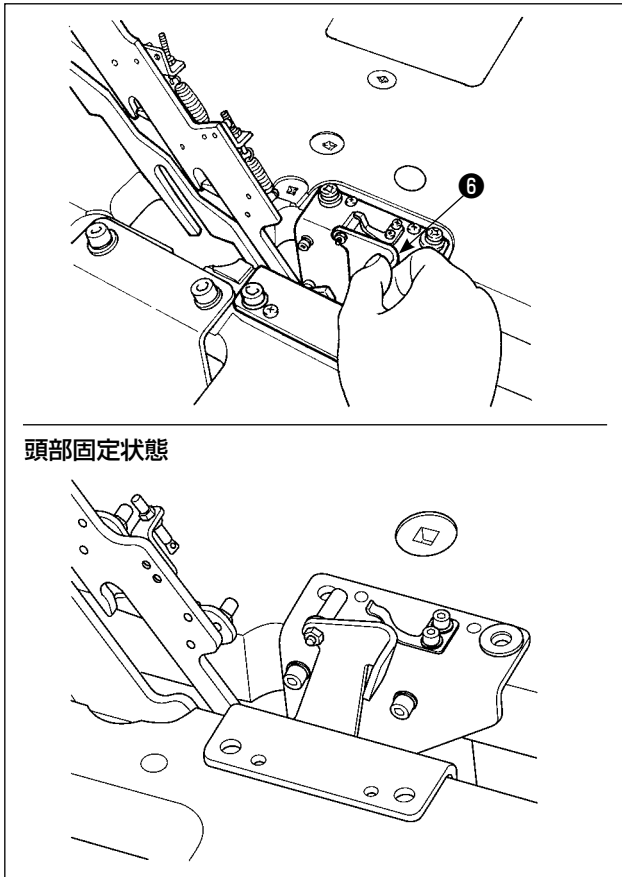
・マシンを持ち上げる際、頭部グリップ①位置で 20 kg以上の力が必要な場合はガススプリング⑤のガスが抜けているためガススプリングを交換してください。

・マシンを起こしていくとテーブルに対してマシンが約 45° 傾いた位置からガススプリング⑤によりマシンは矢印方向に動きますので、両手で支えながらゆっくりとメンテナンス位置まで持ち上げてください。



3. ストッパー解除レバー⑥を、矢印方向に回しマシンを固定してください。

・マシンとテーブルの間に手や体の一部を挟みこまないようにメンテナンス位置以外では、ストッパー解除レバー⑥の操作をしないでください。



ミシンを元の位置に戻す場合は、下記の通り作業を行ってください。

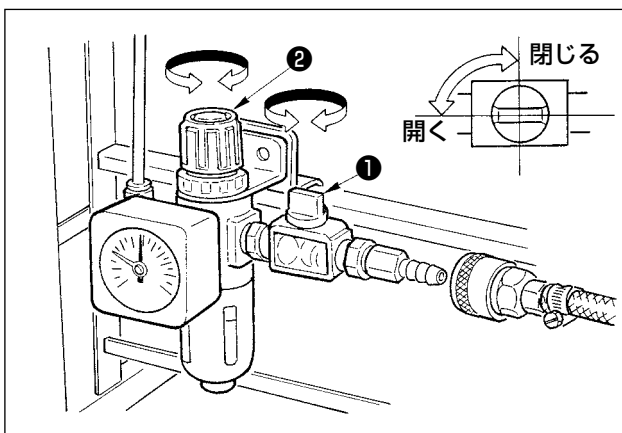
1. ストッパー解除レバー**⑥**を元の位置に戻してください。(レバーが固定される位置まで戻してください)
2. 頭部グリップ**①**を両手で持ちゆっくりと戻してください。

・ミシンを戻す際に、ミシンの傾きが約70度の位置でガススプリング**⑤**により保持されるため途中で止まります。さらに戻し方向に力をかけることでミシンを元の位置に戻してください。

注意

・ミシンを勢いよく戻すと途中でミシン開閉ロックがかかります。その場合はロックした位置からミシンを少し持ち上げることでロックが解除されますので再度ゆっくり操作してください。

3-7. エアーホースの取り付け

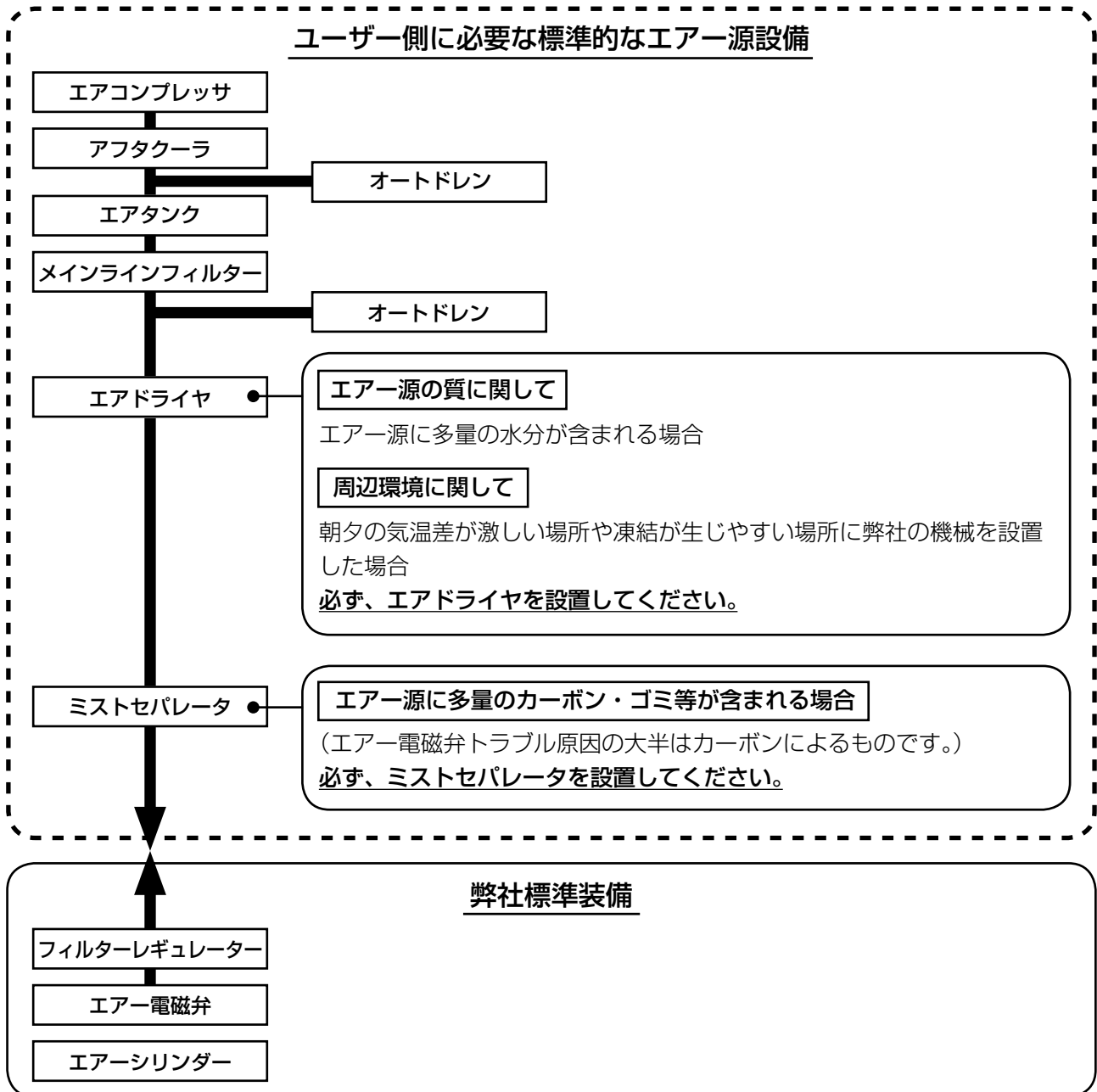


- 1) エアーホースの配管
レギュレーターにエアーホースを接続してください。
 - 2) 空気圧の調整
エアーコック**①**を開き、エアー調整つまみ**②**を上へ引いてから回して、エアー圧力を0.6MPaとし、つまみを下げて固定してください。
- * エアーコック**①**を閉じるとエアーは抜けません。

3-8. 圧縮空気源（供給エアースource）設備についてのご注意

空気圧機器（エアースリンダー、エアース磁弁）の故障原因の90%はエアースの質「汚れた空気」にあります。圧縮空気中には、水分・ゴミ・劣化したオイル・カーボン粒子など、さまざまな不純物が含まれており、この「汚れた空気」をそのまま使用すると、トラブルの発生原因となり、機械の故障・稼働率の低下による生産性の減少を招きます。

エアース機器使用の機械を設置する場合、下記の標準的なエアース源設備を必ず施してください。



メイン配管上のご注意



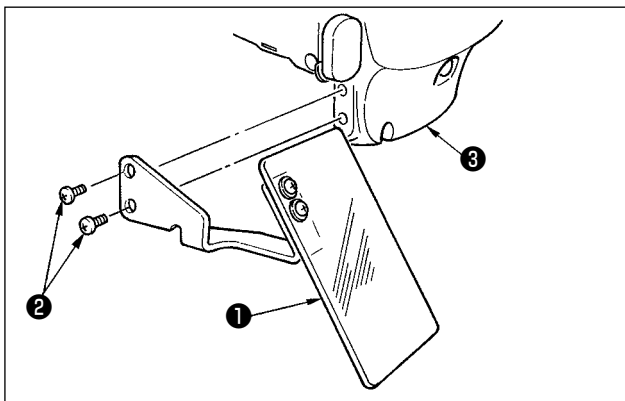
- ・ メイン配管は空気の流れ方向に 1m につき 1cm の下り勾配をつけてください。
- ・ メイン配管から分岐する場合、圧縮空気の取出口はティーを用いて配管上部に設けて、管内に溜るドレンの流出を防いでください。
- ・ すべての低い箇所や死端には排水装置（オートドレン）を設けて、ドレンが溜るのを防いでください。

3-9. 目保護カバーの取り付け



危険

針折れによる飛散から目などを保護しますので必ず取り付けて使用してください。



目保護カバー①は、必ずねじ②で面部カバー③に取り付けてからご使用ください。

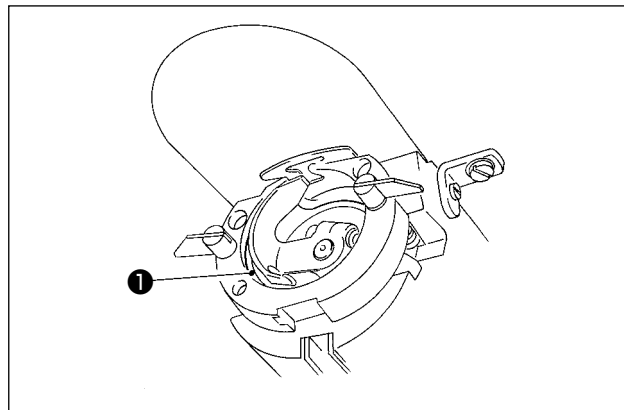
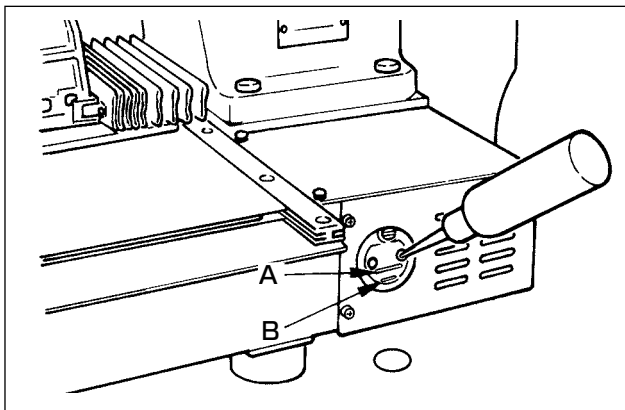
4. ミシンの準備

4-1. 注油方法



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



1) 下線 B と上線 A の間まで油が入っていることを確認してください。不足している時は付属の油差しで注油してください。

2) 釜レース面①に一滴、にじむ程度注油してください。



注油するオイルタンクは釜部のみへ給油するためのものです。使用回転数が低い場合で釜部の油量が多い場合は油量をしぼることができます。(「III-1-9. 釜への給油量」 p.125 をご覧ください。)



1. オイルタンクと下記注意 2 の釜部以外は注油しないでください。部品故障の原因になります。

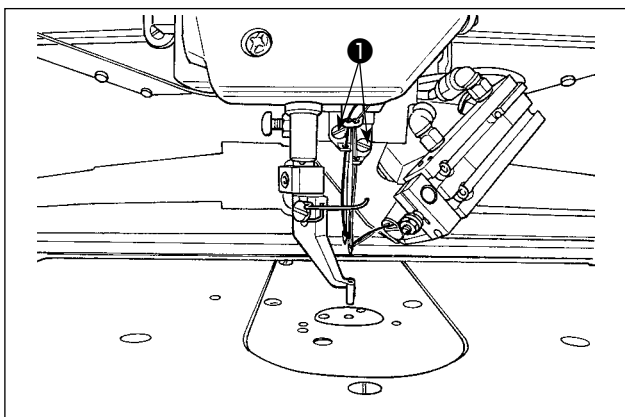
2. 初めてミシンをご使用する時や、しばらくミシンをご使用していなかった場合は、釜部に少量の注油を行ってからご使用ください。(中釜の取外しは「III-1-1. 針と釜」 p.115 をご覧ください。)

4-2. 針の取り付け方



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



止めねじ①をゆるめ、針の長溝を手前に向けて針棒の穴いっぱい差し込み止めねじ①を締めます。



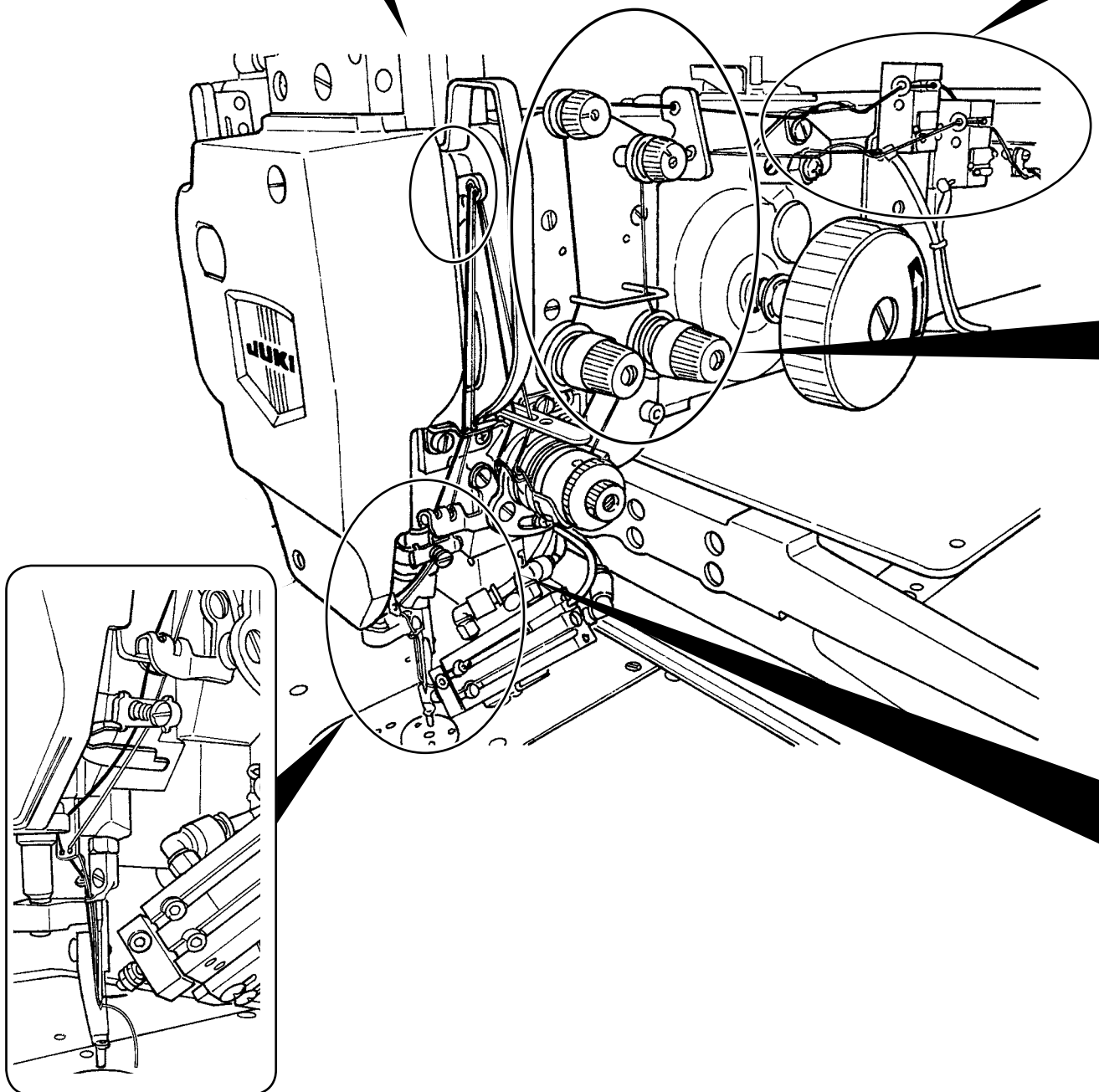
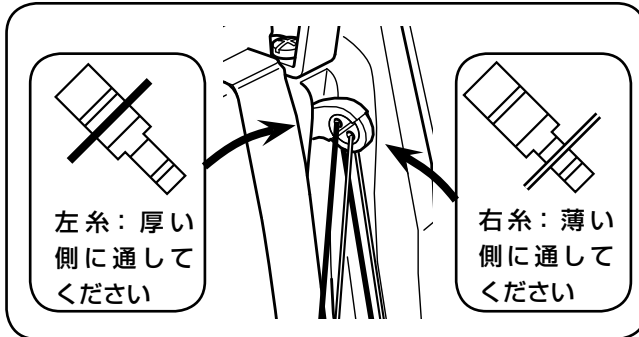
止めねじ①を締める際には、必ず付属のマイナスドライバー(品番: 12347308)を使用してください。使用できる左右の針番手差は2番手以内となります。

4-3. 上糸の通し方

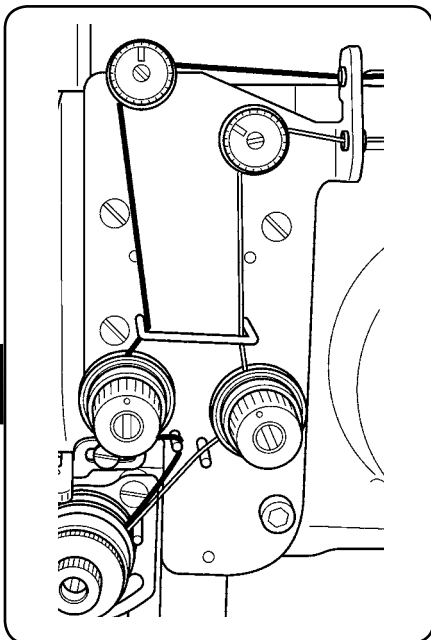
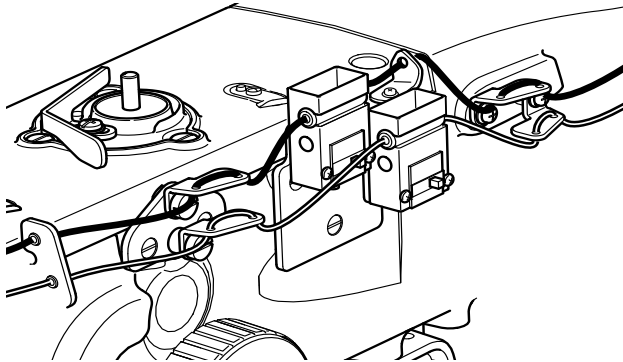


注意

針に糸を通す時は、不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



コーティング糸を使用の場合は第一、第二糸案内の糸通しに糸を巻きつけず通してください。

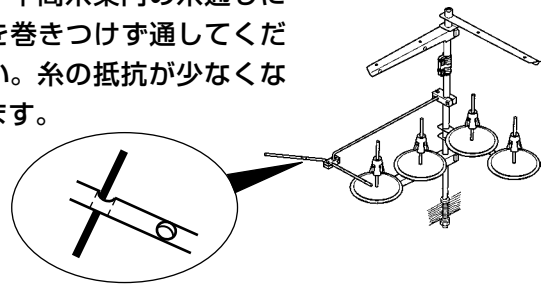


1. 針に糸を通す際に操作パネルで針棒位置を切り換えると通しやすくなります。切り換えの方法は「II-2-13.糸を通す針棒と糸押えを切り替えるには」p.48を参照してください。

2. 糸押え部に糸を通す際に操作パネルで糸押え棒の位置を切り換えると通しやすくなります。切り換えの方法は「II-2-13.糸を通す針棒と糸押えを切り替えるには」p.48を参照してください。

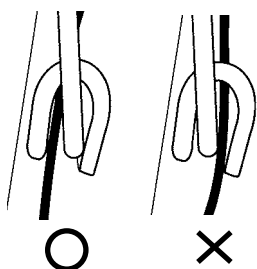


3. コーティング糸を使用の場合、中間糸案内の糸通しに糸を巻きつけず通してください。糸の抵抗が少なくなります。



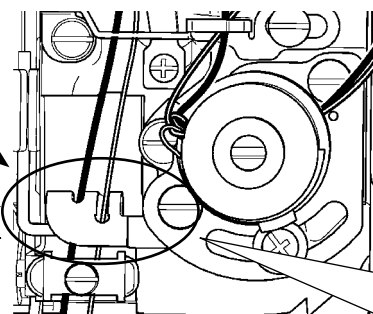
左糸は糸押え棒の奥側に通してください。

左糸



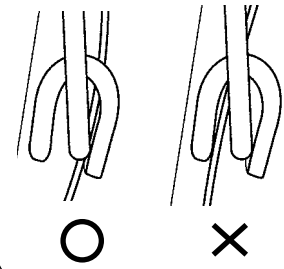
糸押え棒

糸押え部

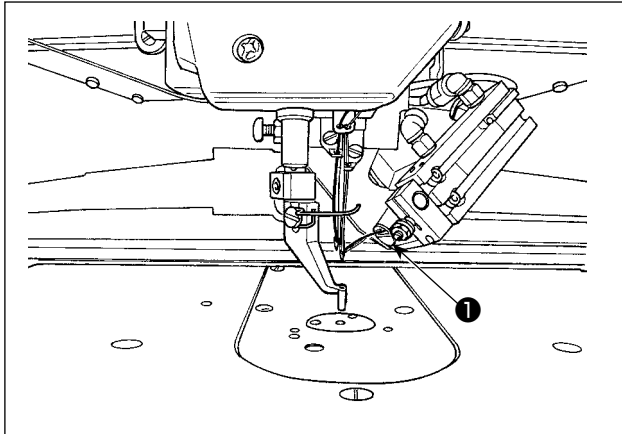



右糸は糸押え棒の手前側に通してください。


右糸

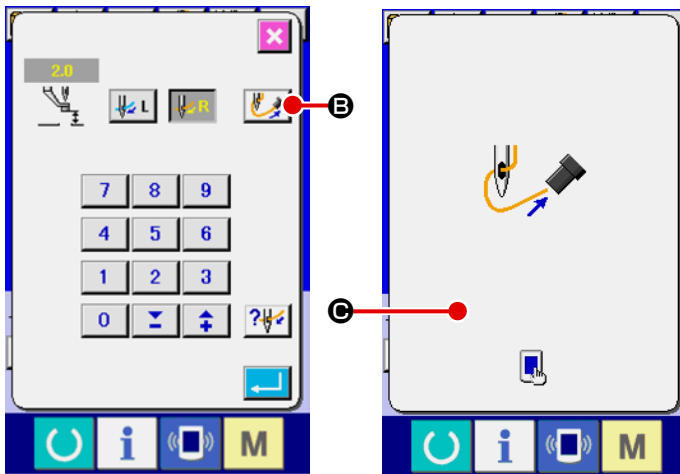


4-4. 上糸クランプの方法



1) 中押え設定ボタン  **A** を押し、上糸吸引ボタンを表示させます。

2) 上糸吸引ボタン  **B** を押すと糸吸引画面が表示され、上糸吸引装置がエア吸引の状態となるので、左右両方の針に通した上糸2本を**1**に吸い込ませてください。



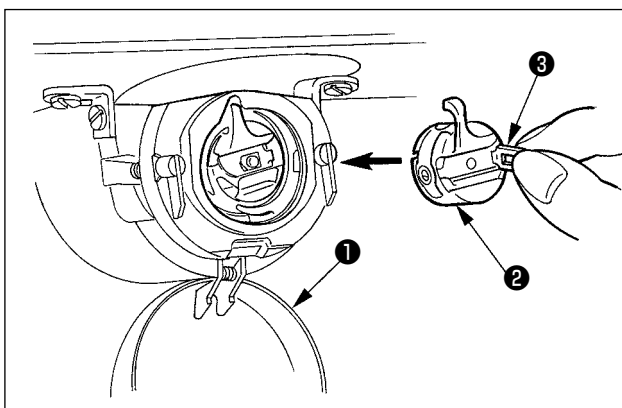
3) 上糸を吸い込ませたあとで糸吸引画面上 **C** をタッチするとエア吸引が止まり上糸がクランプされます。

4-5. ボビンケースの出し入れ



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



- 1) 釜カバー**1**を開きます
- 2) ボビンケース**2**のつまみ**3**を起こして取り出します。
- 3) 入れるときは、つまみを倒した状態で、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

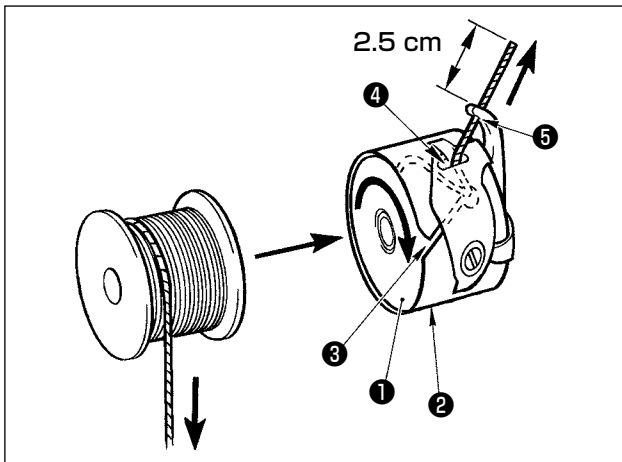
注意 差し込みが不十分だと縫製中にボビンケース**2**の抜け落ち原因となります。

4-6. ボビンの入れ方



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。

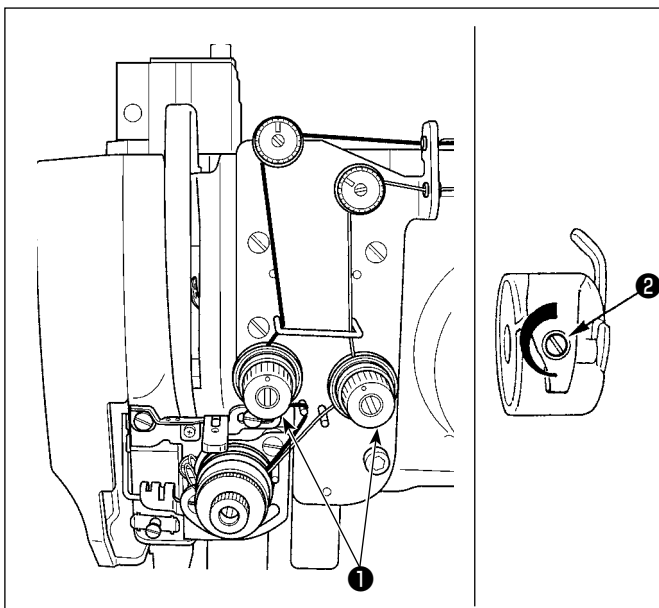


- 1) 図の方向にボビン①を、ボビンケース②に入れます。
- 2) 糸をボビンケース②の糸通し口③に通し、そのまま糸を引くと、糸調子ばねの下を通り糸口④に引き出されます。
- 3) 角部の糸穴⑤に糸を通し、糸穴から2.5cm引き出します。



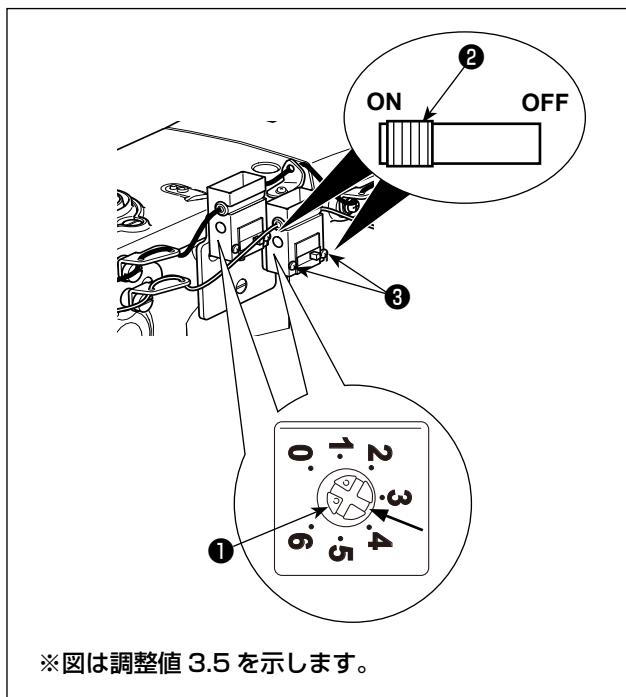
ボビンの回転方向が逆になると下糸の引き出しが不安定になります。

4-7. 糸調子の合わせ方



- 1) 上糸張力の調節
第二糸調子ナット①を右に回すと上糸張力は強くなり、左に回すと弱くなります。
- 2) 下糸張力の調節
糸調子ねじ②を右に回すと下糸張力は強くなり、左に回すと弱くなります。

4-8. 糸切れ検知センサーの調整方法



糸切れ検知センサーは糸切れにより糸が流れ（動き）が止まることを検知するセンサーです。センサーの感度は出荷時に標準調整値に調整済ですが、以下のような場合は再調整を行ってください。

- 糸が切れていないのにミシンが止まる。
（糸が細い場合や糸の張力が強い場合、低速時など）
⇒ 調整ボリューム①を右に回し、センサーの感度を上げてください。
 - 糸が切れたのにミシンが止まらない。
（高速時など）
⇒ 調整ボリューム①を左に回し、センサーの感度を下げてください。
- ※ 調整値は 3～4.5 を目安に糸の張力や種類によって調整を行ってください。

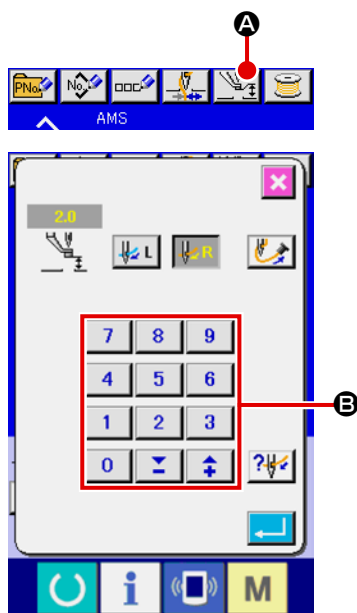


1. 糸切れ検知センサーには ON-OFF スイッチ②があります。ON の状態にしないとセンサは働きません。
2. 調整ボリューム①の標準調整値は 3.5 になります。
3. 1 目盛りあたりの角度は約 45° です。
調整後は止めねじ③をゆるめカバーを外し、目盛りをご確認ください。
4. 調整ボリュームの値が 5 より大きい場合、ミシンの振動やノイズに弱くなり、誤作動する恐れがあります。

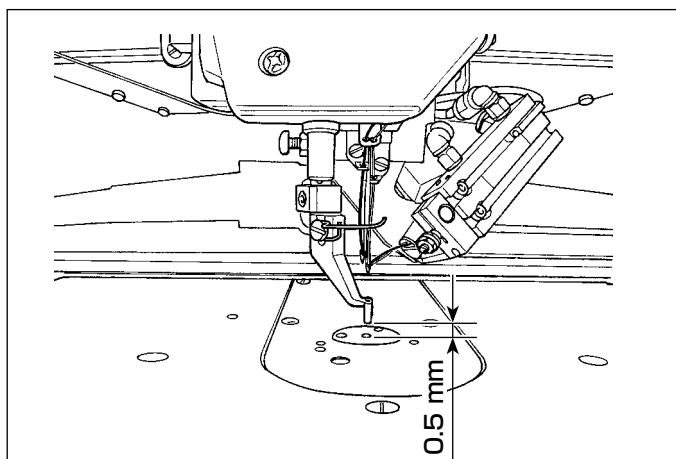
4-9. 中押え高さ



1. 中押え高さを上げた時は、手でプリーを回して針棒を下げ、中押えと干渉しないことを確認してください。
2. 手・指を、外押え・中押えにはさまれないようご注意ください。



中押え設定ボタン **A** を押し、針最下点時で、中押え下端と布地のすき間が 0.5mm (使用糸の太さ) となるようにテンキー **B** で調整してください。



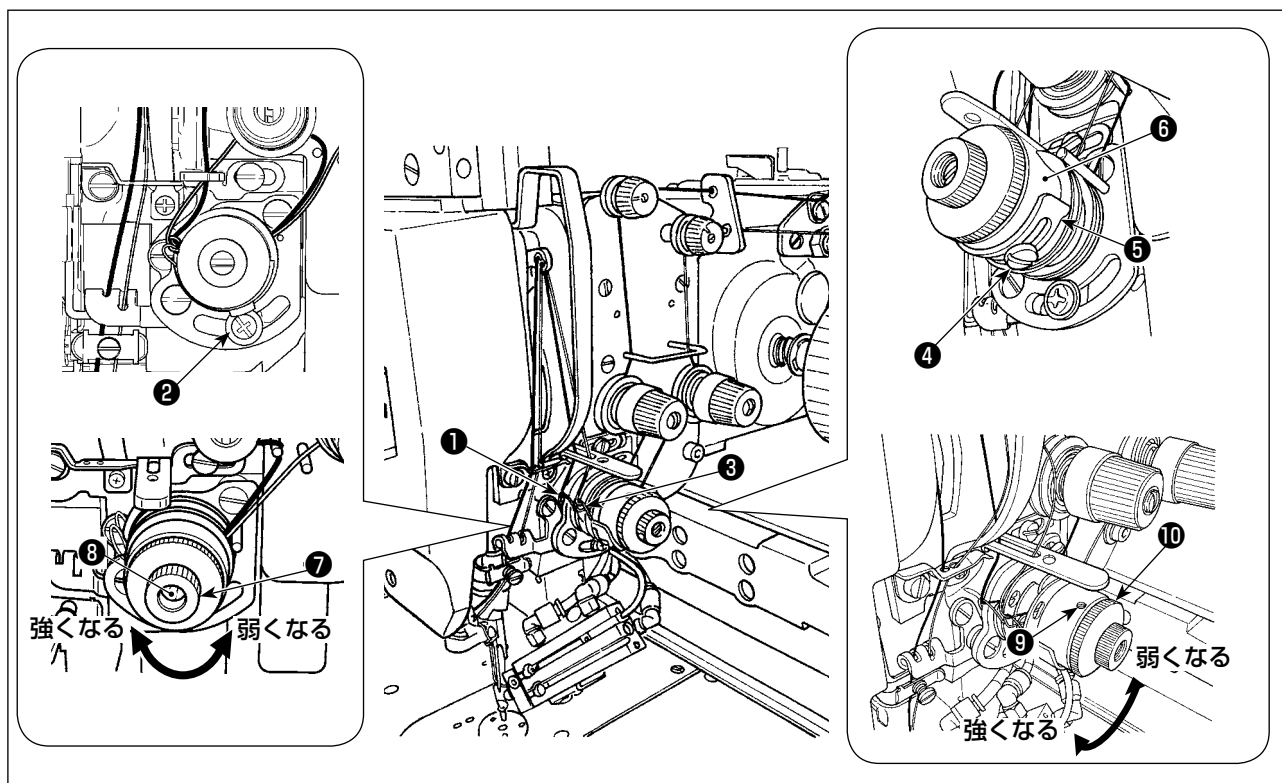
1. 中押えの設定範囲は標準 3.5mm までです。

メモリスイッチ U112 にて最大 7mm まで設定範囲を変更できます。



2. ワイパーや中押えの調整をした時や、針番手を太くした時は、針先とワイパーのすき間を確認して下さい。すき間が確保できない場合は、ワイパーを使用できません。ワイパーのスイッチを OFF にして下さい。なお、出荷時は、中押え高さ設定に関わらず、中押え最下降位置でワイパーが払う設定となっています。(メモリスイッチ U105)

4-10. 糸取りばねの調節



(1) 糸取りばねの動き量を変える時

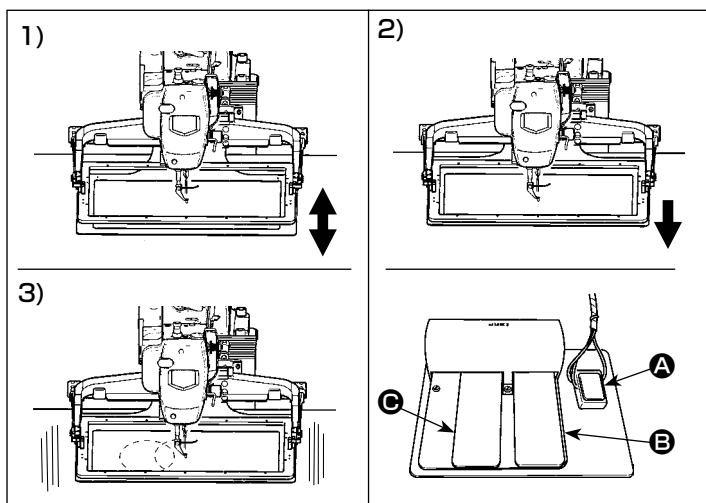
- 1) 左側の糸取りばね①は、ねじ②をゆるめ、長穴に沿わせて動かし調節します。
- 2) 右側の糸取りばね③は、ねじ④をゆるめ、糸取りばね調節板⑤を糸取りばね土台⑥に沿わせて動かし調節します。

(2) 糸取りばねの強さを変える時

- 1) 左側の糸取りばね①の強さは、ナット⑦をゆるめ、ばね軸⑧を右に回すと強くなり、左へ回すと弱くなります。
ナット⑦を締めて固定します。
- 2) 右側の糸取りばね③の強さは、ねじ⑨をゆるめ、ナット⑩を右に回すと強くなり、左へ回すと弱くなります。
ねじ⑨を締めて固定します。

5. ミシンの操作


5-1. 縫製



[メカニカルバルブペダルの場合]

- 1) 縫製品を外押えの下に入れ、ペダルスイッチのペダル **A** を踏むと外押えが下がります。足を離すと、外押えが元の位置に復帰します。踏み込む量によって押えの下がる速度が変わります。パーツの位置決めの際に使用します。
- 2) 縫製品の位置決めをし、ペダル **B** を踏むと外押えが一番下まで下降し、縫製品を保持します。
- 3) 外押えが一番下まで下降している時にペダル **C** を踏むと縫製を開始します。

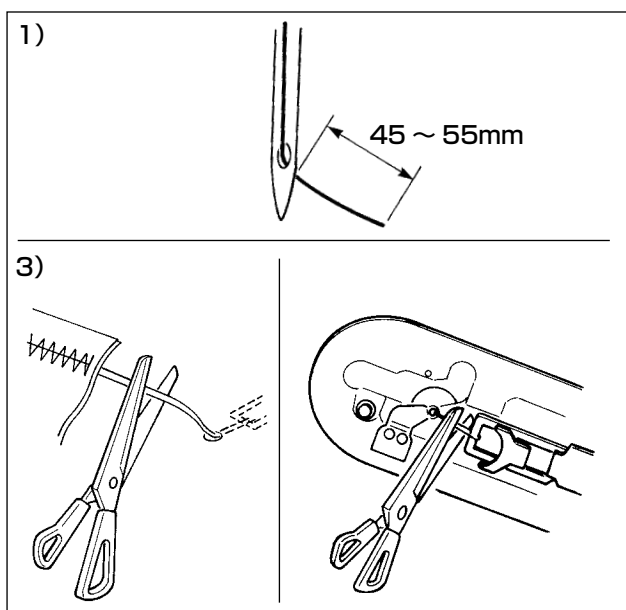
5-2. 糸つかみ装置

糸つかみ装置を動作させることで、高速スタート時の縫い不良（上糸抜け、目飛び、上糸汚れ）を防止し、安定した縫いを保ちつつ、生地裏の上糸の溜まり（鳥の巣）を少なくすることができます。IP-420 搭載時、動作 ON/OFF の切り換えは  キーで行います。糸つかみ装置が OFF の場合には自動的にスロースタートとなります。



重要 メモリスイッチ No.35 が 1 (禁止) の時は糸つかみは動作しません。また、 キーは無効です。

糸つかみ有り（動作）の場合は、縫い始め上糸の針糸長さを 45 ～ 55mm に調整してご使用ください。また、長くしすぎると上糸つかみに保持された上糸端が縫い目に巻き込まれることがあります。



- 1) 糸つかみ有り時の針糸長さの目安は 45 ～ 55mm です。
 - ・ 縫い始めのスッポ抜け、1 針目からの目飛び → 範囲内で長めに調整
 - ・ 2 針目～ 10 針目程度迄の目飛び → 範囲内で短めに調整



注意 太糸使用時に針糸を長くし過ぎると上糸つかみに保持された上糸端が縫い目に巻き込まれ、布地が位置ずれを起こしたり、針折れの原因になる事があります。



1. パターンによっては縫い始めの糸を巻き込んでしまうことがあります。調整を行っても巻き込んでしまう時は、糸つかみを OFF にして使用してください。
2. 糸つかみ装置部に糸くずがはさまった状態では、糸つかみ不良を起こすことがあります。【III-1-6. 糸つかみ装置】 p.119 を参照し、糸くずを取り除いてください。

II. 操作編 (パネルについて)

1. はじめに

1) IP-420 で取り扱う縫製データの種類

パターン名	内容
ユーザパターン	本体に記憶するパターン 最大 999 パターン登録できます。
ベクトル形式データ	拡張子が「.VDT」のファイル メディアから読み込みます。最大 999 パターン使用できます。
M3 データ	AMS-D シリーズのパターンデータ AMS-D シリーズのフロッピーディスクからメディアにコピーして使用します。最大 999 パターン使用できます。
縫製標準フォーマット	拡張子が「.DAT」のファイル メディアから読み込みます。最大 999 パターン使用できます。

2) AMS-D シリーズのデータ(M3 データ)を AMS-221ENTS で使用するには 2 通りの方法があります。

① IP-420 を使って読み込む

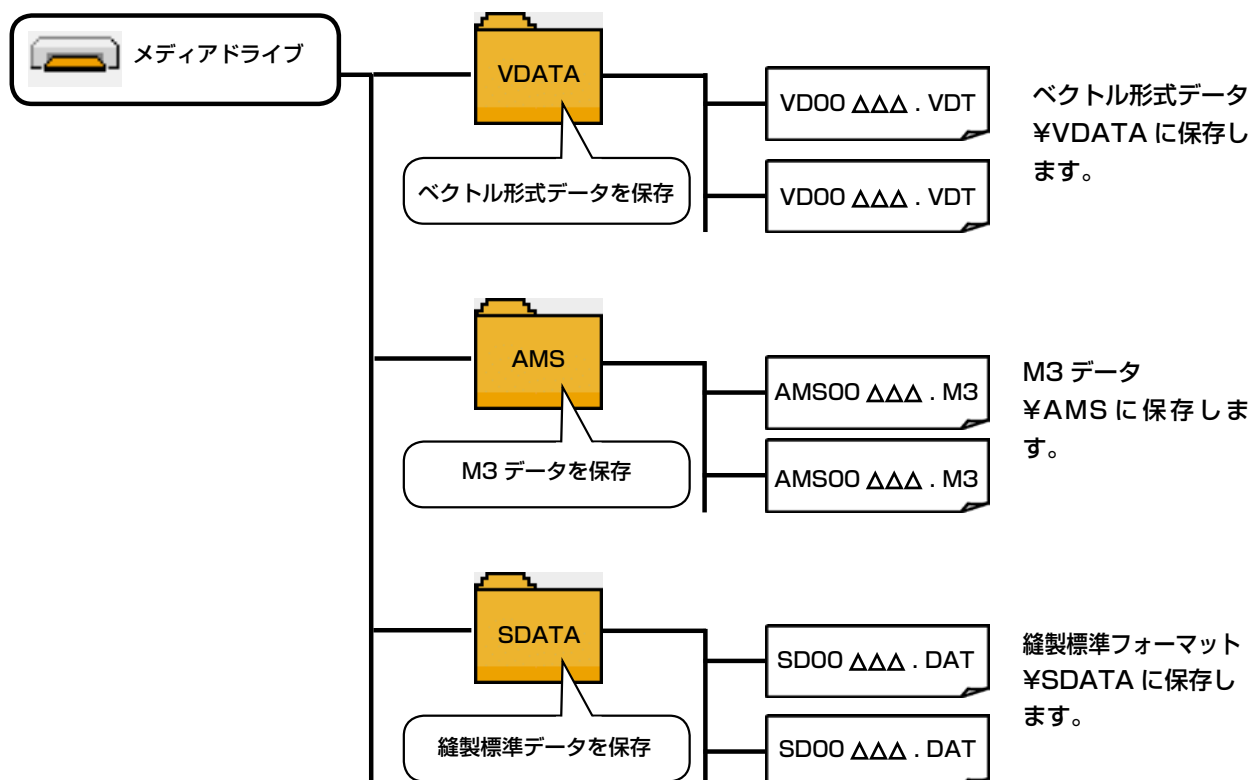
PC を使って AMS-D のフロッピーディスクから M3 データのファイル (¥AMS¥AMS00xxx. M3) をメディアの ¥AMS にコピーします。IP-420 にメディアを挿入し、M3 データからパターン No. xxx を選択します。

② PM-1 を使ってベクトル形式データに変換する。

PM-1 にてベクトル形式データに変換します。(詳しくは PM-1 のヘルプをご参照ください) 変換されたベクトル形式データをメディアの ¥VDATA フォルダにコピーします。
IP-420 にメディアを挿入しパターン No. を選択します。

3) メディアのフォルダ構成

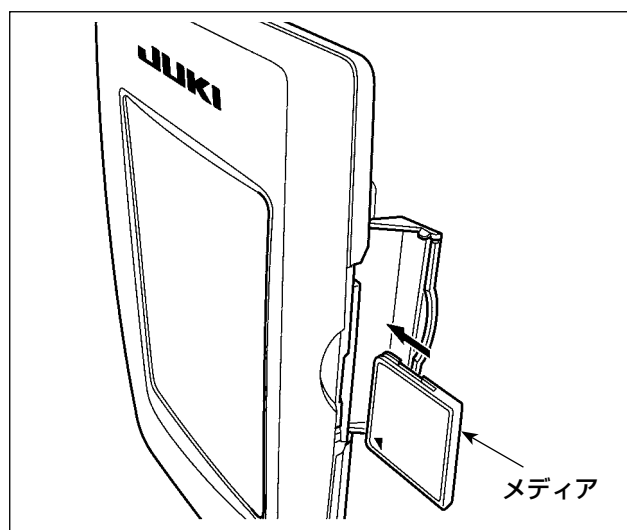
各ファイルはメディア内の以下のディレクトリに保存してください。



上記のディレクトリに保存していないデータは読み込みませんので、ご注意ください。

4) コンパクトフラッシュ (TM) について

■ コンパクトフラッシュ (TM) 挿入方法

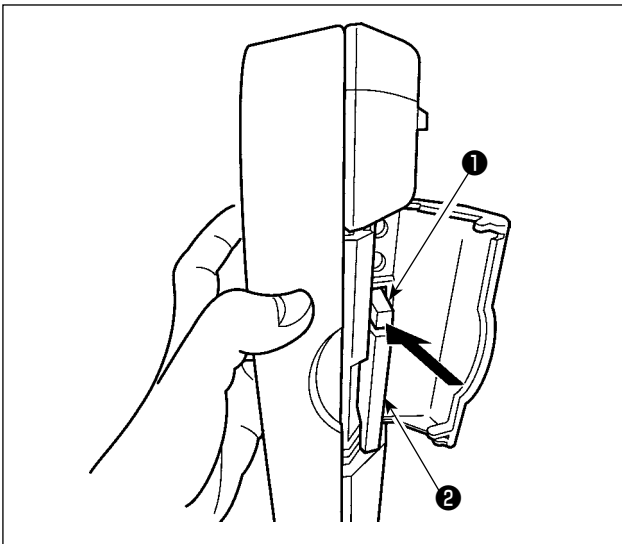


- 1) コンパクトフラッシュ (TM) のラベル面を手前に向け、(縁の切り欠きを奥にして) 小さな穴のある方を奥にして挿入してください。
- 2) メディアのセット終了後、カバーを閉めてください。カバーを閉めることにより、アクセスが可能になります。もし、メディアとカバーが当たって閉まらない場合、次の内容を確認してください。
 - ・ メディアを奥までしっかりと押し込んだか？
 - ・ メディアの挿入向きは合っているか？



1. メディアの挿入向きを間違えると、パネル、及びメディアを破損する恐れがあります。
2. コンパクトフラッシュ (TM) 以外は挿入しないでください。
3. IP-420 のスロットは 2GB 以下のコンパクトフラッシュ (TM) に対応しています。
4. IP-420 のスロットはコンパクトフラッシュ (TM) のフォーマット FAT16 に対応しています。FAT32 には対応していません。
5. 必ず IP-420 でフォーマットしたコンパクトフラッシュ (TM) を使用してください。コンパクトフラッシュ (TM) のフォーマット方法は、[II-2-32. メディアのフォーマットを行うには](#) p.92 をご覧ください。

■ コンパクトフラッシュ (TM) 取り外し方法



- 1) パネルを手で持って、カバーを開け、メディア取り外しレバー①を押し込んでください。メディア②が押し出されます。

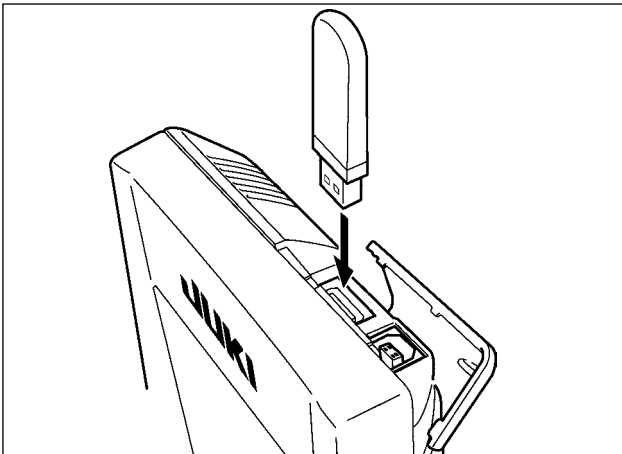


レバー①を強く押すと、メディア②が飛び出し落下することによって破損する恐れがあります。

- 2) メディア②をそのまま抜けば、取り外し完了です。

5) USB について

■ USB 挿入方法

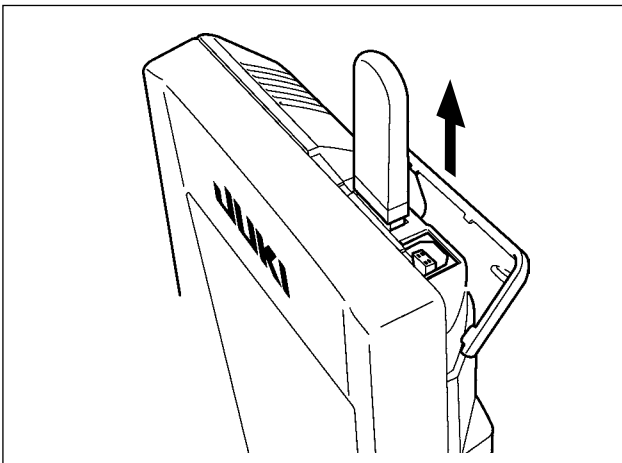


上側のカバーをスライドさせて USB 機器を差込み、使用するデータを本体にコピーしてください。コピー後は、USB 機器を取り外してください。



USB 端子保護の為、USB 機器を接続した状態で 10 回以上の縫製はできません。

■ USB 取り外し方法



USB 機器を取り外し、カバーを取り付けてください。



注意

メディア使用上の注意：

- ・濡らしたり、濡れた手で触らないでください。火災や感電の原因となります。
- ・曲げたり、強い力や衝撃を与えないでください。
- ・分解、改造は絶対に行わないでください。
- ・端子部に金属を当てたりしないでください。データが消失する恐れがあります。
- ・以下のような場所での保管・使用は避けて下さい。

高温多湿な場所

結露する場所

塵、埃が多い場所

静電気、電氣的ノイズが発生しやすい場所

① USB の取扱に関する注意

- ・ 縫製中は、USB コネクタに USB 機器、USB ケーブルを接続したままにしないでください。振動によりコネクタ部が破損し、USB のデータ喪失や USB 機器、ミシン故障の恐れがあります。
- ・ プログラムや縫製データ読み込み書き込み時には、抜き差しを行わないでください。データの破損や誤動作につながる恐れがあります。
- ・ USB 機器の保存領域にパーティションを区切った場合、1 個のパーティションのみアクセスできます。
- ・ 使用する USB 機器の種類によっては本機が正しく認識できない場合があります。
- ・ 本機での使用により USB 機器内のデータが消失した場合のデータの補償はご容赦ください。
- ・ 通信画面やパターンデータ一覧が表示されているような画面ではメディアを差してもドライブを認識しません。
- ・ USB や CF(TM) などのメディアは、基本的に 1 台のみ接続してください。複数台の接続の場合にも 1 台しか認識されません。詳しくは USB の仕様をお読みください。
- ・ USB コネクタは、IP パネルの USB 端子の奥まで確実に挿入してください。
- ・ USB 上のデータにアクセスしている最中に電源を OFF しないでください。

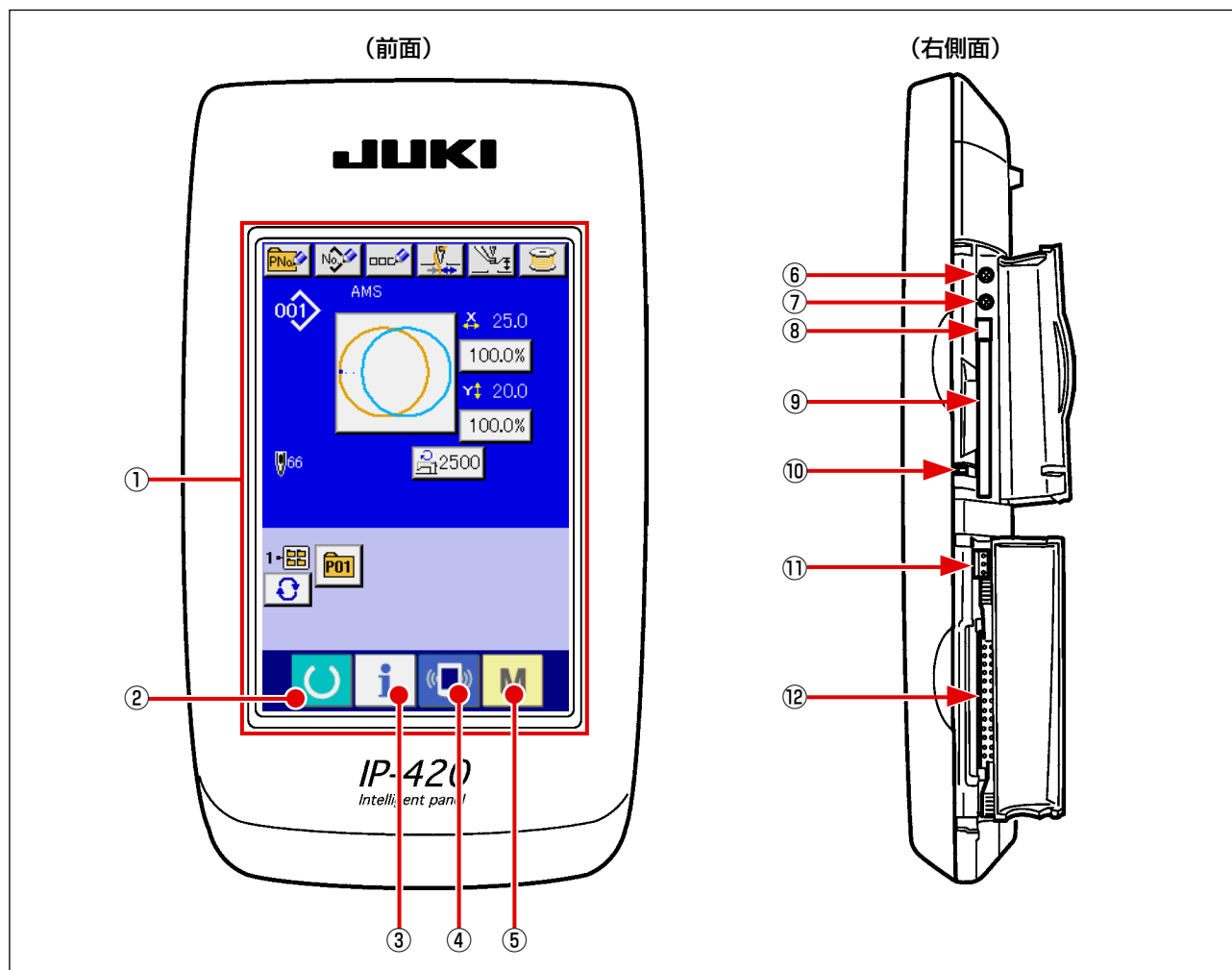
② USB の仕様





- ・ USB1.1 規格に準拠
- ・ 対応機器 ※¹ _____ USB メモリー、USB ハブ、FDD、カードリーダー等のストレージ機器
- ・ 未対応機器 _____ CD、DVD、MO、テープドライブなど
- ・ 対応フォーマット _____ FD(フロッピーディスク) FAT12
_____ その他(USB メモリーなど) FAT12・FAT16・FAT32
- ・ 対応メディアサイズ _____ FD(フロッピーディスク) 1.44MB・720kB
_____ その他(USB メモリーなど) 4.1MB～(2TB)
- ・ ドライブの認識 _____ USB 機器等の外部メディアへのアクセスは、最初に認識したメディアにアクセスします。但し、内臓メディアスロットにメディアがある場合はメディアへのアクセスが最優先されます。(例：USB メモリーを差したあとにメディアスロットへ挿入してもメディアスロットにアクセスします。)
- ・ 接続の制限 _____ 最大 10 デバイス (最大数を超えて接続した場合、超えて接続したストレージデバイスは、一度取り外して、再度接続しないと認識されません。)
- ・ 消費電流 _____ 接続できる USB 機器の定格消費電流は最大 500mA です。

※¹ すべての対応機器の動作を保証するものではありません。相性問題等で動作しない機器もございます。

2. IP-420 をご使用の場合










2-1. IP-420 各部の名称



- ① タッチパネル・液晶表示部
- ②  準備キー → データ入力画面と縫製画面の切り替えを行ないます
- ③  インフォメーションキー → データ入力画面とインフォメーション画面の切り替えを行ないます
- ④  通信キー → データ入力画面と通信画面の切り替えを行ないます
- ⑤  モードキー → データ入力画面と各種詳細設定をおこなうモード切り替え画面の切り替えを行ないます
- ⑥ コントラストボリューム
- ⑦ 明るさボリューム
- ⑧ コンパクトフラッシュ (TM) 取り出しボタン
- ⑨ コンパクトフラッシュ (TM) スロット
- ⑩ 蓋検出スイッチ
- ⑪ 外部スイッチ入力用コネクタ
- ⑫ 電装接続用コネクタ

2-2. 共通で使用されるボタン

IP-420 の各画面で共通の操作を行うボタンは下記の通りです。

- | | | | |
|---|-----------|---|---|
|  | キャンセルボタン | → | ポップアップ画面を閉じます。
データ変更画面の場合は、変更中のデータをキャンセルします。 |
|  | エンターボタン | → | 変更したデータを確定します。 |
|  | 上スクロールボタン | → | ボタンもしくは表示を上方向にスクロールします。 |
|  | 下スクロールボタン | → | ボタンもしくは表示を下方向にスクロールします。 |
|  | リセットボタン | → | エラーの解除を行います。 |
|  | 数字入力ボタン | → | テンキーが表示され、数字の入力を行うことができます。 |
|  | 文字入力ボタン | → | 文字入力画面を表示します。
→ 「II-2-18. ユーザーパターンに名称を付けるには」 p.55 をご覧ください。 |
|  | 押え下降ボタン | → | 押えを下降し、押え下降画面を表示します。
押えを上昇させるには、押え下降画面に表示される押え上昇ボタンを押してください。 |
|  | 糸巻きボタン | → | 下糸巻きを行います
→ 「II-2-15. 下糸を巻くには」 p.50 をご覧ください。 |



2-3. IP-420 の基本操作

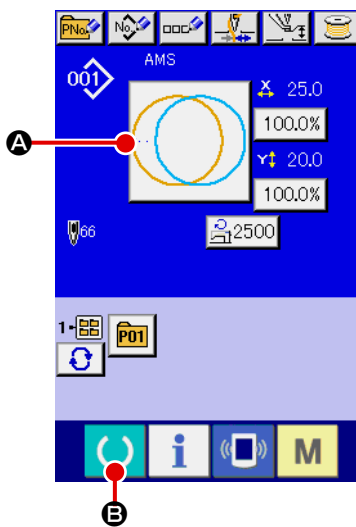


① 電源スイッチを入れる

初めに電源を入れると、言語の選択画面が表示されます。ご使用の言語を設定してください。(メモリースイッチ U500 にて変更することができます。)




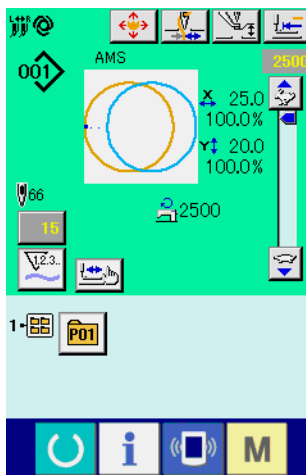
言語選択を行わずにキャンセルボタン  またはエンターボタン  にて選択画面を終了してしまうと、言語選択画面が電源を入れた際に毎回表示されます。

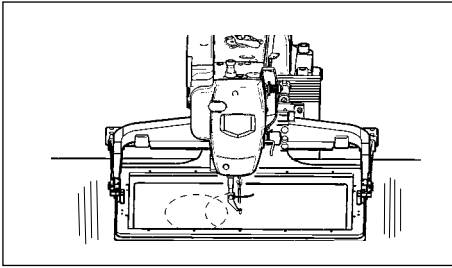


② 縫製したいパターン No. を選択する

電源を入れると、データ入力画面が表示されます。画面中央に現在選択されている形状が表示された形状選択ボタン **A** が表示され、押すと縫い形状の選択ができます。縫い形状の選択方法は、「II-2-5. 縫い形状の選択を行うには」 p.31 をご覧ください。

準備キー  **B** を押すと液晶表示の背景色が緑色に変わり縫製可能となります。






③ 縫製を開始する

「I-5-1. 縫製」 p.18 を参考に、縫製を開始してください。

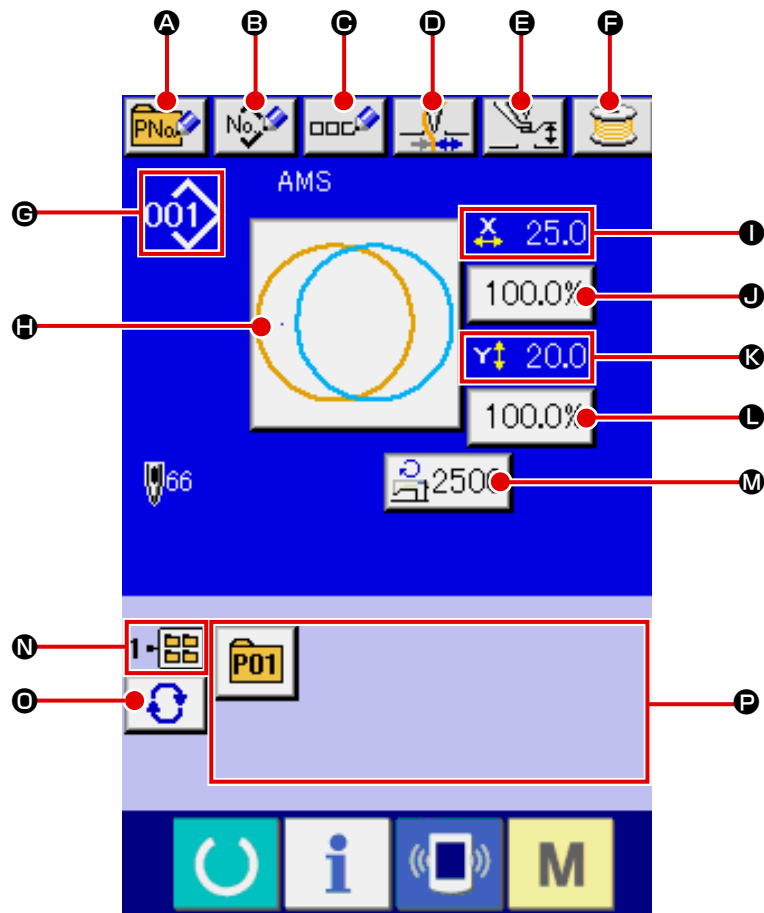
※ 画面については、「II-2-4. 縫い形状選択時の液晶表示部」 p.27 をご覧ください。





1. 専用の押えを用いるときは念のためパターンの形状を確認してください。万一外押えよりパターンがはみ出していると、縫製途中で針が外押えに干渉し、針折れが発生するなど危険です。
2. 押えが上昇しているときは、押えが下降してから移動しますので、指をはさまないように注意してください。
3. 準備キー  を押さずに電源を切ったとき「パターン No.」、「X 拡大縮小率」、「Y 拡大縮小率」、「最高縫い速度」、「糸張力」、「中押え高さ」の設定値は記憶されません。

2-4. 縫い形状選択時の液晶表示部

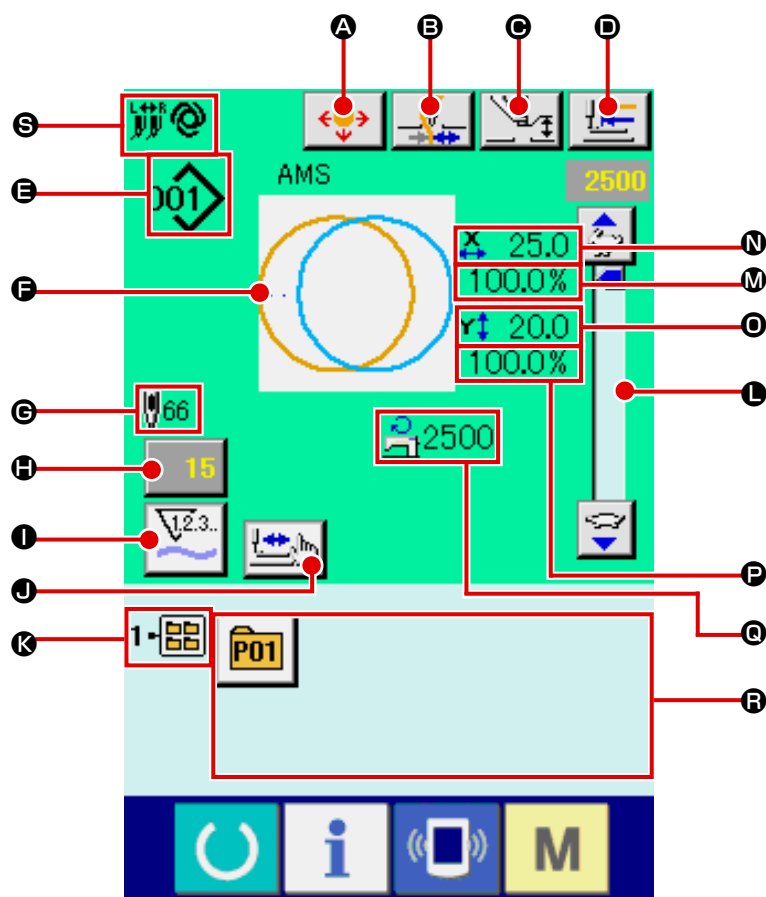
(1) 縫い形状データ入力画面









ボタン・表示	内容
Ⓐ	パターンボタン新規登録ボタン パターンボタン新規登録画面が表示されます。 → 「II-2-19. パターンボタンの新規登録を行うには」 p.56 をご覧ください。
Ⓑ	ユーザーパターン新規登録ボタン ユーザーパターン新規登録画面が表示されます。 → 「II-2-17. ユーザーパターンの新規登録を行うには」 p.54 をご覧ください。
Ⓒ	パターンボタン名称設定ボタン パターンボタン名称入力画面が表示されます。 → 「II-2-18. ユーザーパターンに名称を付けるには」 p.55 をご覧ください。
Ⓓ	糸つかみボタン 糸つかみの有効／無効を選択します。  : 糸つかみ無効  : 糸つかみ有効
Ⓔ	中押え設定ボタン 中押えを下降し、中押え基準値変更画面が表示されます。 → 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。
Ⓕ	糸巻きボタン 下糸を巻くことができます。 → 「II-2-15. 下糸を巻くには」 p.50 をご覧ください。

	ボタン・表示	内容
G	縫い形状 No. 表示	<p>現在選択中の縫い形状の種類と No. を表示します。 縫い形状の種類は下記の 4 つあります。</p> <p> : ユーザパターン</p> <p> : ベクトル形式データ</p> <p> : M3 データ</p> <p> : 縫製標準フォーマット</p> <p>※必ず IP-420 でフォーマットしたメディアを使用してください。 メディアのフォーマット方法は、 「II-2-32. メディアのフォーマットを行うには」 p.92 をご覧ください。</p>
H	縫い形状選択ボタン	<p>ボタン上に現在選択中の縫い形状を表示し、押すと縫い形状選択画面が表示されます。</p> <p>→ 「II-2-5. 縫い形状の選択を行うには」 p.31 をご覧ください。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。</p> <p>右針縫製部分 (橙色)  左針縫製部分 (水色)</p>
I	X実寸値表示	<p>選択中の縫い形状のX方向の実寸値を表示します。メモリースイッチ U064 の設定により、実寸値入力を選択するとX実寸値設定ボタンが表示されます。</p> <p>→ 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。</p>
J	X拡大縮小率設定ボタン	<p>ボタン上に現在選択中の縫い形状のX方向の拡大縮小率を表示します。メモリースイッチ U064 の設定により、拡大縮小率入力を非選択にするとボタンが消えX拡大縮小率が表示されます。</p> <p>→ 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。</p>
K	Y実寸値表示	<p>選択中の縫い形状のY方向の実寸値を表示します。メモリースイッチ U064 の設定により、実寸値入力を選択するとY実寸値設定ボタンが表示されます。</p> <p>→ 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。</p>
L	Y拡大縮小率設定ボタン	<p>ボタン上に現在選択中の縫い形状のY方向の拡大縮小率を表示します。メモリースイッチ U064 の設定により、拡大縮小率入力を非選択にするとボタンが消えY拡大縮小率が表示されます。</p> <p>→ 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。</p>
M	最高速度制限	<p>ボタン上に現在設定されている最高制限速度を表示し、押すと項目データ変更画面が表示されます。(ただし、表示される最高制限速度は、パターン内の最高回転数とは異なります。)</p> <p>→ 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。</p>
N	フォルダ番号表示	<p>表示されているパターン登録ボタンが保存されているフォルダ No. を表示します。</p>
O	フォルダ選択ボタン	<p>パターンの表示フォルダが順番に表示されます。</p>
P	パターン登録ボタン	<p>O フォルダ番号表示に保存されているパターン登録ボタンが表示されます。「II-2-19. パターンボタンの新規登録を行うには」 p.56 をご覧ください。 ※パターンボタンへの新規登録を行わないとこのボタンは表示されません。</p>

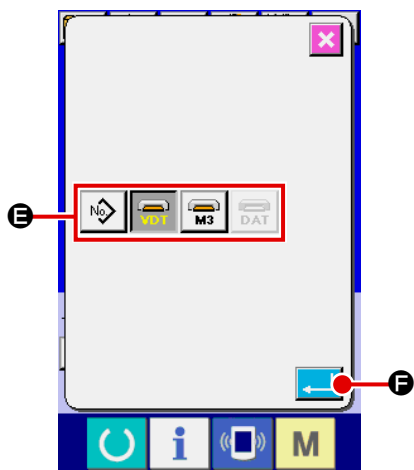
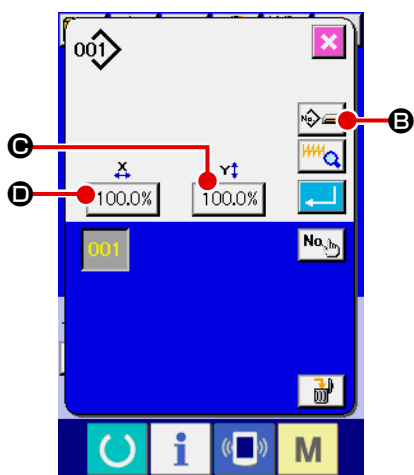
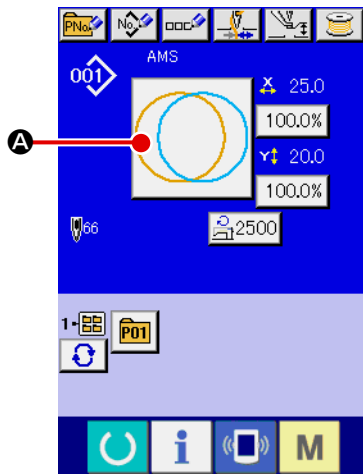
(2) 縫製画面




	ボタン・表示	内容
A	パターンボタン移動ボタン	パターンボタン移動画面を表示します。 → 「II-2-12. 針先が邪魔で縫製物がセットできない時」 p.48 をご覧ください。
B	糸つかみボタン	糸つかみの有効／無効を選択します。  : 糸つかみ無効  : 糸つかみ有効
C	中押え設定ボタン	中押えを下降し、中押え基準値変更画面が表示されます。 → 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。
D	原点復帰ボタン	一時停止時、押えを縫い始めまで戻し、押えを上昇します。
E	縫い形状 No. 表示	現在選択中の縫い形状の種類と No. を表示します。 縫い形状の種類は下記の4つあります。  : ユーザパターン  : ベクトル形式データ  : M3 データ  : 縫製標準フォーマット ※必ず IP-420 でフォーマットしたメディアを使用してください。 メディアのフォーマット方法は、 「II-2-32. メディアのフォーマットを行うには」 p.92 をご覧ください。

	ボタン・表示	内容
F	縫い形状表示	<p>ボタン上に現在選択中の縫い形状を表示し、押すと縫い形状選択画面が表示されます。</p> <p>→ 「II-2-5. 縫い形状の選択を行うには」 p.31 をご覧ください。</p> <p>縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。</p> <p>右針縫製部分（橙色）</p>  <p>左針縫製部分（水色）</p>
G	縫い形状総針数表示	現在選択中の縫い形状の総針数を表示します。
H	カウンター値変更ボタン	<p>ボタン上に現在のカウンター値を表示します。押すとカウンター値変更画面が表示されます。</p> <p>→ 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。</p>
I	カウンター切り替えボタン	<p>縫製カウンター／枚数カウンター／下糸カウンターの表示を切り替えることができます。</p> <p>→ 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。</p>
J	ステップ縫いボタン	<p>ステップ縫い画面を表示します。パターン形状の確認を行うことができます。</p> <p>→ 「II-2-9. 形状確認を行うには」 p.41 をご覧ください。</p>
K	フォルダ番号表示	表示されているパターン登録ボタンが保存されているフォルダ No. を表示します。
L	速度ボリューム	ミシンの回転数を変更することができます。
M	X拡大縮小率表示	選択中の縫い形状のX方向の拡大縮小率を表示します。
N	X実寸値表示	選択中の縫い形状のX方向の実寸値を表示します。
O	Y実寸値表示	選択中の縫い形状のY方向の実寸値を表示します。
P	Y拡大縮小率表示	選択中の縫い形状のY方向の拡大縮小率を表示します。
Q	最高速度制限表示	<p>現在設定されている最高速度制限が表示されます。</p> <p>ただし、パターン内の最高回転数とは異なります。</p>
R	パターン登録ボタン	<p>Q フォルダ番号表示に保存されているパターン登録ボタンが表示されます。</p> <p>→ 「II-2-17. ユーザーパターンの新規登録を行うには」 p.54 をご覧ください。</p> <p>※パターンボタンへの新規登録を行わないとこのボタンは表示されません。</p>
S	針切替モード表示	<p>現在選択中の針切替モードを表示します。</p> <p>自動切替モード：</p> <p>手動切替モード・右針選択中：</p> <p>手動切替モード・左針選択中：</p> <p>自動切替モード中は、パターンデータに入力された色替え命令に従って自動的に縫製する針を切り替えます。</p> <p>→ 「II-2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには」 p.36 をご覧ください。</p> <p>手動切替モードに設定されているときは、ボタンを押すたびに針切替が実行され、右針選択と左針選択が入れ替わります。</p> <p>→ 「II-2-7. 色替えモードを変更するには」 p.35 をご覧ください。</p>

2-5. 縫い形状の選択を行うには



① データ入力画面を表示する

データ入力画面（青色）の場合のみ、縫い形状の選択が可能になります。縫製画面（緑色）の場合には、準備キー  を押し、データ入力画面（青色）を表示してください。

② 縫い形状選択画面を呼び出す


縫い形状ボタン **A** を押し、縫い形状選択画面が表示されます。

③ 縫い形状の種類を選択する

縫い形状は 4 種類あります。

縫い形状種類選択ボタン  **B** を押ししてください。



この画面でボタン **C**、**D**  を押しと X および Y の拡大縮小率を変更できます。詳しくは「[II-2-6. 項目データを変更するには](#)」 p.33 をご覧ください。


④ 縫い形状の種類を確定する

縫い形状は下記の 4 種類あります。この中から希望の種類を選択してください。

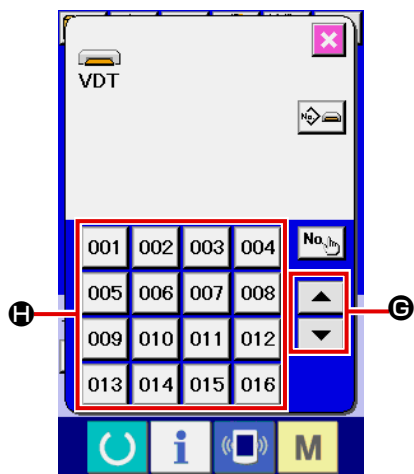
ピクト	名称	最大パターン数
	ユーザパターン	999
	ベクトル形式データ	999
	M3 データ	999
	縫製標準フォーマット	999



必ず IP-420 でフォーマットしたメディアを使用してください。
メディアのフォーマット方法は、「[II-2-32. メディアのフォーマットを行うには](#)」 p.92 をご覧ください。

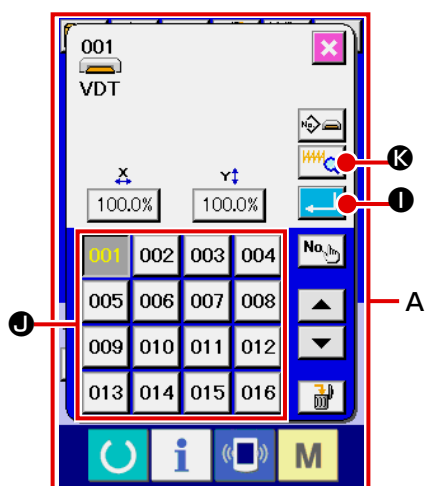
縫い形状選択ボタン **E** から希望の縫い形状種類を選択し、エンターボタン  **F** を押ししてください。

選択した縫い形状の種類に対応した縫い形状一覧画面を表示します。




⑤ 縫い形状を選択する

上下スクロールボタン  **G** を押すと、縫い形状ボタン **H** が順次切り替わります。

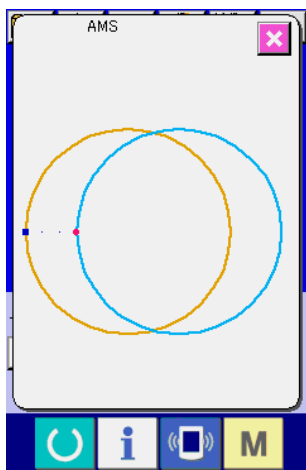



⑥ 縫い形状を確定する

エンターボタン  **I** を押すと、縫い形状を確定し、データ入力画面を表示します。

縫い形状がベクトル形式パターンの場合には **A** のような画面が表示されます。

ベクトル形式パターンに登録されているパターン No. 選択ボタン **J** が表示されます。選択したいパターン No. のボタンを押してください。



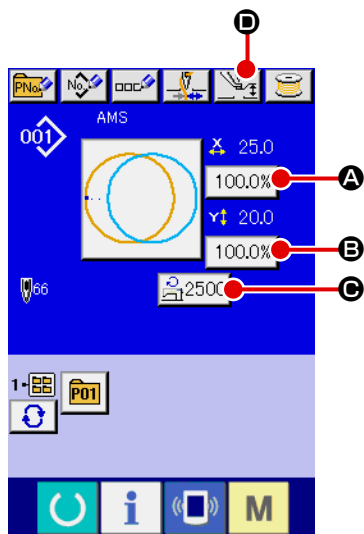
ビューアーボタン  **K** を押すと、選択したパターン No. の形状を表示し、確認することができます。

2-6. 項目データを変更するには




注意

X・Y 拡大縮小率変更後は、必ずパターンの形状を確認してください。設定値によっては、針が押えに干渉し、針折れが発生するなど危険な場合があります。



① データ入力画面を表示する

データ入力画面の場合にて、項目データの変更が可能になります。縫製画面（緑色）の場合には、準備キー  を押し、データ入力画面（青色）を表示してください。

※ 中押え高さは縫製画面でも変更が可能です。

② 項目データ入力画面を表示する

変更したい項目データのボタンを押すと項目データ入力画面を表示します。

項目データは、下記 4 項目です。

	項目	入力範囲	初期値
Ⓐ	X方向拡大縮小率	1.0 ~ 400.0 (%)	100.0 (%)
Ⓑ	Y方向拡大縮小率	1.0 ~ 400.0 (%)	100.0 (%)
Ⓒ	最高速度制限	200 ~ 2,500 (sti/min)	2,500 (sti/min)
Ⓓ	中押え高さ	0.0 ~ 3.5 (mm) (最大 0.0 ~ 7.0 (mm))	パターン設定値

※ 中押え基準値は選択するパターンごとに異なります。

※ X方向の拡大縮小率 Ⓐ、Y方向の拡大縮小率 Ⓑ は、メモリースイッチ **U064** の設定で、実寸値入力に変更することが可能です。


※ X/Y 拡大縮小を行うには、次の 2 通りがあります。

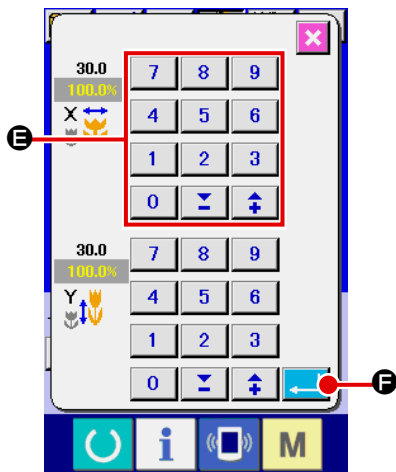
- ・ このデータ入力画面で、既に読み込んでいるデータに対して繰り返し拡大縮小することができます。
- ・ パターンを選択する際に、拡大縮小率を設定して読み込むことができます。[「II-2-5. 縫い形状の選択を行うには」 p.31](#) をご覧ください。

※ 点縫いの場合は、**U088** 拡大縮小機能モードにて針数増減が設定されている場合でも、ピッチ増減で拡大縮小されます。

※ 円・円弧で X/Y 拡大縮小率を個別に設定した場合、または X/Y の拡大縮小を繰り返した場合は、点縫いに変換されるため、形状が保てなくなる場合があります、ピッチ増減で拡大縮小されます。この場合は、パターン一覧画面にて X/Y 拡大縮小率を設定して読み込むようにしてください。

※ 最高制限速度 Ⓒ の最大入力範囲及び初期値は、メモリースイッチ **U001** にて決まります。

※ 電源 ON 直後または本体入力からの移行直後は、中押え高さの変更はできません。準備キー  を押して原点検索を行ってからご使用ください。



例として、X拡大縮小率を入力してみます。

100.0% **A** を押して、項目データ入力画面を表示します。

③ データを入力する

テンキー、+ / - キー **E** で希望の値を入力してください。

④ データを確定する

エンターボタン **F** を押すと、データが確定します。

※ 他の項目データについても、同様の操作でデータを変更することができます。

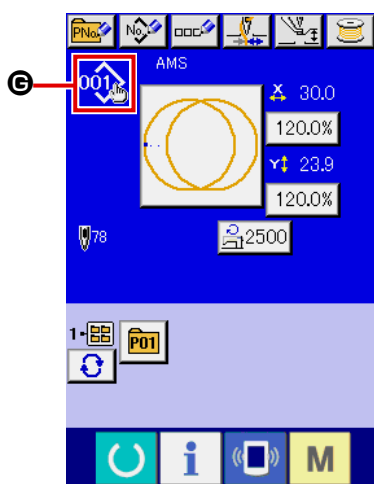
※ 1つの画面で、X/Y 拡大縮小率もしくは X/Y 実寸値を入力することができます。

1. 準備キー **C** を押さずに電源を切ったとき「パターン No.」、「X 拡大縮小率」、「Y 拡大縮小率」、「最高回転数」、「糸張力」、「中押え高さ」の設定値は記憶されません。

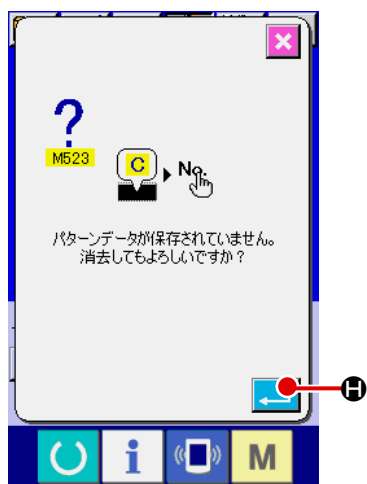


2. 縮小率が小さすぎるために演算処理ができない場合は、E045 パターンデータエラーが表示されます。

3. 針数増減（ピッチ固定）で拡大縮小率を変更すると、形状点以外に入力されている機械制御命令が削除されます。



ユーザーパターン・メディアパターンの X/Y 拡大縮小率、糸張力、中押え、糸張力コマンドの追加 / 削除、中押え増減値の追加 / 削除を行った場合、パターン種類部分が変更表示 **G** になります。

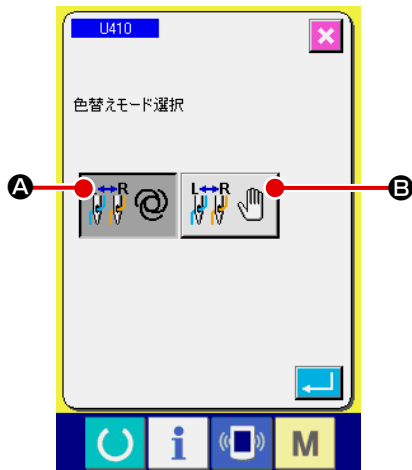


変更表示 **G** の場合、パターン変更時に変更確認画面が表示されます。

エンターボタン **H** を押すと、現在のパターンの情報を破棄して、パターン No を変更します。


変更されたパターンを保存するには、[「II-2-17. ユーザーパターンの新規登録を行うには」 p.54](#) をご覧ください。

2-7. 色替えモードを変更するには

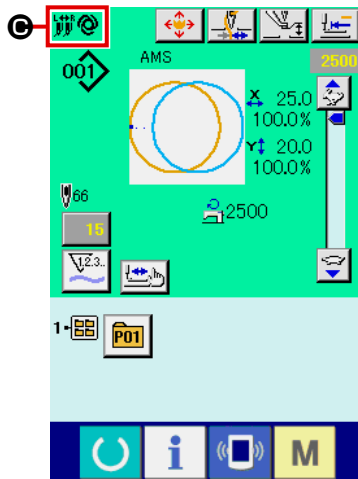


メモリースイッチデータ一覧画面で U410 色替えモード選択ボタンを押します。




メモリースイッチデータの変更方法は「[II-2-29. メモリースイッチデータを変更するには](#)」 p.85 をご覧ください。

自動切替モード  **A** を選択すると、針切替はパターンデータに入力された色替え命令によって行われます。

パターンデータに色替え命令を入力する方法は「[II-2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには](#)」 p.36 を参照してください。

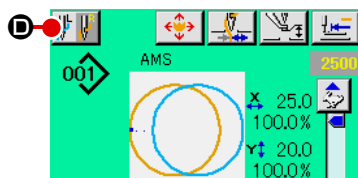


自動切替モード中は縫製画面に自動切替マーク **C** が表示されます。

手動切替モード  **B** を選択すると、縫製画面に針切替ボタン（右針縫製時 、左針縫製時 ）**D** が表示され、ボタンを押すたびに縫製針の左右が切り替わります。

針切替実行時に押えが下降しますのでご注意ください。

手動切替モード中はパターンデータ内の色替え命令は無視されます。



2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには

色替え切替モードが自動切替モードの時は、パターンデータに入力された色替え命令の内容に従って縫製針を自動的に切り替えます。

また、パターンデータの色替え命令を無視し、ボタンで指定した針で縫製することもできます。

→ [「II-2-7. 色替えモードを変更するには」 p.35](#) をご覧ください。

※ 色替え命令による縫製針の指定が無い場合は、右針で縫製を行います。

※ 糸切りをしていない状態では針切替を行うことはできません。縫い途中（糸切り前）にある色替え命令コマンドは無効になります。

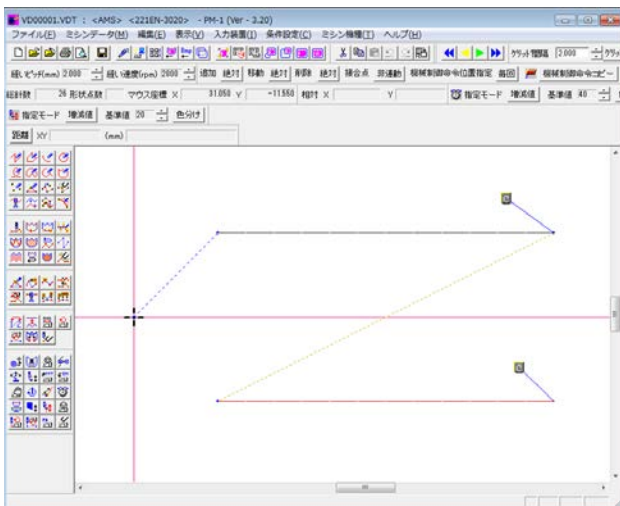
パターンデータに色替え命令を入力するには縫製データ作成編集ソフト PM-1、本体入力機能、形状確認機能を使用する方法があります

本体入力機能、縫製データ作成編集ソフト PM-1 の使用方法は、各取扱説明書をご覧ください。

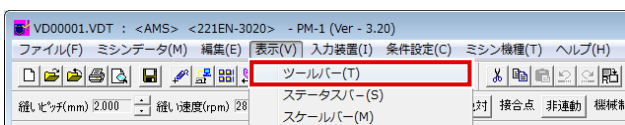
形状確認機能の色替え命令入力方法は、[「II-2-10. 針落ち点の修正を行うには」 p.42](#) の「(2) 色替えの編集を行うには」 p.44 をご覧ください。

(1) 縫製データ作成編集ソフト PM-1 で色替え命令を入力する

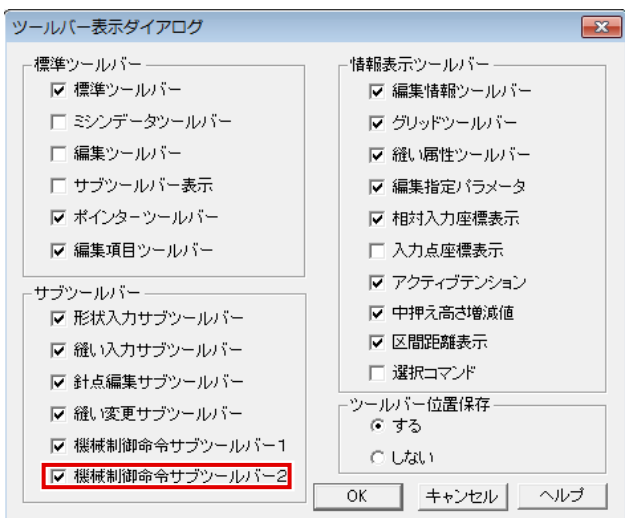
① 色替え命令を入力するパターンデータを作成します。



② ツールバーに色替え命令ボタンを表示させる

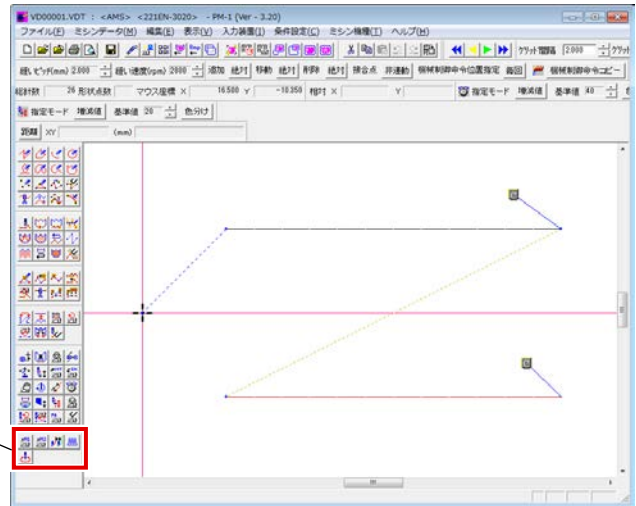
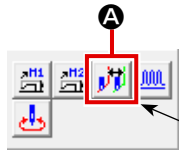


メニューの表示→ツールバーをクリックしてツールバー表示ダイアログを表示します。

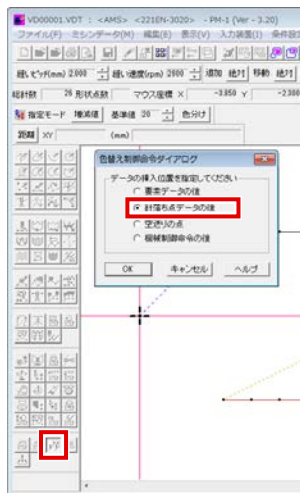


ツールバー表示ダイアログの「機械制御命令サブツールバー2」にチェックをしてOKを押します。

色替え命令ボタン  **A** を含むサブツールバー-2が表示されます。

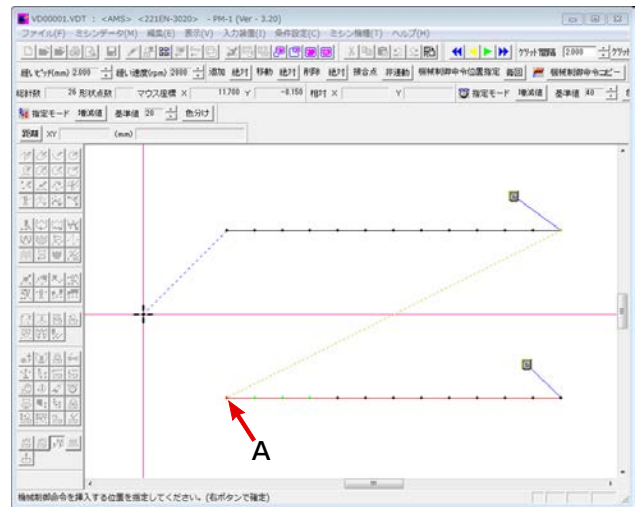


③ 色替え命令を選択する



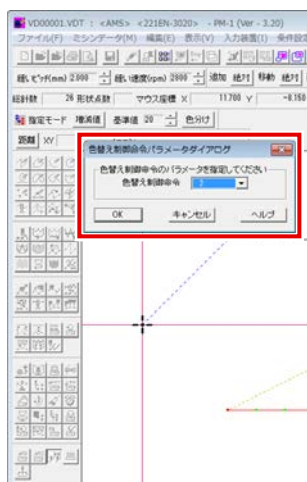
色替え命令ボタンを押すと、色替え制御命令ダイアログが表示されるので、針落ち点データの後にチェックしてOK ボタンを押します。

④ 色替え命令を入力する点を指定する。



糸色を指定したい縫い要素の先頭針落ち点 (例の場合は **A**) を左クリックして選択し、右クリックで確定します。

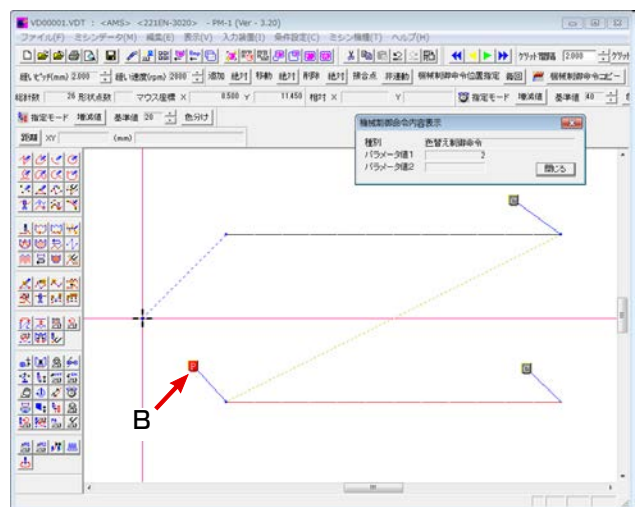
⑤ 切り替える糸色を選択する



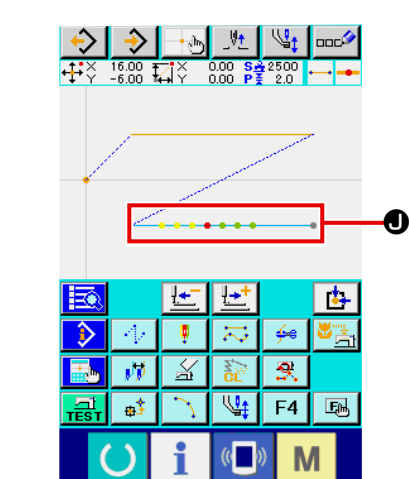
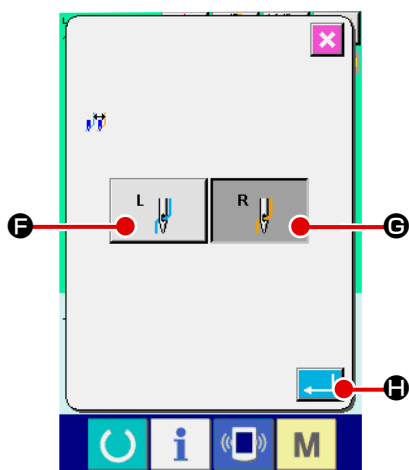
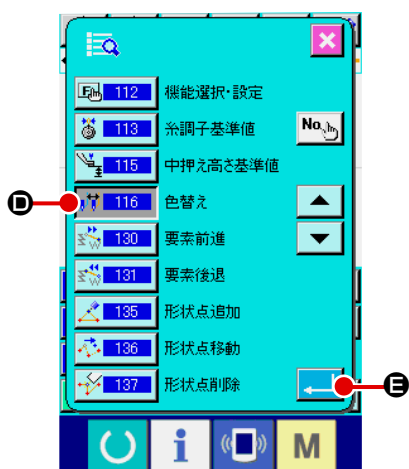
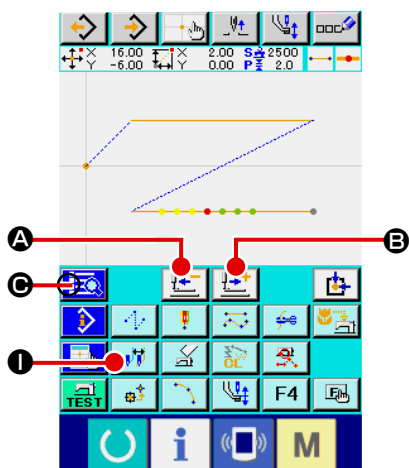
色替え制御命令パラメータダイアログが表示されるので切り替える色を設定してOK ボタンを押します。

パラメーター= 1 : 右針縫製
 パラメーター= 2 : 左針縫製

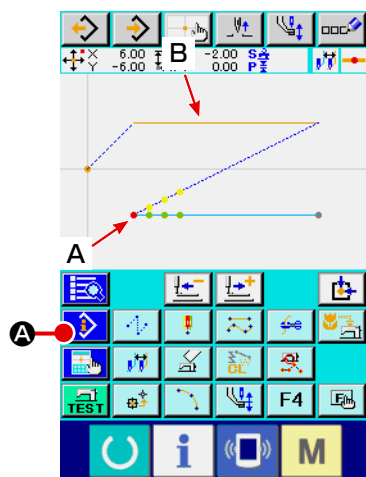
⑥ 色替え命令が入力されます (B)。




(2) 本体入力機能で色替え命令を入力する

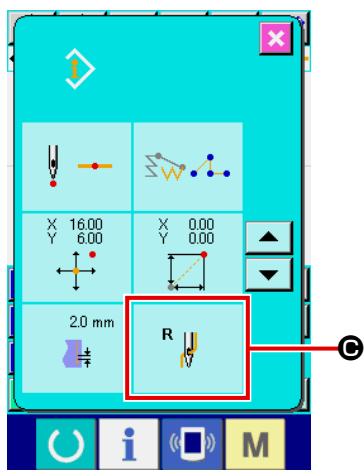
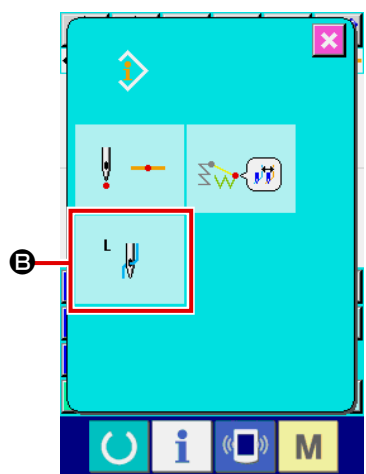



(3) 本体入力機能で色替え命令を確認する



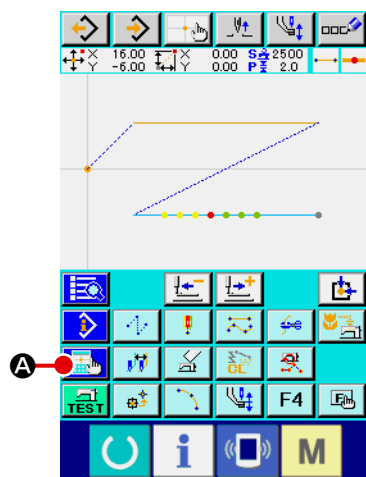
色替え命令の位置 **A** で情報表示ボタン  **A** を押すと、その色替え命令で指定された縫製針を確認することができます

(**B**)。(左針縫製 、右針縫製 )。

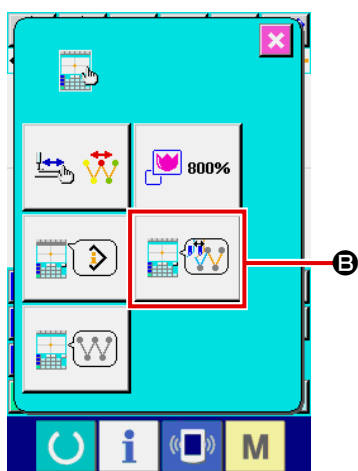


また、縫い要素上 **B** で情報表示ボタン  **A** を押すと、その縫いの縫製針を確認することができます (**C**)。

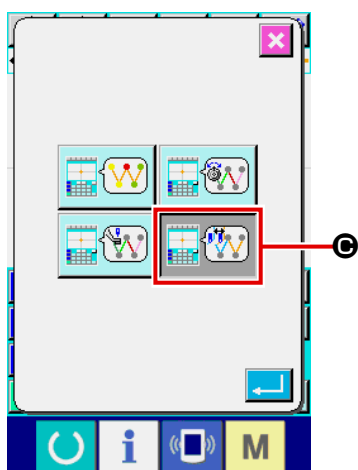
(4) 本体入力機能で糸色による色分け表示を行う

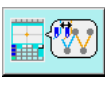


設定ボタン  **A** を押します。



表示色選択ボタン  **B** を押します。



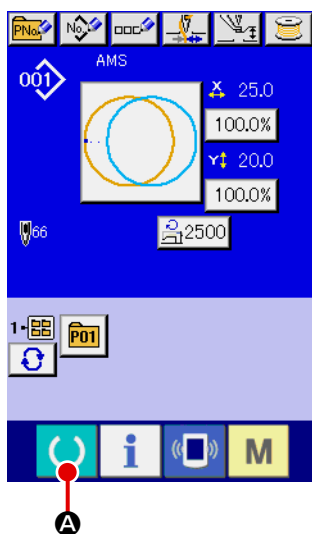
色替え命令  **C** を選択すると、パターン形状が糸色で色分け表示されます。

2-9. 形状確認を行うには




注意

パターン選択後は必ずパターンの形状を確認してください。万一押えよりパターンがはみ出していると、縫製途中で針が押えに干渉し、針折れが発生するなど危険です。



① 縫製画面を表示する

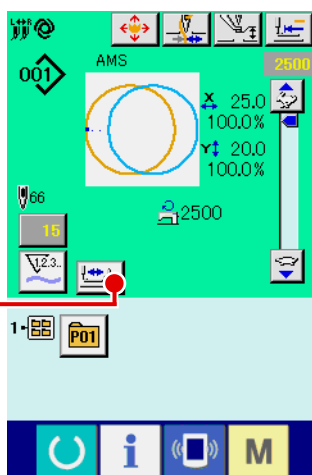
データ入力画面（青色）を表示し、準備キー  **A** を押すと液晶表示の背景色が緑色に変わり縫製可能となります。この時、押えは原点検索を行い縫い始めに移動します。



注意 押えが上昇しているときは、押えが下降してから移動しますので、指をはさまないように注意してください。

② ステップ縫い画面を表示する

ステップ縫いボタン  **B** を押すと、ステップ縫い画面を表示します。








③ フットスイッチで押えを下降する



参考 このモードではフットスイッチを踏み込んでもミシンスタートはしません。


④ 押えを下降した状態で運針を進める

画面の中央に縫いの形状が表示され、現在点は  (ピンク丸)、縫い始め位置は  (青点)、縫い終わり位置は  (ピンク点) でそれぞれ表示されます。

1針後退ボタン  **C**、1針前進ボタン  **D** で形状を確認してください。コマンドが複数入力されている場合、送りは移動せずコマンド表示 **A** を前進、後退させます。ボタンを長押しすると、移動速度が上がります。


コマンド検索前進ボタン  **E** を押すと、縫い終わり位置まで、コマンド検索後退ボタン  **F** を押すと、縫い始め位置まで自動で送りが動きます。

停止したい場合は **C**、**D**、**E**、**F**、**G**、**H** のいずれかのボタンを押してください。

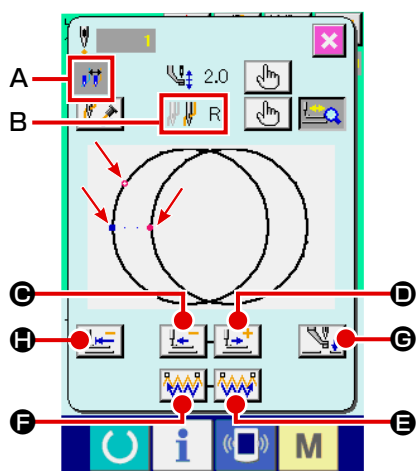
中押えボタン  **G** を押すと、中押えの上げ下げを行います。(メモリースイッチ U103 が 0 に設定されている時は、このボタンは表示されません。)

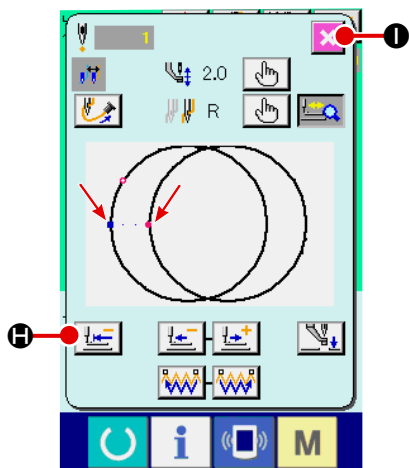
送りを移動させて縫製する針が変化する位置を通過すると針切替を実行します。

(色替えモードが手動切替モードのとき、メモリースイッチ送り針切替連動機能が無効に設定されているときは動きません。)



B には現在点の縫製針が表示されます (右針  **R**、左針

 **L**)。

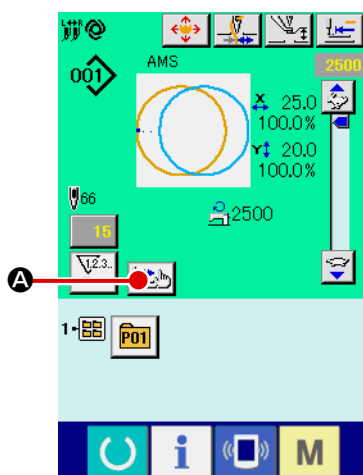





⑤ 形状確認を終了する

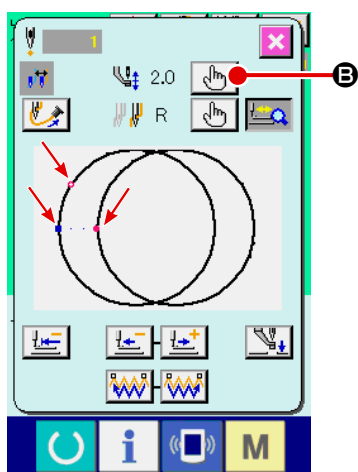
押え初期位置ボタン  **H** を押すと押えが縫い始め位置に移動し、縫製画面に戻ります。また、キャンセルボタン  **1** を押すと、縫製画面に戻ります。押えが縫い始め位置、もしくは縫い終わり位置に無い場合は、フットスイッチを押すと確認途中から縫製することが可能です。




2-10. 針落ち点の修正を行うには




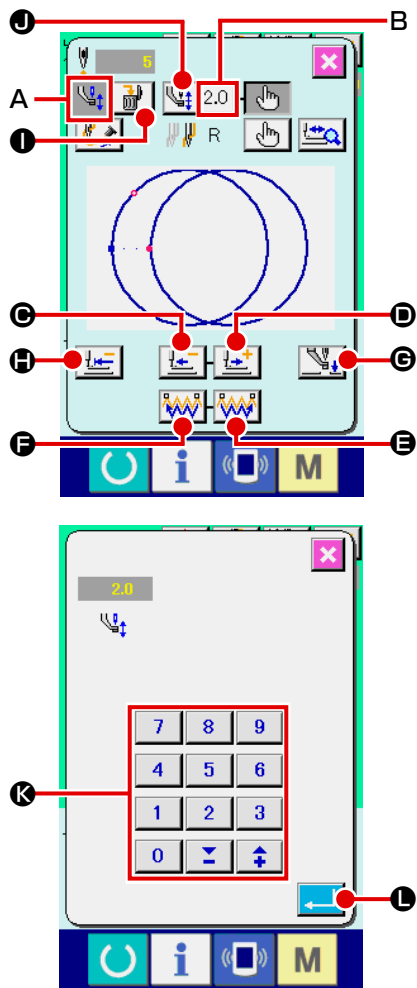
(1) 中押え高さの編集を行うには




縫製画面で、ステップ縫いボタン  **A** を押して、ステップ縫い画面を表示します。






画面の中央に縫いの形状が表示され、現在点は  (ピンク丸)、縫い始め位置は  (青点)、縫い終わり位置は  (ピンク点) でそれぞれ表示されます。


モード選択ボタン  **B** を押して、中押えモードを選択します。





1 針後退ボタン  **C**・前進ボタン  **D** で送り（現在点 ）が 1 針前後に移動します。コマンドが複数入力されている場合、送りは移動せずコマンド表示 **A** を前進、後退させます。長押しすると、移動速度が上がります。表示される値 **B** は、絶対値（中押え高さ値＋中押え高さ増減値）となっています。


コマンド検索前進ボタン  **E**・後退ボタン  **F** を押すと、現在点からそれぞれ前進・後退し、初めに中押えコマンドが見つかった針落ち点に移動します。停止したい場合は **C**、**D**、**E**、**F**、**G**、**H** のいずれかのボタンを押してください。

中押えボタン  **G** を押すと、中押えの上げ下げを行います。（メモリースイッチ U103 が 0 に設定されている時は、このボタンは表示されません。）

押え初期位置ボタン  **H** を押すと押えが原点に移動し、縫製画面に戻ります。

コマンド削除ボタン  **I** を押すと、**A** に表示されているコマンドを削除する画面を表示します。


 2.0 **J** を押すと、中押え高さ増減入力画面を表示します。テンキー、+ / - キー **K** で希望の値を入力してください。

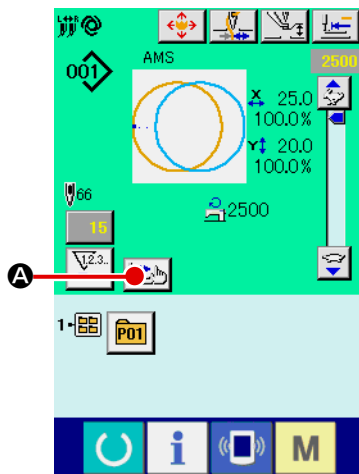
エンターボタン  **L** を押すとデータが確定します。







1. 針確認など送り前進・後退を行う場合は、押えを下降させないと動作しません。押えを下げてからご使用ください。
2. 中押えが下がっているときの中押えと針の動きはメモリースイッチ U103 の設定により異なります。
3. 中押え高さを高くした時や、針の番手を太くしたときは、ワイパーとのすき間を確認してください。すき間を確保できない場合は、ワイパーを使用することができません。ワイパーのスイッチを OFF にするか、メモリースイッチ U105 の設定値を変更してください。
メモリースイッチの設定は「II-3. メモリースイッチデータ一覧」p.97 をご覧ください。

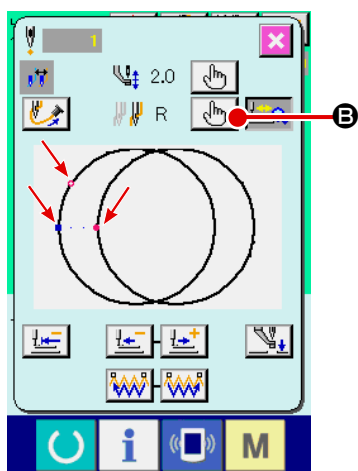
(2) 色替えの編集を行うには



縫製画面で、ステップ縫いボタン  **A** を押して、ステップ縫いの画面を表示します。





画面の中央に縫いの形状が表示され、現在点は  (ピンク丸)、縫い始め位置は  (青点)、縫い終わり位置は  (ピンク点) でそれぞれ表示されます。

モード選択ボタン  **B** を押して、色替えモードを選択します。




1針後退ボタン  **C**・前進ボタン  **D** で送り（現在点）が1針前後に移動します。コマンドが複数入力されている場合、送りは移動せずコマンド表示 **A** を前進、後退させます。長押しすると、移動速度が上がります。


B には現在点の縫製針が表示されます。



コマンド検索前進ボタン  **E**・後退ボタン  **F** を押すと、現在点からそれぞれ前進・後退し、初めに色替えコマンドが見つかった針落ち点に移動します。

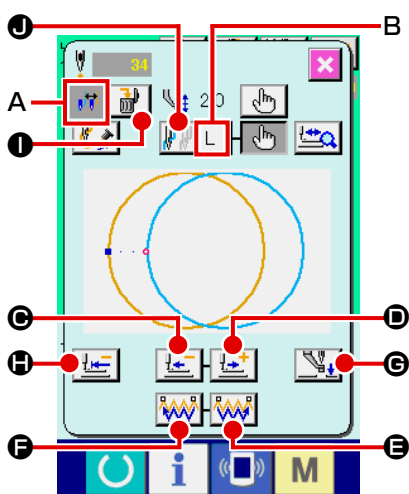
停止したい場合は **C**、**D**、**E**、**F**、**G**、**H** のいずれかのボタンを押してください。

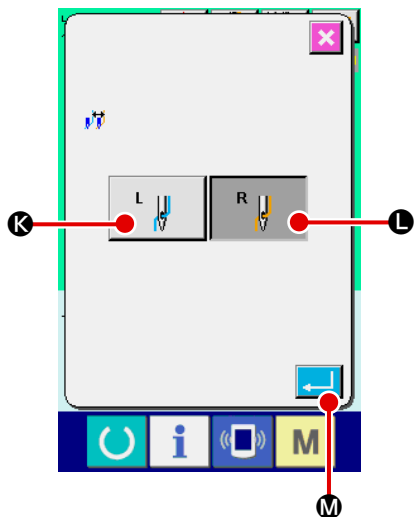
中押えボタン  **G** を押すと、中押えの上げ下げを行います。（メモリースイッチ U103 が0に設定されている場合は、このボタンは表示されません。）




押え初期位置ボタン  **H** を押すと押えが原点に移動し、縫製画面に戻ります。

コマンド削除ボタン  **I** を押すと、**A** に表示されているコマンドを削除する画面を表示します。

糸色を指定したい縫い要素の位置まで現在点を移動させます。針落ち点上なら縫い要素のどの位置でも入力できます。色替え命令ボタン（右針  **R**、左針  **L**）**J** を押すと、色替え命令入力画面を表示します。



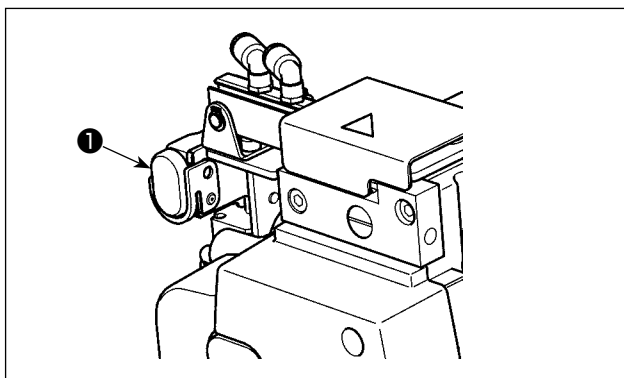


左針縫製  **K** か右針縫製  **L** を選択し、エンターボタン  **M** を押すと、データが確定し色替え命令が入力されます。
色替え命令は選択した縫い要素の先頭部分に追加されます。



1. 針確認など送り前進・後退を行う場合は、押えを下降させないと動作しません。押えを下げてからご使用ください。
2. 中押えが下がっているときの中押えと針の動きはメモリースイッチ U103 の設定により異なります。
3. 中押え高さを高くした時や、針の番手を太くしたときは、ワイパーとのすき間を確認してください。すき間を確保できない場合は、ワイパーを使用することができません。ワイパーのスイッチを OFF にするか、メモリースイッチ U105 の設定値を変更してください。
メモリースイッチの設定は「II-3. メモリースイッチデータ一覧」 p.97 をご覧ください。

2-11. 一時停止の使い方




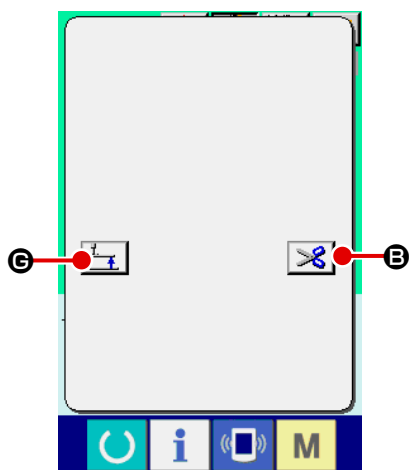
縫製中に一時停止スイッチ①を押すと、ミシンを停止させることができます。このとき、エラー画面が表示され、停止スイッチが押されたことを知らせます。

(1) 途中から続けて縫製を行うには





① エラーを解除する





リセットボタン  **A** を押してエラーを解除します。






② 糸切りを行う

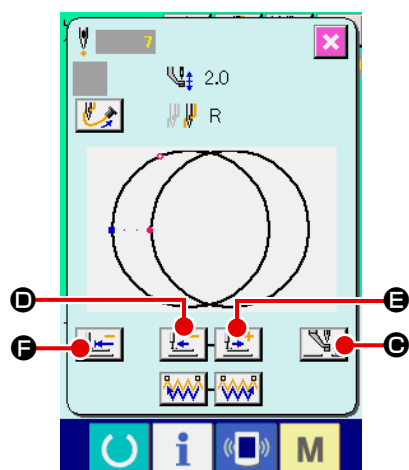
糸切りボタン  **B** を押して糸切りを行います。

押え上昇ボタン  **C** を押すと押えが上がります。その後の操作はできませんので、電源を OFF してください。


糸切りを行うと、画面上に、中押え上下ボタン  **C**、送り後退ボタン  **D**、送り前進ボタン  **E**、原点復帰ボタン  **F** が表示されます。


-  **参考**

 1. ボビンケース入れ忘れ等のトラブルで、押えを上げて途中終了するときは、押え上昇ボタン  **C** を押し、電源を OFF してください。
 2. 押え上昇ボタン  **C** は押え上げがエア仕様の場合は表示されません。



③ 押えを縫い直し位置に合わせる

送り後退ボタン  **D** を押すと押えが 1 針ずつ戻り、

送り前進ボタン  **E** を押すと 1 針ずつ進みます。縫い直し位置まで押えを移動してください。


④ 縫製を再スタートさせる

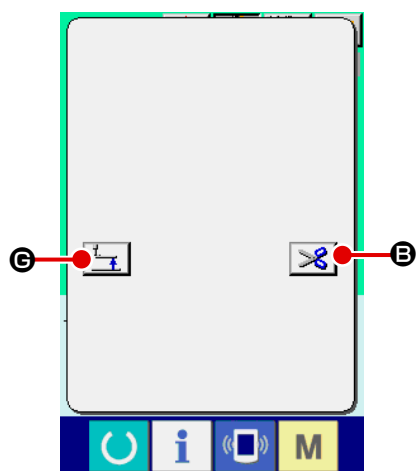
ペダルを踏み込むと縫製が再スタートします。

(2) 最初から縫い直すには





① エラーを解除する





リセットボタン  **A** を押してエラーを解除します。





② 糸切りを行う

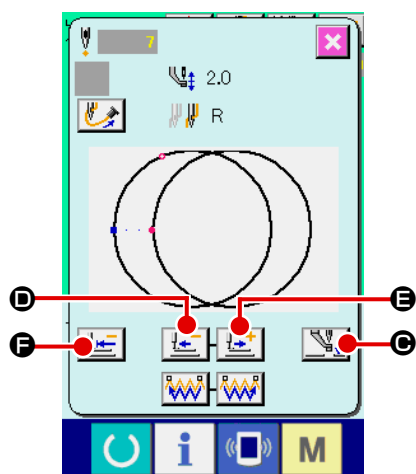
糸切りボタン  **B** を押して糸切りを行います。

押え上昇ボタン  **C** を押すと押えが上がります。その後の操作はできませんので、電源を OFF してください。


糸切りを行うと、画面上に、中押え上下ボタン  **C**、送り後退ボタン  **D**、送り前進ボタン  **E**、原点復帰ボタン  **F** が表示されます。



1. ボビンケース入れ忘れ等のトラブルで、押えを上げて途中終了するときは、押え上昇ボタン  **C** を押し、電源を OFF してください。
2. 押え上昇ボタン  **C** は押え上げがエア仕様の場合は表示されません。



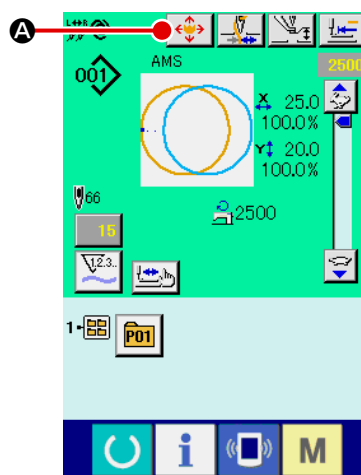
③ 原点復帰する

原点復帰ボタン  **F** を押すと、ポップアップを閉じ縫製画面を表示し、縫い始め位置へ戻ります。

④ 最初から縫製作業をやり直す

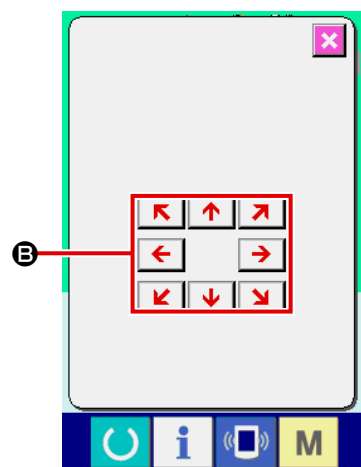
ペダルを踏み込むと縫製が再スタートします。

2-12. 針先が邪魔で縫製物がセットできない時



- ① パターンボタン移動画面を表示する。

パターンボタン移動ボタン  **A** を押すと、パターンボタン移動画面が表示されます。



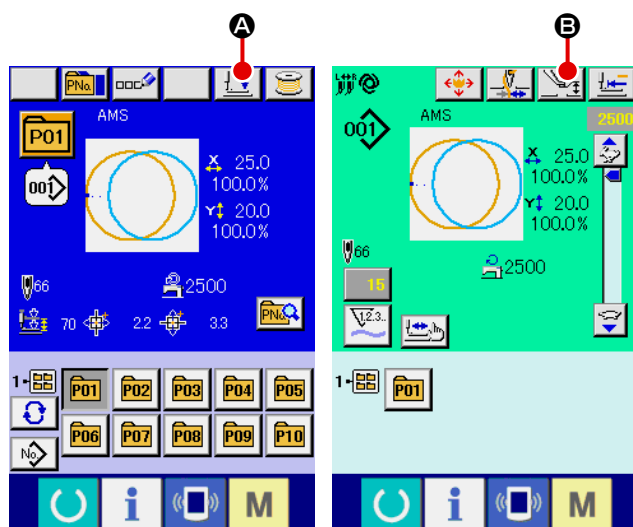
- ② パターンを移動する。

押えを下降させて、方向キー **B** で移動方向を入力します。





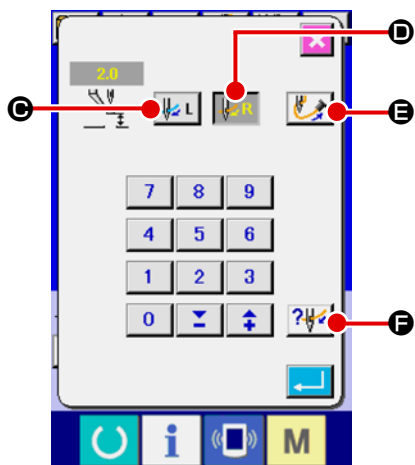
設定した移動量は、縫製画面中でのみ有効となります。
準備キー押下にてデータ入力画面へ戻ると、設定した移動量は消去されます。

2-13. 糸を通す針棒と糸押えを切り替えるには





- ① 中押え設定画面または押え下げ画面を表示する。

データ入力画面または縫製画面で押え下げボタン  **A**、または中押え設定ボタン  **B** を押し、中押え設定画面または押え下げ画面を表示します。





② 針棒と糸押えを切り替える。

左針選択ボタン  L **C** で左針、右針選択ボタン  R **D** で右針に、針棒と糸押えが切り替わります。



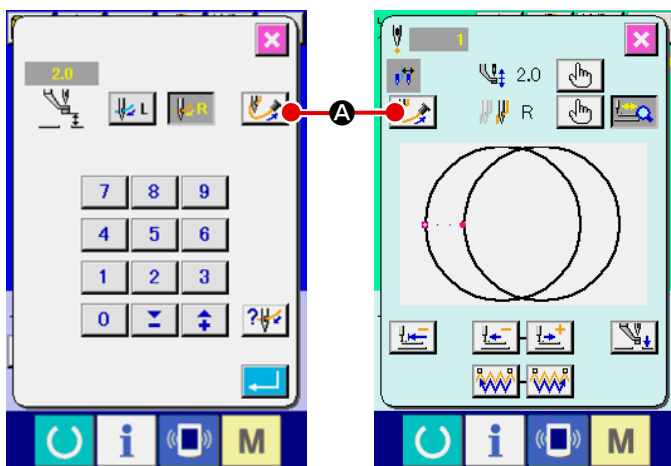
糸通しは電源を OFF した状態で行ってください。
→詳しくは「I-4-3. 上糸の通し方」p.12 をご覧ください。

この画面で針を切り替えても、縫製画面に移動するとき、針の選択状態は縫製する針に戻ります。


糸通し後は糸吸引ボタン  **E** を押して糸端をクランプさせてください。糸通し図ボタン  **F** を押すと糸通し図が表示されます。

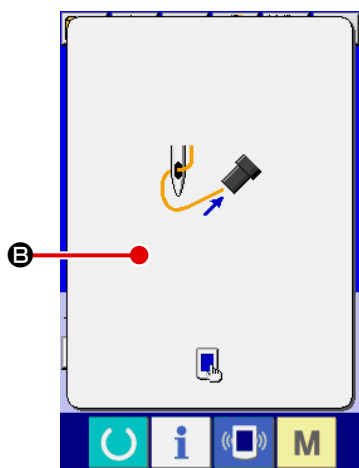
→「I-4-4. 上糸クランプの方法」p.14 をご覧ください。

2-14. 上糸をクランプさせるには



① 糸吸引画面を表示する。

中押え設定画面、押え下げ画面、形状確認画面で糸吸引ボタン  **A** を押すと、糸吸引画面が表示され、糸の吸引を開始します。



② 糸吸引を終了する。

糸吸引画面上 **B** をタッチすると、糸吸引を終了して元の画面に戻ります。

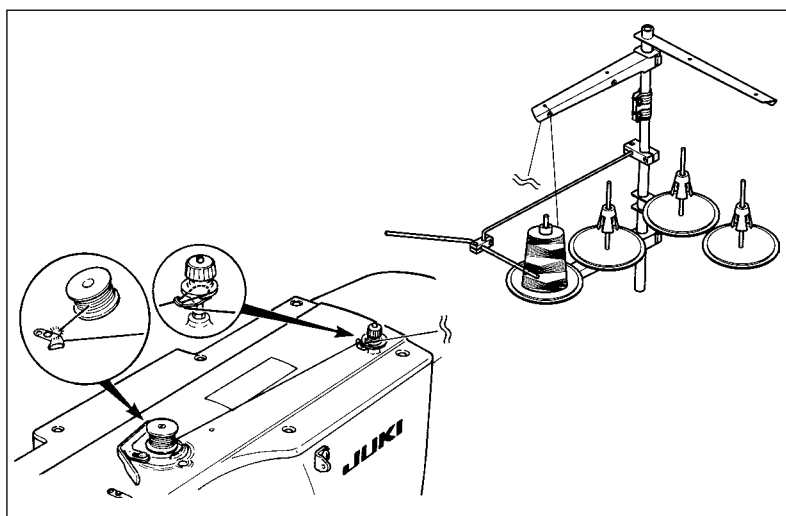
糸通しをした後などには、糸端を吸引させてクランプしてください。

クランプの方法については「I-4-4. 上糸クランプの方法」p.14 をご覧ください。

※形状確認画面の糸吸引ボタンは押え下降中のみ有効です。

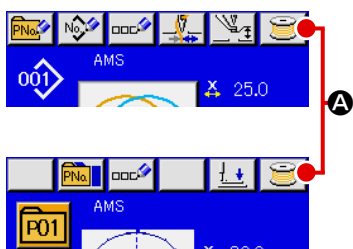
2-15. 下糸を巻くには

(1) 縫製しながら下糸巻きを行う場合




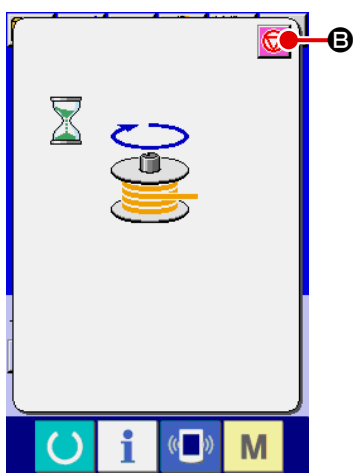
図のように糸を通して下糸を巻きま
す。

(2) 下糸巻きのみを行う場合



① 下糸巻き画面を表示する


データ入力画面（青色）にて糸巻きボタン  **A** を押すと、
押えが下降して、糸巻き画面が表示されます。




② 糸巻きを開始する

起動ペダルを踏むとマシンが回転し、下糸巻きを始めます。

③ マシンを停止する

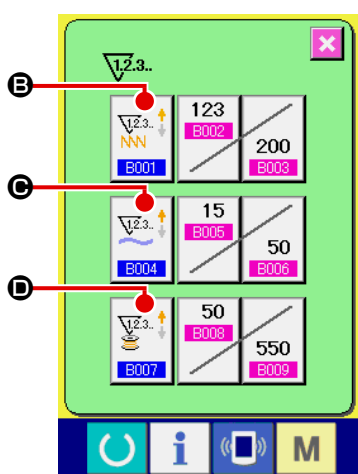
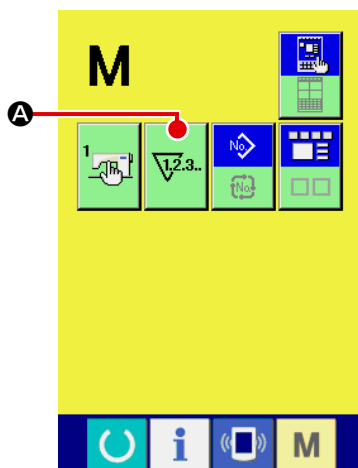
停止ボタン  **B** を押すとマシンは停止し、通常モードに戻
ります。または、下糸巻き中に起動ペダルを再度踏むと糸巻
きモードのままでマシンが停止しますので、再度起動ペダル
を踏むと下糸巻きを再開します。複数のボビンに糸を巻く場
合にご使用ください。




電源ON直後は糸巻きは動作しません。1度、パターン
No. 等を設定し、準備キー  を押して縫製画面を表示
させてから行ってください。

2-16. カウンターを使うには

(1) カウンターの設定方法



① カウンター設定画面を表示する



M スイッチを押すと画面上にカウンター設定ボタン  が表示されます。

A が表示されます。このボタンを押すと、カウンター設定画面が表示されます。

② カウンター種別の選択

本マシンには、縫製カウンター、枚数カウンター、下糸カウンターの3種類のカウンターがあります。縫製カウンター

種別選択ボタン  **B**、枚数カウンター種別選択ボタン

 **C**、下糸カウンター種別選択ボタン  **D** を押して、

カウンター種別選択画面を表示させ、それぞれ個別にカウンター種別を設定することができます。

【縫製カウンター】



アップカウンター :
1 形状の縫製を行うごとに現在値をカウントアップします。現在値と設定値が等しくなるとカウントアップ画面を表示します。



ダウンカウンター :
1 形状の縫製を行うごとに現在値をカウントダウンします。現在値が0になるとカウントアップ画面を表示します。



カウンター未使用 :
縫製を行っても縫製カウンターはカウントしません。縫製カウンターのカウントアップ画面は表示されなくなります。

【枚数カウンター】



アップカウンター :
1 つの組み合わせ縫いを行うごとに現在値をカウントアップします。現在値と設定値が等しくなるとカウントアップ画面を表示します。



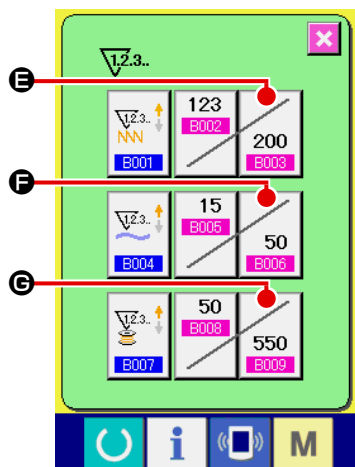
ダウンカウンター :
1 つの組み合わせ縫いを行うごとに現在値をカウントダウンします。現在値が0になるとカウントアップ画面を表示します。



カウンター未使用 :
縫製を行っても枚数カウンターはカウントしません。枚数カウンターのカウントアップ画面は表示されなくなります。



【下系カウンター】	
	アップカウンター ： 10針の縫製を行うごとに現在値をカウントアップします。現在値と設定値が等しくなるとカウントアップ画面を表示します。
	ダウンカウンター ： 10針の縫製を行うごとに現在値をカウントダウンします。現在値が0になるとカウントアップ画面を表示します。
	カウンター未使用 ： 縫製を行っても下系カウンターはカウントしません。下系カウンターのカウントアップ画面は表示されなくなります。



③ カウンター設定値の変更

縫製カウンターの場合には、ボタン E、

枚数カウンターの場合は、ボタン F、

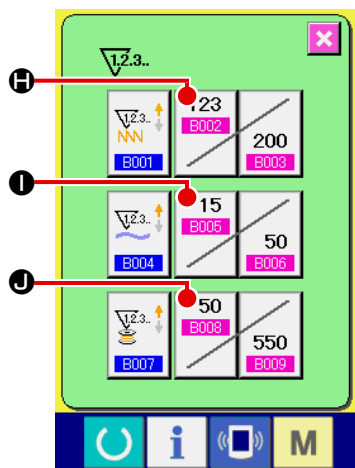
下系カウンターの場合は、ボタン G を押しと、

設定値入力画面が表示されます。



ここで設定値を入力してください。

設定値に0を入力するとカウントアップ画面の表示を行いません。



④ カウンター現在値の変更

縫製カウンターの場合には、ボタン H、

枚数カウンターの場合は、ボタン I、

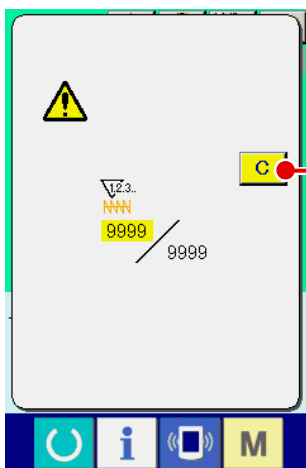
下系カウンターの場合は、ボタン J を押しと、

現在値入力画面が表示されます。



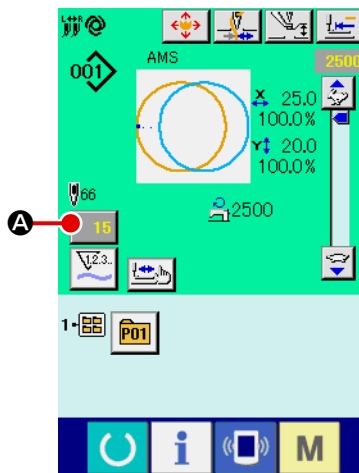
ここで現在値を入力してください。

(2) カウントアップの解除方法



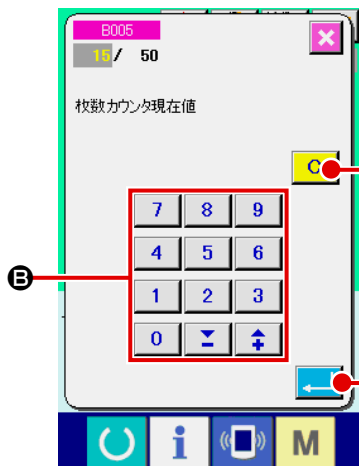
縫製作業中にカウントアップ条件に達すると、カウントアップ画面を表示し、ブザーを鳴らします。クリアボタン **C** **A** を押しとカウンターをリセットし、縫製画面に戻ります。そして、再カウントを開始します。

(3) 縫製中のカウンター値の変更方法



① カウンター値変更画面を表示する

縫製作業中に間違い等でカウンター値を修正したい場合は、縫製画面上のカウンター値変更ボタン **11** **A** を押ししてください。カウンター値変更画面が表示されます。



② カウンターの値を変更する

テンキー、+ / - キー **B** で希望の値を入力してください。

③ カウンターの値を確定する


エンターボタン **C** **C** を押しと、データが確定します。

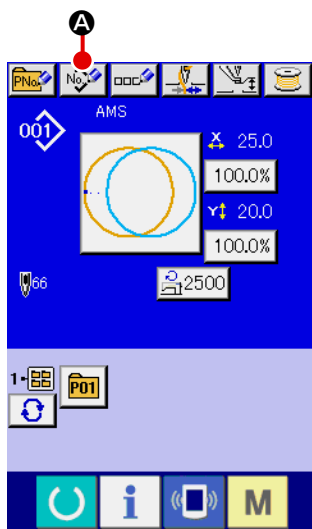
カウンター値をクリアしたい場合はクリアボタン **C** **D** を押ししてください。

2-17. ユーザーパターンの新規登録を行うには


① データ入力画面を表示する

データ入力画面（青色）の場合のみ、パターンの新規登録が可能になります。縫製画面（緑色）の場合には、

準備キー  を押し、データ入力画面（青色）を表示してください。



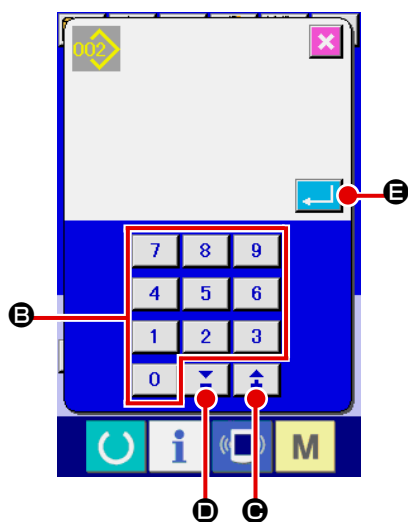
② ユーザーパターン新規登録画面を呼び出す

新規登録ボタン  (A) を押すとユーザーパターン新規登録画面が表示されます。


③ ユーザーパターン No. を入力する

新規に登録したいユーザーパターン No. をテンキー (B) で入力してください。

+ / - ボタン  ((C)・(D)) で未登録ユーザーパターン No. を検索することもできます。



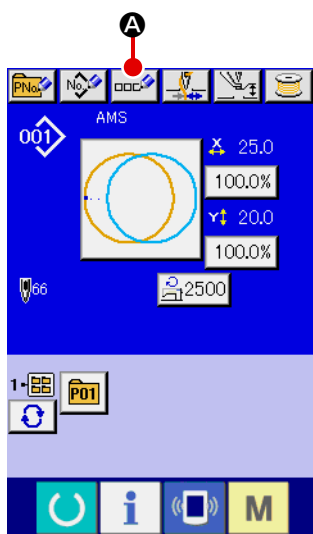
④ ユーザーパターン No. を確定する

エンターボタン  (E) を押すと、新規登録するユーザーパターン No. を確定し、ユーザーパターン選択時のデータ入力画面を表示します。


存在するユーザーパターン No を入力してエンターボタンを押した場合は、上書き確認画面が表示されます。

2-18. ユーザーパターンに名称を付けるには


ユーザーパターンには、それぞれ最大 255 文字までの文字を入力することができます。

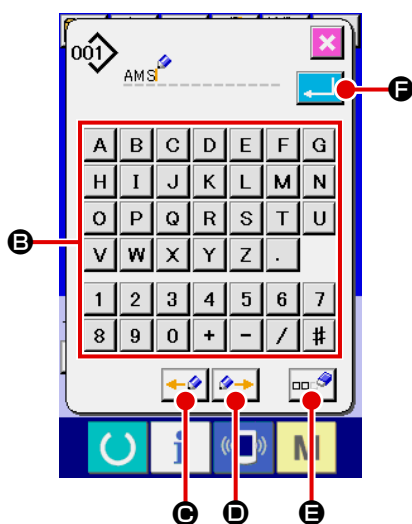


① データ入力画面を表示する




パターンボタン選択時のデータ入力画面（青色）の場合のみ、パターンボタン名称入力が可能です。縫製画面（緑色）の場合には、準備キー  を押し、データ入力画面（青色）を表示してください。

② 文字入力画面を呼び出す


文字入力ボタン  **A** を押し、文字入力画面が表示されます。



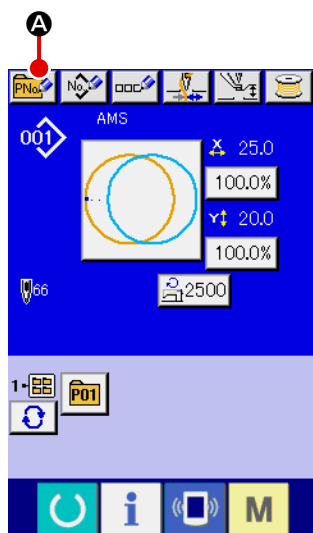
③ 文字を入力する

入力したい文字ボタン **B** を押すことで、文字の入力ができます。文字（**A** ~ **Z**、**0** ~ **9**）、記号（**+**、**-**、**/**、**#**、**.**）を最大 255 文字まで入力できます。カーソルは、カーソル左移動ボタン  **C**、カーソル右移動ボタン  **D** で移動することができます。入力した文字を削除したい場合には、削除したい文字位置にカーソルを合わせ、削除ボタン  **E** を押ししてください。

④ 文字入力を終了する


エンターボタン  **F** を押し、文字入力が終了します。終了後、データ入力画面（青色）上部に入力した文字が表示されます。

2-19. パターンボタンの新規登録を行うには




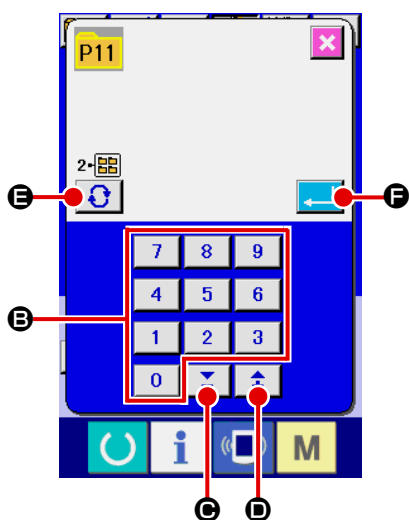
① データ入力画面を表示する

データ入力画面（青色）の場合のみ、パターンボタンの新規登録が可能になります。縫製画面（緑色）の場合には、

準備キー  を押し、データ入力画面（青色）を表示してください。

② パターンボタン新規登録画面を呼び出す

新規登録ボタン  **A** を押しとパターンボタン新規登録画面が表示されます。




③ パターンボタン No. を入力する

新規に登録したいパターンボタン No. をテンキー **B** で入力してください。既に登録されているパターンボタン No. への新規登録は禁止しています。


+ / - ボタン  (**C**・**D**) で未登録パターンボタン No. を検索することもできます。

④ 保存するフォルダを選択する

パターンボタンは5つのフォルダに保存することが可能です。1つのフォルダに対して10個までパターンボタンを保存することができます。保存するフォルダはフォルダ選択ボタン

 **E** で選択することができます。

⑤ パターン No. を確定する

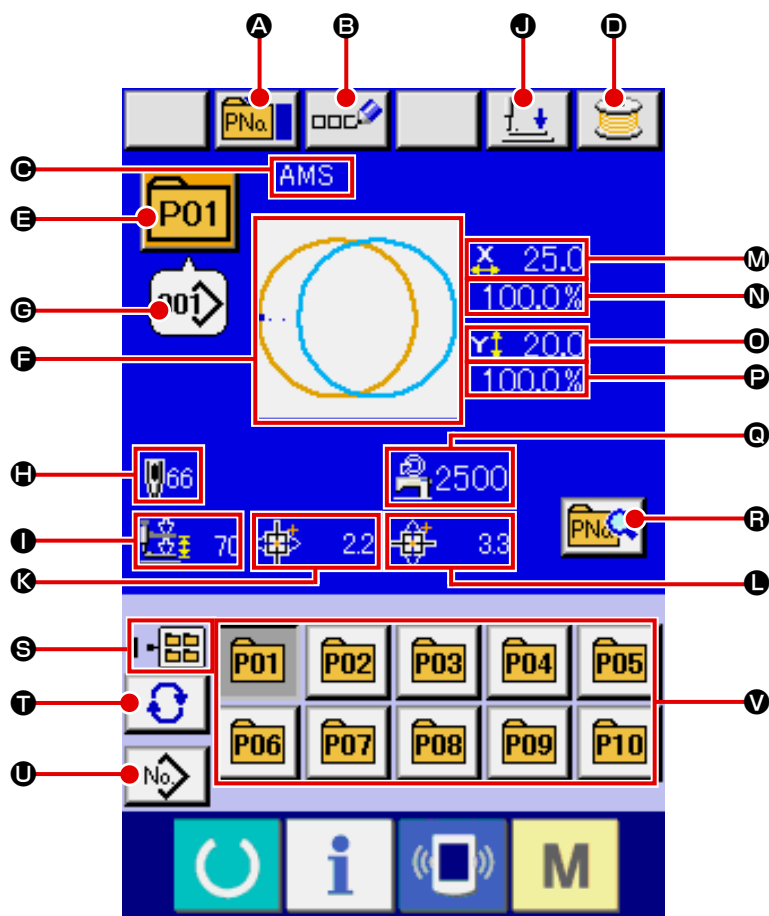
エンターボタン  **F** を押しと、新規登録するパターンボタン No. を確定し、パターンボタン選択時のデータ入力画面を表示します。

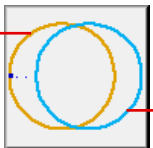





縫製画面が表示されている場合、P 1 ~ P 50 キーを押すと押えが下降します。指を挟まれないよう注意してください。

2-20. パターンボタン選択時の液晶表示部

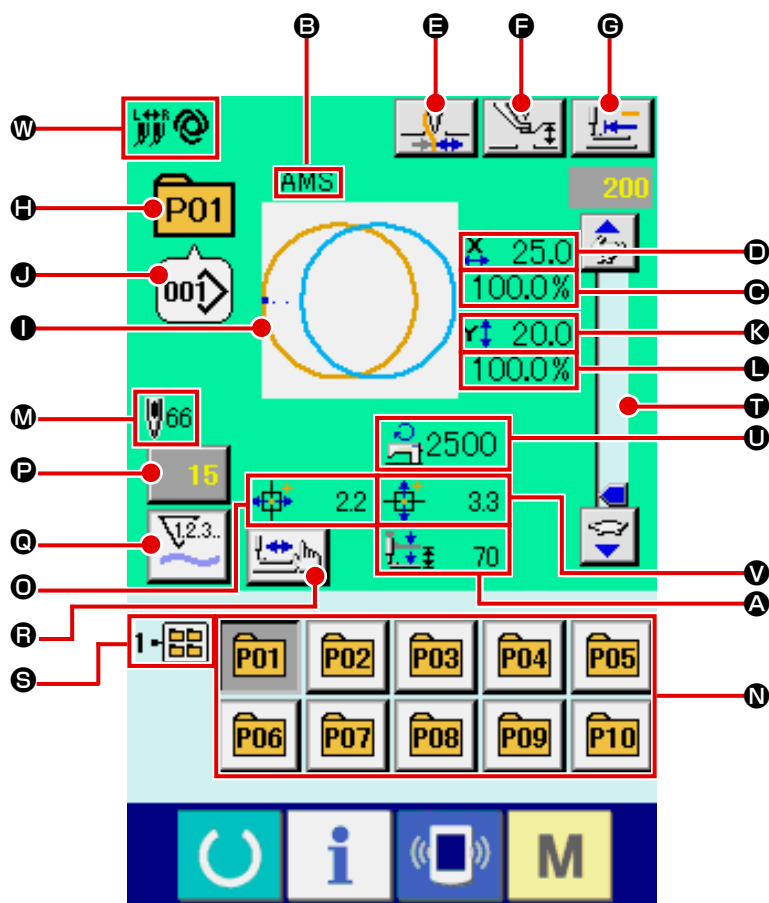
(1) パターンボタンデータ入力画面





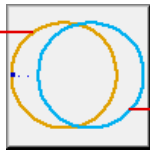



ボタン・表示	内容
A パターンボタンコピーボタン	パターンボタンコピー画面が表示されます。 → 「II-2-23. パターンボタンをコピーするには」 p.64 をご覧ください。
B パターンボタン名称設定ボタン	パターンボタン名称入力画面が表示されます。 → 「II-2-18. ユーザーパターンに名称を付けるには」 p.55 をご覧ください。
C パターンボタン名称表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている文字を表示します。
D 糸巻きボタン	下糸を巻くことができます。 → 「II-2-15. 下糸を巻くには」 p.50 をご覧ください。
E パターンボタン No. 表示	ボタン上に現在選択中のパターンボタン No. を表示し、押すとパターンボタン No. 選択画面が表示されます。 → 「II-2-21. パターンボタン No. 選択を行うには」 p.61 をご覧ください。
F 縫い形状	選択中のパターンボタン No. に登録されている縫い形状を表示します。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。 右針縫製部分 (橙色)  左針縫製部分 (水色)

	ボタン・表示	内容
Ⓔ	縫い形状 No. 表示	<p>現在選択中の縫い形状の種類と No. を表示します。 縫い形状の種類は下記の 4 つあります。</p> <p> : ユーザパターン</p> <p> : ベクトル形式データ</p> <p> : M3 データ</p> <p> : 縫製標準フォーマット</p> <p>※必ず IP-420 でフォーマットしたメディアを使用してください。メディアのフォーマット方法は、「II-2-32. メディアのフォーマットを行うには」 p.92 をご覧ください。</p>
Ⓕ	総針数	選択中のパターンボタン No. に登録されているパターンの総針数を表示します。
Ⓖ	2 段ストローク表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている 2 段ストローク値を表示します。
Ⓙ	押え下げボタン	押えを下降し、押え下降画面を表示します。 押えを上昇させるには、押え下降画面に表示される押え上昇ボタンを押してください。
Ⓚ	X 方向移動量表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている X 方向移動量を表示します。
Ⓛ	Y 方向移動量表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている Y 方向移動量を表示します。
Ⓜ	X 実寸値表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている X 実寸値を表示します。
Ⓝ	X 拡大縮小率表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている X 拡大縮小率を表示します。
Ⓞ	Y 実寸値表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている Y 実寸値を表示します。
Ⓟ	Y 拡大縮小率表示	選択中のパターンボタン No. に登録されている Y 拡大縮小率を表示します。
Ⓠ	最高速度制限	選択中のパターンボタン No. に登録されている最高速度制限を表示します。
Ⓡ	パターンボタン編集ボタン	パターンボタン編集画面を表示します。
Ⓢ	フォルダ番号表示	表示されているパターンボタンが保存されているフォルダ No. を表示します。
Ⓣ	フォルダ選択ボタン	パターンボタンの表示フォルダが順番に表示されます。
Ⓤ	縫い形状選択データ入力画面表示ボタン	縫い形状データ入力画面を表示します。 → 「II-2-4. 縫い形状選択時の液晶表示部」 p.27 の「(1) 縫い形状データ入力画面」 p.27 をご覧ください。
Ⓥ	パターンボタン	Ⓢ フォルダ番号に保存されているパターンボタンが表示されます。 → 「II-2-19. パターンボタンの新規登録を行うには」 p.56 をご覧ください。

(2) 縫製画面

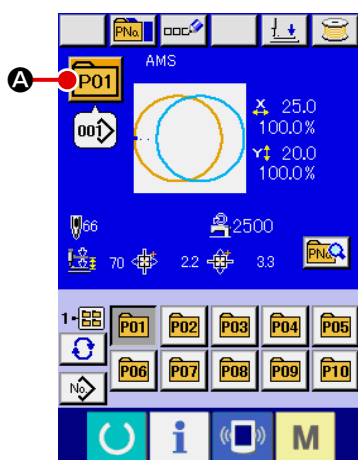


ボタン・表示	内容
Ⓐ	2 段ストローク表示 縫製中のパターンボタン No. に登録されている 2 段ストローク値を表示します。
Ⓑ	パターンボタン名称表示 選択中のパターンボタン No. に登録されている文字を表示します。
Ⓒ	X 拡大縮小率表示 選択中のパターンボタン No. に登録されている X 拡大縮小率を表示します。
Ⓓ	X 実寸値表示 選択中のパターンボタン No. に登録されている X 実寸値を表示します。
Ⓔ	糸つかみボタン 糸つかみの有効／無効を選択します。  : 糸つかみ無効  : 糸つかみ有効
Ⓕ	中押え設定ボタン 中押えを下降し、中押え基準値変更画面が表示されます。 → 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。
Ⓖ	原点復帰ボタン 一時停止時、押えを縫い始めまで戻し、押えを上昇します。
Ⓗ	パターン No. 表示 縫製中のパターンボタン No. を表示します。

	ボタン・表示	内容
I	縫い形状表示	<p>縫製中の縫い形状を表示します。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。</p> <p>右針縫製部分 (橙色)  左針縫製部分 (水色)</p>
J	縫い形状 No. 表示	縫製中パターンに登録されている、縫いの種類・縫い形状 No. を表示します。
K	Y実寸値表示	選択中のパターンボタン No. に登録されているY実寸値を表示します。
L	Y拡大縮小率表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されているY拡大縮小率を表示します。
M	縫い形状総針数表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている縫い形状の総針数を表示します。
N	パターン登録ボタン	<p>㊦ フォルダ番号に保存されているパターンボタンが表示されます。 → 「II-2-19. パターンボタンの新規登録を行うには」 p.56 をご覧ください。</p>
O	X方向移動量表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されているX方向移動量を表示します。
P	カウンター値変更ボタン	<p>ボタン上に現在のカウンター値を表示します。押すとカウンター値変更画面が表示されます。 → 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。</p>
Q	カウンター切り替えボタン	<p>縫製カウンター／枚数カウンター／下糸カウンターの表示の切り替えることができます。 → 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。</p>
R	ステップ縫いボタン	<p>ステップ縫い画面を表示します。パターン形状の確認を行うことができます。 → 「II-2-9. 形状確認を行うには」 p.41 をご覧ください。</p>
S	フォルダ番号表示	表示されているパターン登録ボタンが保存されているフォルダ番号を表示します。
T	速度ボリューム	ミシンの回転数を変更することができます。
U	最高速度制限表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている最高速度制限を表示します。
V	Y方向移動量表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されているY方向移動量を表示します。
W	針切替モード表示	<p>現在選択中の針切替モードを表示します。</p> <p>自動切替モード: </p> <p>手動切替モード・右針選択中: </p> <p>手動切替モード・左針選択中: </p> <p>自動切替モード中は、パターンデータに入力された色替え命令に従って自動的に縫製する針を切り替えます。 → 「II-2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには」 p.36 をご覧ください。</p> <p>手動切替モードに設定されているときは、ボタンを押すたびに針切替が実行され、右針選択と左針選択が入れ替わります。 → 「II-2-7. 色替えモードを変更するには」 p.35 をご覧ください。</p>


2-21. パターンボタン No. 選択を行うには

(1) データ入力画面からの選択




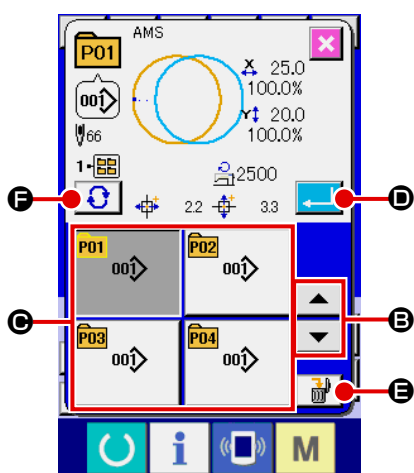
① データ入力画面を表示する

データ入力画面（青色）の場合に、パターンボタン No. 選択が可能になります。縫製画面（緑色）の場合には、


準備キー  を押し、データ入力画面を表示してください。

② パターン No. 選択画面を呼び出す


パターンボタン No. 選択ボタン  **A** を押し、パターンボタン No. 選択画面が表示されます。画面上部に現在選択されているパターンボタン No. とその内容が表示され、画面下部に登録されているパターンボタン No. ボタンの一覧が表示されます。





③ パターンボタン No. を選択する

上下スクロールボタン  **B** を押しと登録されているパターンボタン No. ボタン **C** が順次切り替わります。ボタンには、パターンボタン No. に入力されている縫製データの内容が表示されます。ここで選択したいパターンボタン No. ボタン **C** を押ししてください。


④ パターンボタン No. を確定する

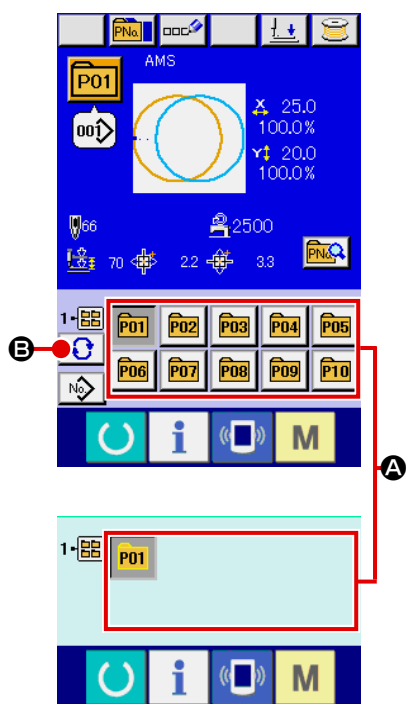
エンターボタン  **D** を押しと、パターンボタン No. 選択画面を閉じ、選択を終了します。


※ 登録されているパターンボタンを削除したい場合には、削除ボタン  **E** を押ししてください。但し、組み合わせ縫いに登録されているパターンボタンの削除はできません。

※ 表示するパターン No. は、フォルダ選択ボタン  **F** を押しと指定されているフォルダ内に保存されているパターンボタン No. が一覧表示されます。フォルダ番号が表示されない場合は、登録されているすべてのパターンボタン No. が表示されます。

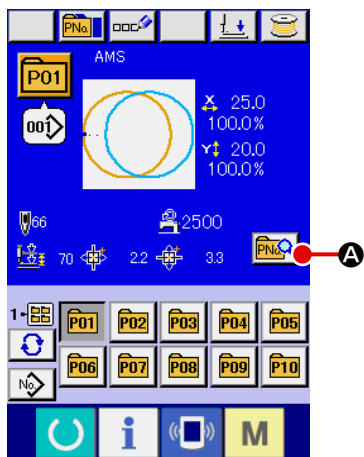
(2) ショートカットボタンによる選択


 注意	パターン選択後は必ずパターンの形状を確認してください。万一押えよりパターンがはみ出していると、縫製途中で針が押えに干渉し、針折れが発生するなど危険です。
---	--




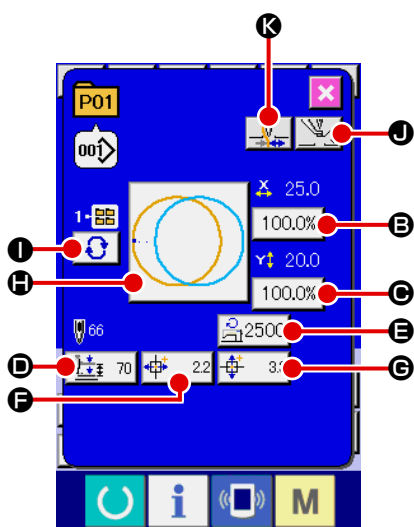
- ① **データ入力画面もしくは縫製画面を表示する**
パターンがフォルダに登録されてると、データ入力画面、縫製画面の画面下側に必ずパターンボタン **A** が表示されます。
- ② **パターン No. を選択する**
パターンボタンは、パターンを新規作成したときに指定したフォルダごとに表示されます。
フォルダ選択ボタン  **E** を押すことで、表示されるパターンボタンが変更されます。
縫製したいパターンボタン No. のボタンを表示し、押してください。押すと、そのパターンボタン No. が選択されます。

2-22. パターンボタンの内容を変更するには



① **パターンボタン選択時のデータ入力画面を表示する**
 パターン選択時のデータ入力画面（青色）の場合のみ、パターン
 の内容を変更することが可能になります。縫製画面（緑色）
 の場合には、準備キー  を押し、パターンボタン選択時
 のデータ入力画面を表示してください。

② **パターンボタンデータ変更画面を表示する。**
 パターンボタンデータ変更ボタン  **A** を押すとパターン
 ボタンデータ変更画面を表示します。



③ **変更したい項目データの入力画面を表示する**
 変更可能なデータは、下記 10 項目です。

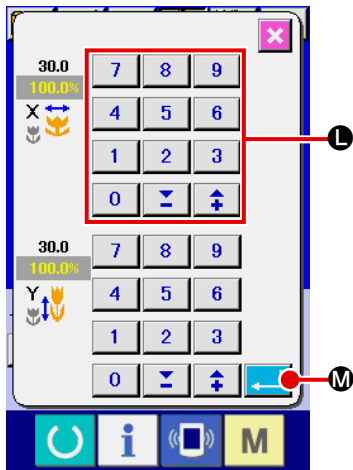
	項目	入力範囲	初期値
B	X方向拡大縮小率	1.0 ~ 400.0 (%)	100.0
C	Y方向拡大縮小率	1.0 ~ 400.0 (%)	100.0
D	中押し	0.0 ~ 3.5 (mm) (最大 0.0 ~ 7.0 (mm))	パターン設定値
E	最高速度制限	200 ~ 2500 (sti/min)	2500
F	X方向移動量	-152.0 ~ +152.0(mm)	0.0
G	Y方向移動量	-102.0 ~ +102.0(mm)	0.0
H	縫い形状	—	—
I	フォルダ No.	1 ~ 5	—
J	2段ストローク高さ	エア仕様; 10 ~ 300	70
K	糸つかみ	有り/無し	有り

B ~ **H**、**J** は各ボタンを押すと、項目データ入力画面が表示されます。**I**・**K** はボタンを押すと、フォルダ番号、糸つかみの有り/無しが切り替わります。

※ X方向の拡大縮小率 **B**、Y方向の拡大縮小率 **C** は、メモリスイッチ **U064** の選択にて、実寸値入力に変更することが可能です。

※ 最高制限速度 **E** の最大入力範囲及び初期値は、メモリスイッチ **U001** にて決まります。

※ X方向移動量 **F**、Y方向移動量 **G** の入力範囲は縫製範囲によって変わります。

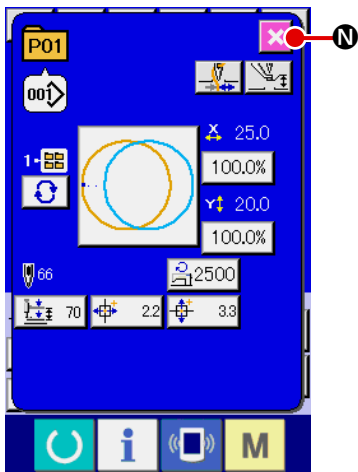


④ 項目データの変更を確定する

例として、X拡大縮小率を入力してみます。100.0% **B** を押して、項目データ入力画面を表示します。

テンキー、+ / - キー **L** で希望の値を入力してください。

エンターボタン **M** を押すと、データが確定します。



⑤ パターンボタンデータ変更画面を閉じる

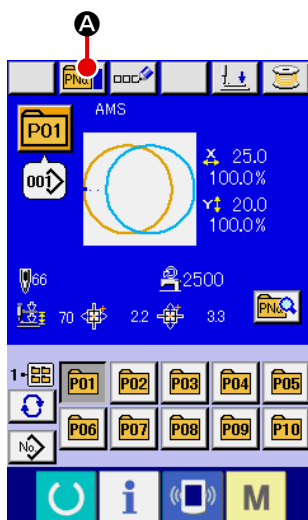
変更が終わりましたら、閉じるボタン **N** を押してください。パターンボタンデータ変更画面を閉じ、データ入力画面に戻ります。

※ 同様の操作で他の項目データの変更を行うことができます。

2-23. パターンボタンをコピーするには

すでに登録されているパターンボタン No. の縫製データを、未登録のパターンボタン No. にコピーすることができます。パターンボタンの上書きコピーは禁止していますので、上書きしたい場合は、一度パターンボタンを消去してから行ってください。

→ [「II-2-21. パターンボタン No. 選択を行うには」 p.61](#) をご覧ください。



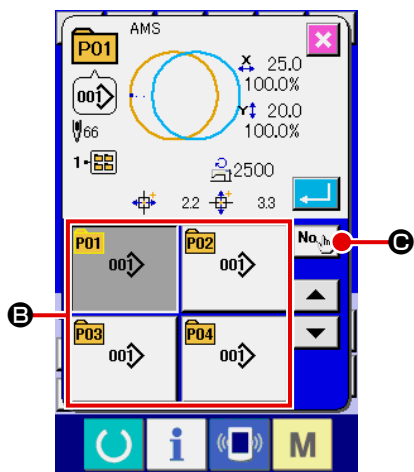
① データ入力画面を表示する

パターンボタン選択時のデータ入力画面（青色）の場合のみ、コピーが可能になります。縫製画面（緑色）の場合には、

準備キー **A** を押し、データ入力画面（青色）を表示してください。

② パターンコピー画面を呼び出す

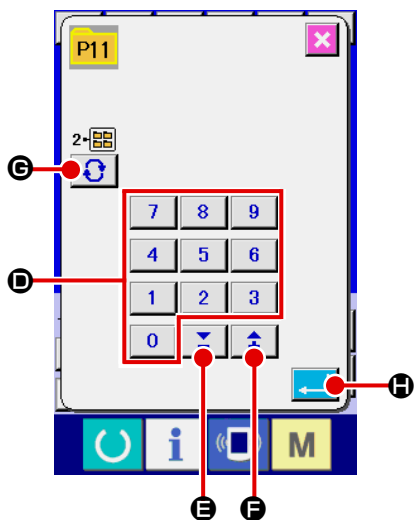
パターンボタンコピーボタン **A** を押すとパターンボタンコピー（コピー元選択）画面が表示されます。



③ コピー元のパターン No. を選択する

コピー元のパターンボタン No. をパターンボタン一覧ボタン **E** から選択してください。

次にコピー先入力ボタン **No.** **C** を押すとコピー先入力画面が表示されます。



④ コピー先のパターン No. を入力する

コピー先のパターンボタン No. をテンキー **D** で入力してください。+ / - ボタン **↑ ↓** (**F**・**E**) で未使用のパターンボタン No. を検索することもできます。

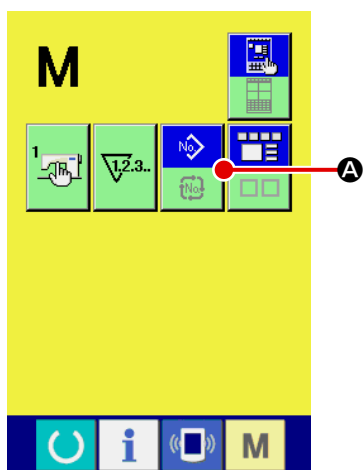
また、フォルダ選択ボタン **↻** **G** で保存するフォルダを選択することもできます。

⑤ コピーを開始する

エンターボタン **↵** **H** を押すとコピーを開始します。約 2 秒後コピーされたパターンボタン No. が選択状態でパターンボタンコピー (コピー元選択) 画面に戻ります。

※ 組み合わせデータも同様な方法でコピーすることができます。

2-24. 縫いモードを変更するには



① 縫いモードを選択する

パターンが登録されている状態で、**M** スイッチを押すと画

面上に縫いモード選択ボタン **No.** **A** が表示されます。この

ボタンを押すと、縫いモードが単独縫い⇔組み合わせ縫い切り替わります。(パターンボタンが登録されていない場合は、ボタンを押しても組み合わせ縫いには切り替わりません。)

※ 縫いモード選択ボタンは、現在選択されている縫いモードによってボタンのイメージが異なります。

単独縫い選択時：



組み合わせ (コンビネーション) 縫い選択時：



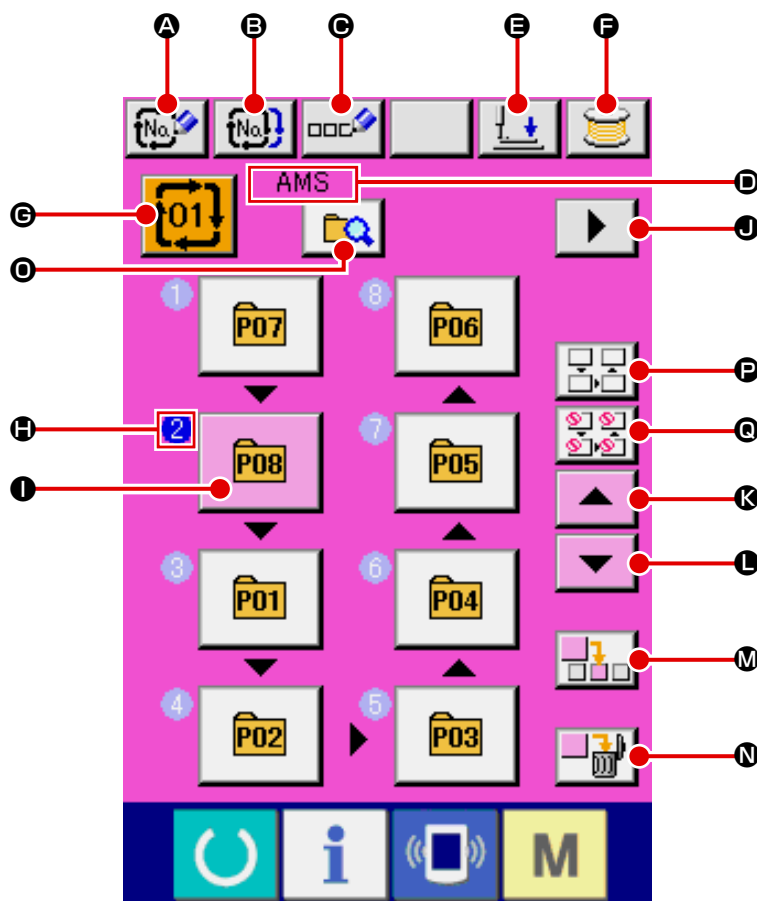
2-25. 組み合わせ縫い（コンビネーション）時の液晶表示部

本マシンは、複数のパターンデータを組み合わせ、順次縫製可能です。



最大 30 パターンまで入力できますので縫製品に複数の異なる形状を縫製するときにご使用ください。また組み合わせ縫いデータは最大 20 個まで登録可能です。必要に応じて、新規作成・コピーして使用してください。

→ [「II-2-19. パターンボタンの新規登録を行うには」 p.56](#)、
[「II-2-23. パターンボタンをコピーするには」 p.64](#) をご覧ください。

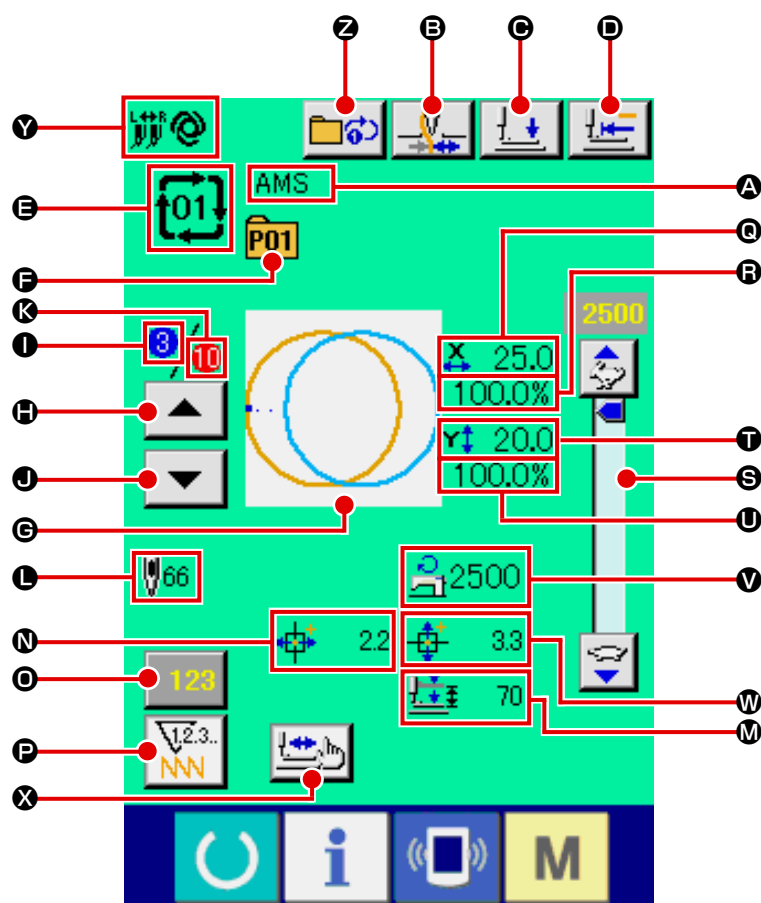
(1) データ入力画面



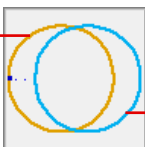


ボタン・表示	内容
Ⓐ 組み合わせデータ新規登録ボタン	組み合わせデータ No. 新規登録画面が表示されます。 → 「II-2-19. パターンボタンの新規登録を行うには」 p.56 をご覧ください。
Ⓑ 組み合わせデータコピーボタン	組み合わせパターン No. コピー画面が表示されます。 → 「II-2-23. パターンボタンをコピーするには」 p.64 をご覧ください。
Ⓒ 組み合わせデータ名称入力ボタン	組み合わせデータ名称入力画面が表示されます。 → 「II-2-18. ユーザーパターンに名称を付けるには」 p.55 をご覧ください。
Ⓓ 組み合わせデータ名称表示	選択中の組み合わせデータに入力されている名称を表示します。
Ⓔ 押え下げボタン	押えを下降し、押え下降画面を表示します。押えを上昇させるには、押え下降画面に表示される押え上昇ボタンを押してください。

	ボタン・表示	内容
F	糸巻き	下糸を巻くことができます。 → 「II-2-15. 下糸を巻くには」 p.50 をご覧ください。
G	組み合わせデータ No. 選択ボタン	ボタンに選択中の組み合わせデータ No. を表示し、押すと組み合わせデータ No. 選択画面が表示されます。
H	縫製順表示	入力されているパターンデータの縫製順を表示します。縫製画面に切り替えた場合に、最初に縫製するパターンを青色で表示しています。 ※ H、I のボタン・表示が入力されているパターンの数だけ表示されます。
I	パターン選択ボタン	H 縫製順に登録されているパターン No. と種別をボタン上に表示します。押すとパターン選択画面が表示されます。 G がパターン登録モードの場合：パターン選択画面が表示されます。 → 「II-2-26. 組み合わせ縫いを行うには」 p.70 の「(2) 組み合わせデータの作成方法」 p.71 をご覧ください。 O がスキップ選択モードの場合：各ステップの縫製を「スキップする」⇔「スキップしない」が切り替わります。 → 「II-2-26. 組み合わせ縫いを行うには」 p.70 の「(5) ステップのスキップ設定」 p.73 をご覧ください。 ※ H、I のボタン・表示が入力されているパターンの数だけ表示されます。
J	次ページ表示ボタン	組み合わせデータに登録されているパターンが 8 個以上になると、表示されません。
K	上スクロールボタン	パターン No. の選択を 1 つ前にします。
L	下スクロールボタン	パターン No. の選択を 1 つ後にします。
M	ステップ挿入ボタン	選択中のパターン No. の 1 つ前にステップを挿入します。
N	ステップ削除ボタン	選択中のステップを削除します。
O	モード切替ボタン	ボタンを押すとパターン登録モードとスキップ設定モードが切り替わります。  : パターン登録モード  : スキップ設定モード
P	全てスキップ解除ボタン	組み合わせデータに登録されている全てのステップを「スキップしない」に設定します。 → 「II-2-26. 組み合わせ縫いを行うには」 p.70 の「(5) ステップのスキップ設定」 p.73 をご覧ください。
Q	全てスキップボタン	組み合わせデータに登録されている全てのステップを「スキップする」に設定します。 → 「II-2-26. 組み合わせ縫いを行うには」 p.70 の「(5) ステップのスキップ設定」 p.73 をご覧ください。

(2) 縫製画面



	ボタン・表示	内容
A	組み合わせデータ名称表示	選択中の組み合わせデータに入力されている名称を表示します。
B	糸つかみボタン	糸つかみの有効/無効を選択します。  : 糸つかみ無効  : 糸つかみ有効
C	押え下げボタン	押えを下降し、押え下降画面を表示します。 押えを上昇させるには、押え下降画面に表示される押え上昇ボタンを押してください。
D	原点復帰ボタン	現在の押え位置が縫製途中の場合に、押えを縫い始めまで戻して上昇させます。
E	組み合わせデータ No. 表示	選択中の組み合わせデータ No. を表示します。
F	パターンボタン No. 表示	縫製中のパターンボタン No. を表示します。
G	縫い形状表示	縫製中の縫い形状を表示します。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。 右針縫製部分 (橙色) —  — 左針縫製部分 (水色)

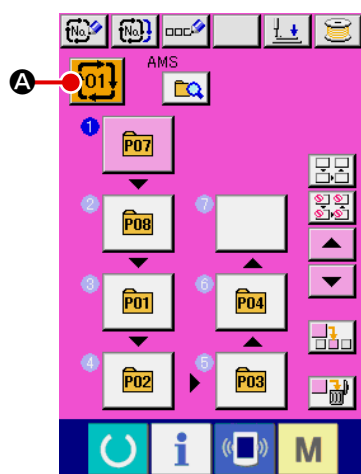
	ボタン・表示	内容
H	縫製順戻しボタン	縫製するパターンを 1 つ前に戻すことができます。
I	縫製順表示	現在縫製中の縫製順番を表示します。
J	縫製順進むボタン	縫製するパターンを 1 つ進めることができます。
K	登録総数表示	縫製中の組み合わせ No. に登録されているパターンの総数を表示します。
L	総針数表示	縫製中の縫い形状の総針数を表示します。
M	2 段ストローク表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている 2 段ストローク値を表示します。
N	X 方向移動量表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている X 方向移動量を表示します。
O	カウンター値変更ボタン	ボタン上に現在のカウンター値を表示します。押すとカウンター値変更画面が表示されます。 → 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。
P	カウンター切り替えボタン	縫製カウンター／枚数カウンター／下糸カウンターの表示の切り替えることができます。 → 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。
Q	X 実寸値表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている縫い形状の X 実寸値を表示します。
R	X 拡大縮小率表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている縫い形状の X 拡大縮小率を表示します。
S	速度ボリューム	ミシンの回転数を変更することができます。
T	Y 実寸値表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている縫い形状の Y 実寸値を表示します。
U	Y 拡大縮小率表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている縫い形状の Y 拡大縮小率を表示します。
V	最高速度制限表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている最高速度制限を表示します。
W	Y 方向移動量表示	縫製中のパターンボタン No. に登録されている Y 方向移動量を表示します。
X	ステップ縫いボタン	ステップ縫い画面を表示します。パターン形状の確認を行うことができます。 → 「II-2-9. 形状確認を行うには」 p.41 をご覧ください。
Y	針切替モード表示	現在選択中の針切替モードを表示します。 自動切替モード：  手動切替モード・右針選択中：  手動切替モード・左針選択中：  自動切替モード中は、パターンデータに入力された色替え命令に従って自動的に縫製する針を切り替えます。 → 「II-2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには」 p.36 をご覧ください。 手動切替モードに設定されているときは、ボタンを押すたびに針切替が実行され、右針選択と左針選択が入れ替わります。 → 「II-2-7. 色替えモードを変更するには」 p.35 をご覧ください。
Z	1 ステップリピートボタン	1 ステップリピートの有効 / 無効を選択します。  : 1 ステップリピート無効  : 1 ステップリピート有効

2-26. 組み合わせ縫いを行うには


まず、設定を行う前に縫いモードを組み合わせ縫いに変更してください。

→ 「II-2-24. 縫いモードを変更するには」 p.65 をご覧ください。


(1) 組み合わせデータの選択

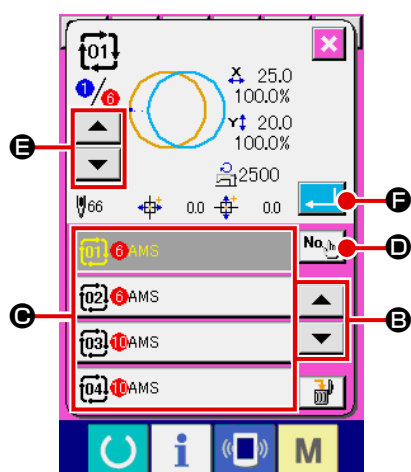


① データ入力画面を表示する



データ入力画面（ピンク色）の場合のみ、組み合わせデータ No. の選択が可能になります。縫製画面（緑色）の場合には、準備キー  を押し、データ入力画面（ピンク色）を表示してください。

② 組み合わせデータ No. 選択画面を呼び出す

組み合わせデータ No. ボタン  **A** を押し、組み合わせデータ No. 選択画面が表示されます。画面上部に現在選択されている組み合わせデータ No. とその内容が表示され、画面下部に登録されている他の組み合わせデータ No. ボタンが表示されます。




③ 組み合わせデータ No. を選択する

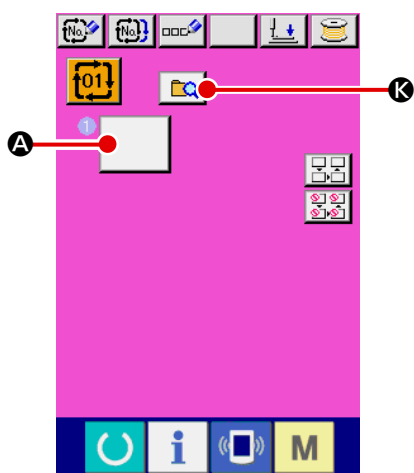
上下スクロールボタン  **B** を押しと登録されている組み合わせデータ No. ボタン **C** が順次切り替わります。数字入力ボタン  **D** で組み合わせデータ No. 入力画面を表示し、組み合わせデータ No. を直接入力することもできます。ここで選択したい組み合わせデータ No. ボタン **C** を押ししてください。

ステップ確認ボタン  **E** を押しと、組み合わせデータに登録されているパターンの縫い形状などが順次切り替わり表示されます。


④ 組み合わせデータ No. を確定する

エンターボタン  **F** を押しと、組み合わせデータ No. 選択画面を閉じ、選択を終了します。

(2) 組み合わせデータの作成方法



① データ入力画面を表示する


データ入力画面（ピンク色）の場合のみ、組み合わせデータの
入力が可能となります。縫製画面（緑色）の場合には、
準備キー  を押し、データ入力画面（ピンク色）を表示
してください。

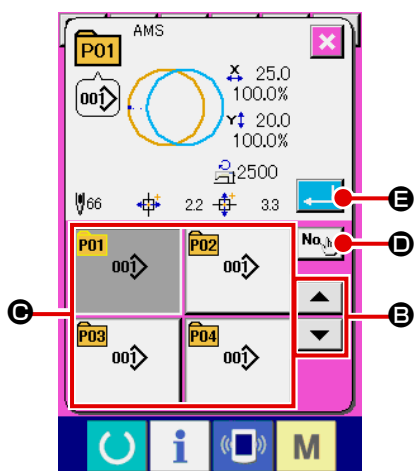
初期状態では、パターン No. が登録されていないため、1 番
目のパターン選択ボタンが空白の状態に表示されています。

② パターン No. 選択画面を表示する

パターン選択ボタン  **A** を押すと、パターン No. 選択画
面が表示されます。




選択モード切替ボタン  **K** がパターン登録モードに
なっていることを確認してください。パターン登録モード
になっていない場合は、選択モード切替ボタンを押してく
ださい。




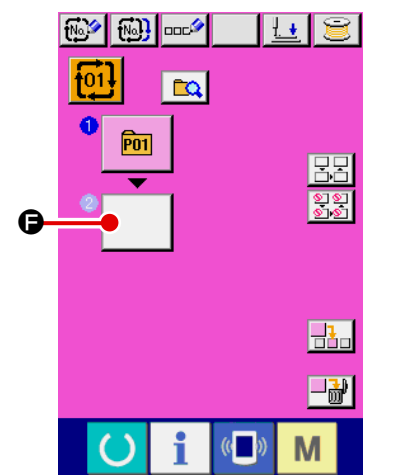
③ パターン No. を選択する

上下スクロールボタン  **B** を押すと登録されてい
るパターン No. ボタン **C** が順次切り替わります。


数字入力ボタン  **D** でパターン No. 入力画面を表示し、
パターン No. を直接入力することもできます。
ボタンには、パターンデータの内容が表示されています。
ここで選択したいパターン No. ボタンを押してください。

④ パターン No. を確定する

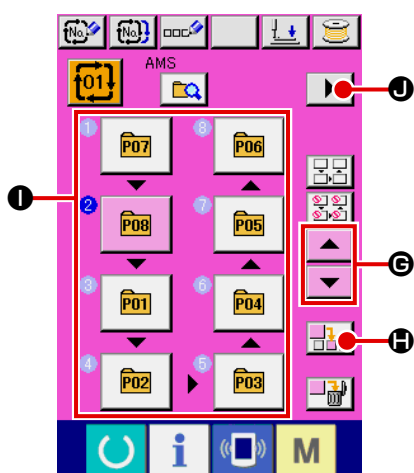
エンターボタン  **E** を押すと、パターン No. 選択画面を
閉じ、選択を終了します。





⑤ ②～④を登録したい回数分繰り返す

1 番目の登録が確定すると、2 番目のパターン選択ボタン
 **F** が表示されます。

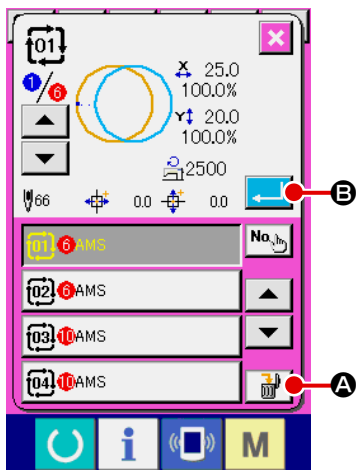
②～④を登録したい回数分繰り返してください。





上下スクロールボタン  **G** を押すとパターン No.
ボタンを選択できます。選択されたパターン No. ボタンはピ
ンク表示  になります。

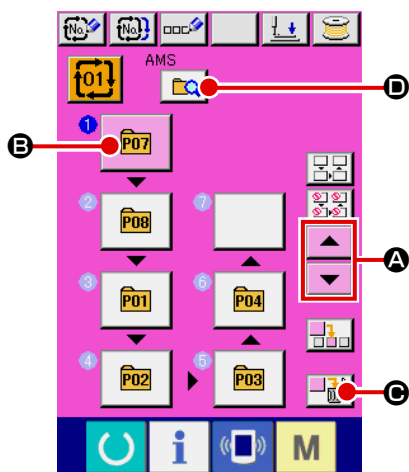
パターン No. 挿入ボタン  **H** を押すと、選択中（ピンク
表示）のパターン No. のひとつ前にステップを挿入します。
表示中のパターン No. ボタン **I** を押して別のパターン
No. を選択すると、パターン No. が入れ替わります。
作成した組み合わせデータが複数画面にわたる場合、画面ス
クロールボタン  **J** で次画面を表示できます。




(3) 組み合わせデータの削除方法





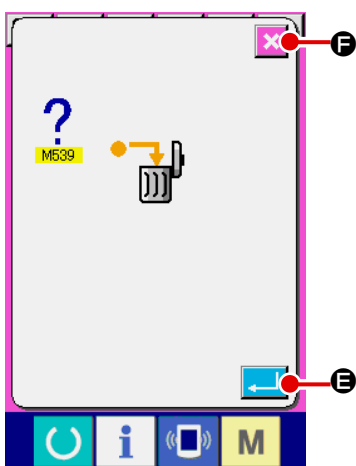
- ① 組み合わせデータ No. を選択する
 「(1) 組み合わせデータを選択」 p.70 の①～③を行い、削除する組み合わせデータを表示してください。
- ② 組み合わせデータを削除する
 データ削除ボタン  **A** を押すと、組み合わせデータ削除確認ポップアップが表示されます。ここでエンターボタン  **B** を押すと、選択した組み合わせデータが削除されます。



(4) 組み合わせデータのステップの削除方法



- ① 組み合わせデータ No. を選択する
 「(1) 組み合わせデータを選択」 p.70 の①～②を行い、削除したいステップを含む組み合わせデータが選択された状態にしてください。
- ② パターン No. 選択画面を表示する
 上下スクロールボタン  **A** を押して削除したいステップのパターン選択ボタンを選択状態  **B** にし、ステップ削除ボタン  **C** を押すと、データステップ削除ポップアップが表示されます。

 選択モード切替ボタン  **D** がパターン登録モードになっていることを確認してください。パターン登録モードになっていない場合は、選択モード切替ボタンを押してください。

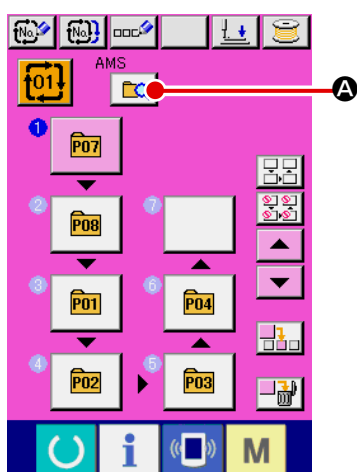


- ③ 選択した組み合わせデータのステップを削除する
 エンターボタン  **E** を押すと、選択した組み合わせデータのステップが削除されます。
 キャンセルボタン  **F** を押すと、削除せずに組み合わせデータの入力画面へ戻ります。

(5) ステップのスキップ設定


任意のステップの縫製をスキップするように設定を行うことができます。

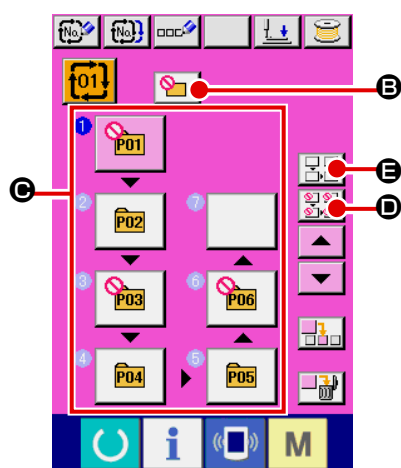
組み合わせデータの中で一時的に縫製をスキップしたいステップがある場合にご使用ください。




① スキップ設定モードにする

モード切替ボタン  **A** を押してスキップ設定モード


 **B** にします。



② スキップしたいステップのボタンを押す

ステップのボタン **C** を押すと  が表示され、そのステップはスキップ設定となります。もう一度ボタンを押すとスキップ設定が解除されます。複数のステップに対してスキップ設定可能です。

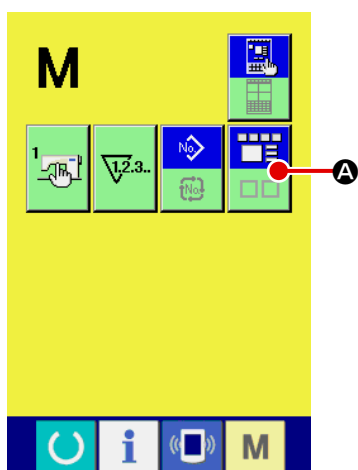
全てスキップボタン  **D**、全てスキップ解除ボタン

 **E** を押すと全てのステップに対してスキップ設定、スキップ設定解除を行えます。


なお、全てのステップがスキップ設定となっている場合は準備キーを押しても縫製画面を表示しません。

2-27. 簡易操作モードを使用するには

IP-420 では、簡易操作モードを使用することができます。



① 縫いモードを選択する

M キーを押すと画面上に画面モード選択ボタン  **A** が表示されます。このボタンを押すと、画面モードが通常操作⇔簡易操作と切り替わります。

通常操作選択時：



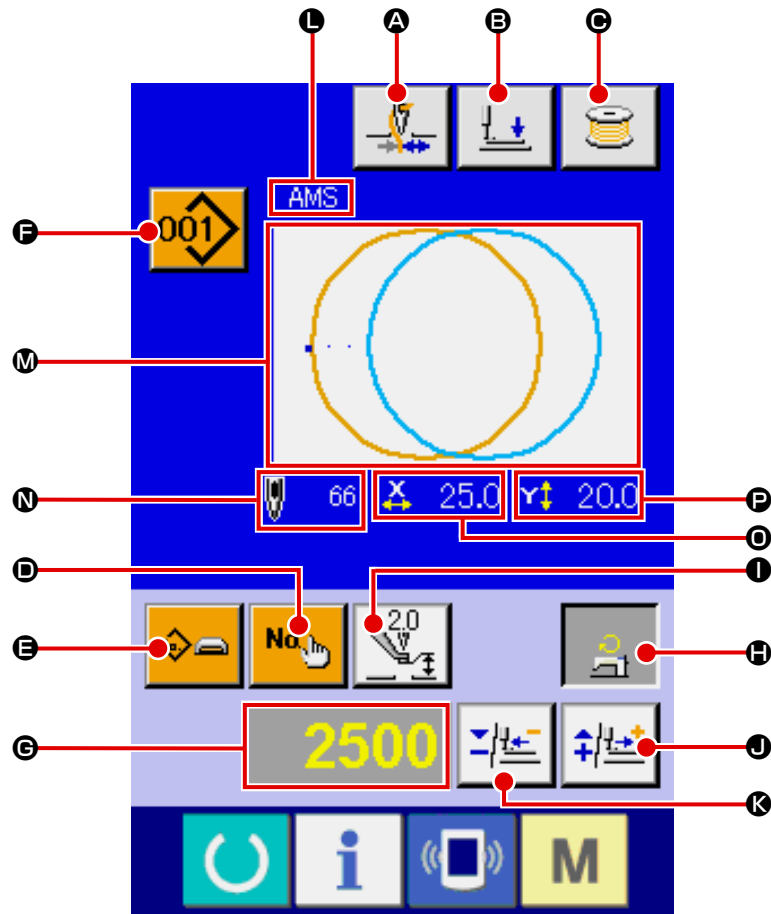
簡易操作選択時：



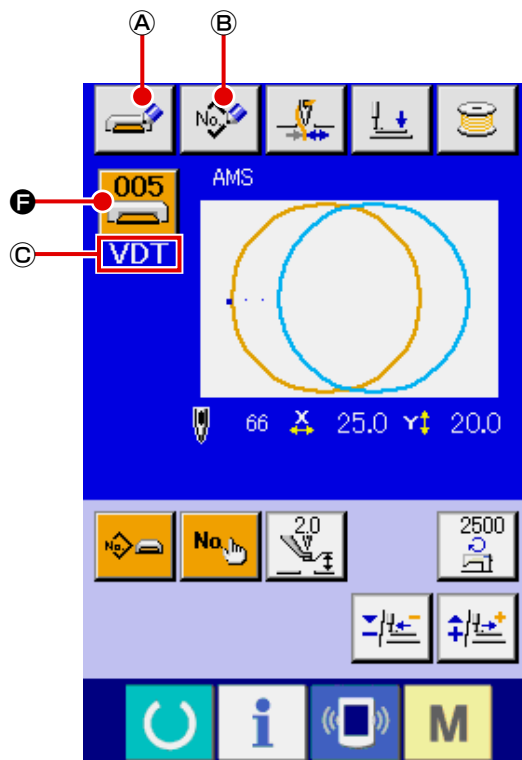
2-28. 簡易操作選択時の液晶表示部

(1) データ入力画面（単独縫い）

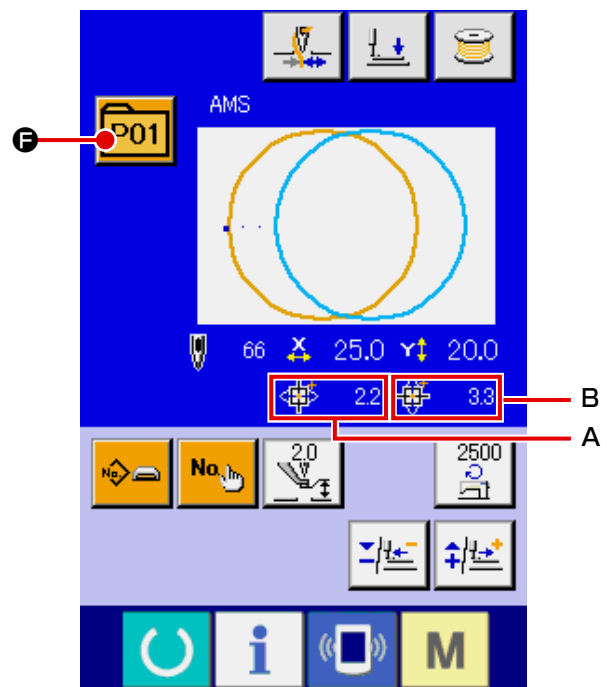
[ユーザーパターン]







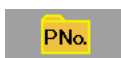
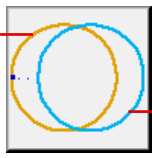


[メディアパターン]



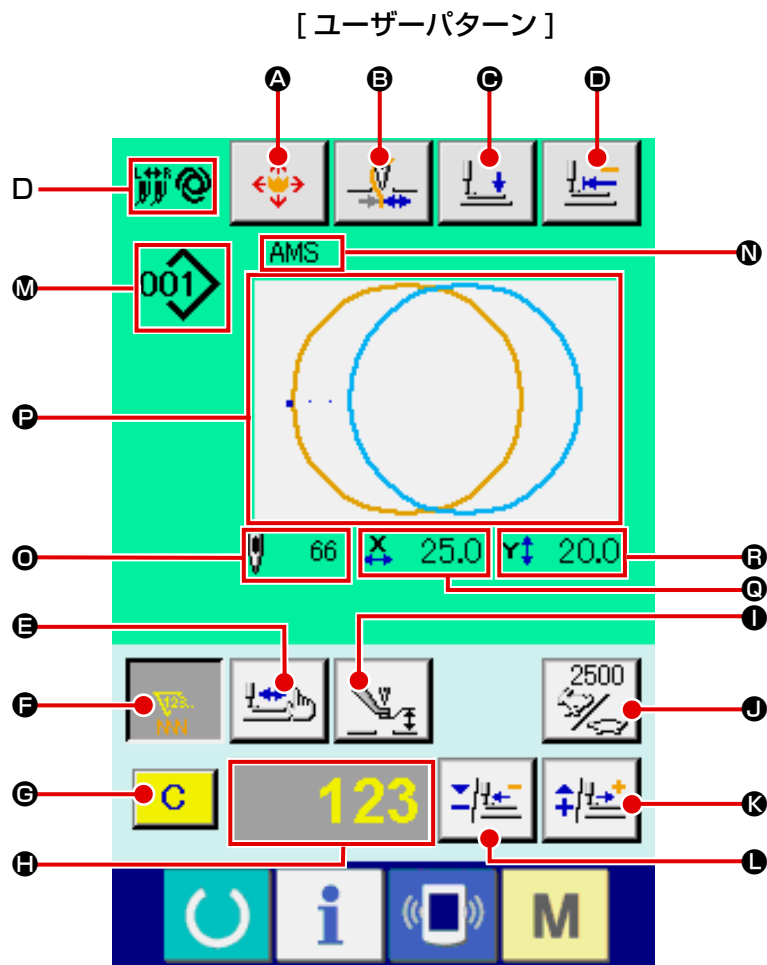
[ダイレクトパターン]



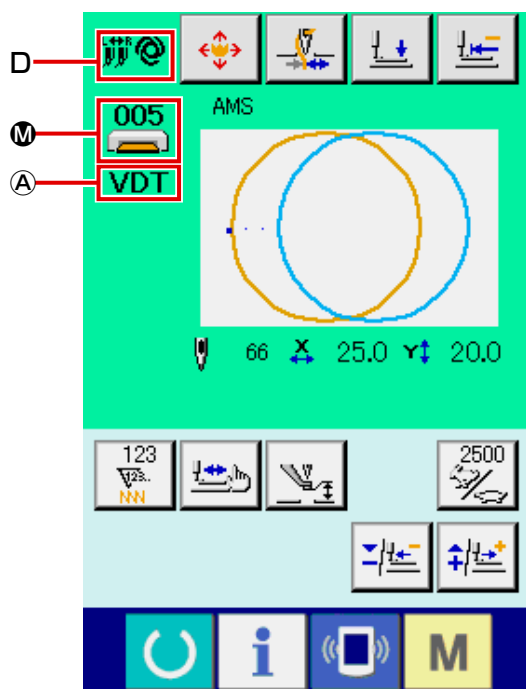
	ボタン・表示	内容
A	糸つかみボタン	糸つかみの有効／無効を選択します。  : 糸つかみ無効  : 糸つかみ有効
B	押え下げボタン	外押えと中押えを下降させ、押え下げ画面を表示します。
C	糸巻きボタン	下糸を巻くことができます。 → 「II-2-15. 下糸を巻くには」 p.50 をご覧ください。
D	パターン No. 設定ボタン	パターン No を設定します。 プラスボタン J・マイナスボタン K にて登録済みパターン No. を検索します。
E	パターン種別設定ボタン	パターン種別を設定します。プラスボタン J・マイナスボタン K にて下記の種別を切り替え、選択します。  : ユーザーパターン  : ベクトル形式データ  : M3 データ  : 縫製標準フォーマット  : ダイレクトパターン 選択したパターン種別は編集データ表示 G に表示します。 ※パターンが1つも登録されていない種別は選択できません。
F	パターン一覧ボタン	現在選択されているパターン No. と種別をボタン上に表示します。 押すと、選択中のパターン一覧画面を表示し、パターンの選択を行います。
G	編集データ表示	現在選択されている編集項目の編集中のデータを表示します。 ※ 編集データ項目未選択時は、表示されません。
H	最高制限速度設定ボタン	ボタン上に現在の最高制限速度を表示し、押すと最高制限速度を変更できます。 設定中は最高制限速度を編集データ表示 G に表示します。 プラスボタン J・マイナスボタン K にて 100sti/min 単位で増減させます。 → 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。
I	中押え高さ基準値設定ボタン	ボタン上に現在の中押え高さの基準値を表示し、押すと中押え高さの基準値を変更できます。 設定中は中押え高さ基準値を編集データ表示 G に表示します。 プラスボタン J・マイナスボタン K にて 0.1mm 単位で増減させます。 → 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。
J	プラスボタン	選択されている項目に対して、編集単位ごとに数値を増加させます。
K	マイナスボタン	選択されている項目に対して、編集単位ごとに数値を減少させます。
L	パターン名称表示	現在選択されているパターンの名称を表示します。
M	縫い形状表示	現在選択されているパターンの縫い形状を表示します。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。 右針縫製部分 (橙色)  左針縫製部分 (水色)
N	針数表示	現在選択されているパターンの針数を表示します。
O	X 実寸値表示	選択中の縫い形状の X 実寸値を表示します。メモリースイッチ U064 の設定により、実寸値入力を選択すると X 実寸値設定ボタンが表示されます。 → 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。

	ボタン・表示	内容
●	Y 実寸値表示	選択中の縫い形状のY実寸値を表示します。メモリースイッチ U064 の設定により、実寸値入力を選択するとY実寸値設定ボタンが表示されます。 → 「II-2-6. 項目データを変更するには」 p.33 をご覧ください。
Ⓐ	メディアパターン書き込みボタン	メディアパターンへの書き込みを行います。 押すと、メディアパターン新規登録画面を表示します。 ※ メディアパターン選択時に表示されます。
Ⓑ	ユーザーパターン書き込みボタン	ユーザーパターンへの書き込みを行います。 押すと、ユーザーパターン新規登録画面を表示します。 ※ メディアパターン選択時に表示されます。
Ⓒ	縫製データ種類表示	メディアから読み込んだデータの種類を表示します。 VDT : ベクトル形式データ M3 : M3 データ DAT : 縫製標準フォーマット ※ メディアパターン選択時に表示されます。
A	X 方向移動量表示	選択中のパターンボタン No. に登録されているX方向移動量を表示します。 ※ ダイレクトパターン選択時に表示されます。
B	Y 方向移動量表示	選択中のパターンボタン No. に登録されているY方向移動量を表示します。 ※ ダイレクトパターン選択時に表示されます。

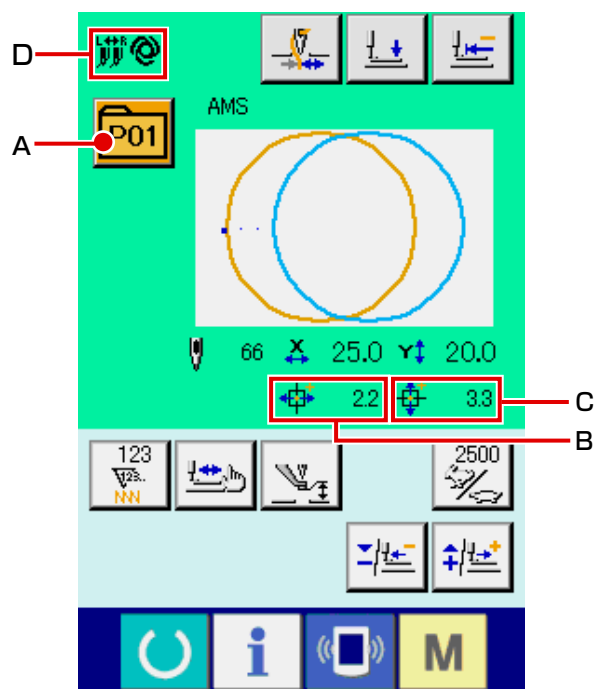
(2) 縫製画面 (単独縫い)



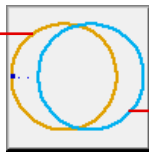





[メディアパターン]



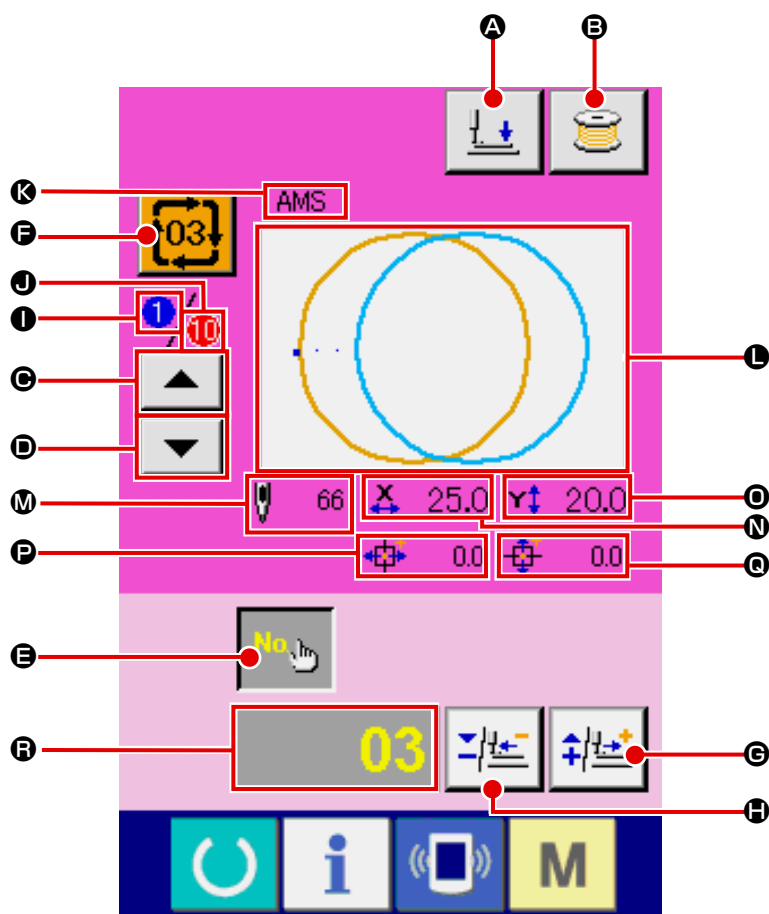
[ダイレクトパターン]



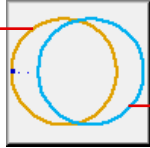
	ボタン・表示	内容
Ⓐ	パターンボタン移動ボタン	パターンボタン移動画面を表示します。 → 「II-2-12. 針先が邪魔で縫製物がセットできない時」 p.48 をご覧ください。
Ⓑ	糸つかみボタン	糸つかみの有効／無効を選択します。  : 糸つかみ無効  : 糸つかみ有効
Ⓒ	押え下げボタン	外押えと中押えを下降させ、押え下げ画面を表示します。
Ⓓ	原点復帰ボタン	一時停止時、押えを縫い始めまで戻し、押えを上昇します。
Ⓔ	形状確認ボタン	プラスボタン Ⓚ ・マイナスボタン Ⓛ にて、現在選択中のパターンの形状確認を行います。編集データ表示 ⓗ に、現在の針数を表示します。 → 「II-2-9. 形状確認を行うには」 p.41 をご覧ください。
Ⓕ	カウンター値変更ボタン	プラスボタン Ⓚ ・マイナスボタン Ⓛ にて、カウンター値の変更を行います。ボタン上にカウンター値を表示し、押すと Ⓖ が表示され、カウンター値を変更できます。設定中はカウンター値を編集データ表示 ⓗ に表示します。 → 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。
Ⓖ	クリアボタン	カウンター値をクリアします。 ※カウンター値変更ボタン Ⓕ が選択状態の時のみ表示されます。
ⓗ	編集データ表示	現在選択されている編集項目の編集中のデータを表示します。 ※編集データ項目未選択時は、表示されません。
Ⓘ	中押え高さ基準値設定ボタン	ボタン上に現在の中押え高さの基準値を表示し、押すと中押え高さの基準値を変更できます。 設定中は中押え高さ基準値を編集データ表示 ⓗ に表示します。 プラスボタン Ⓚ ・マイナスボタン Ⓛ にて 0.1mm 単位で増減させます。
Ⓛ	速度変更ボタン	ボタン上にミシンの速度を表示し、押すとミシンの速度を変更できます。 設定中は現在のミシンの速度を編集データ表示 ⓗ に表示します。 プラスボタン Ⓚ ・マイナスボタン Ⓛ にて 100sti/min 単位で増減させます。 縫製中でも変更可能です。
Ⓚ	プラスボタン	選択中の項目に対して、編集単位ごとに数値を増加または 1 針前進させます。
Ⓛ	マイナスボタン	選択中の項目に対して、編集単位ごとに数値を減少または 1 針後退させます。
Ⓜ	パターン No.・種別表示	現在選択中のパターン No.・種別を表示します。
Ⓝ	パターン名称表示	現在選択中のパターンの名称を表示します。
ⓓ	針数表示	現在選択されているパターンの針数を表示します。
Ⓟ	縫い形状表示	現在選択中のパターンの縫い形状を表示します。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。 右針縫製部分 (橙色)  左針縫製部分 (水色)
Ⓖ	X 実寸値表示	選択中の縫い形状の X 実寸値を表示します。
Ⓡ	Y 実寸値表示	選択中の縫い形状の Y 実寸値を表示します。

	ボタン・表示	内容
④	縫製データ種類表示	<p>メディアから読み込んだデータの種類を表示します。</p> <p>VDT : ベクトル形式データ</p> <p>M3 : M3 データ</p> <p>DAT : 縫製標準フォーマット</p> <p>※ メディアパターン選択時に表示されます。</p>
A	パターン一覧ボタン	<p>現在選択されているパターン No. と種別をボタン上に表示します。</p> <p>押すと、選択中のパターン一覧画面を表示し、パターンの選択を行います。</p>
B	X 方向移動量表示	<p>選択中のパターンボタン No. に登録されている X 方向移動量を表示します。</p> <p>※ ダイレクトパターン選択時に表示されます。</p>
C	Y 方向移動量表示	<p>選択中のパターンボタン No. に登録されている Y 方向移動量を表示します。</p> <p>※ ダイレクトパターン選択時に表示されます。</p>
D	針切替モード表示	<p>現在選択中の針切替モードを表示します。</p> <p>自動切替モード：</p> <p>手動切替モード・右針選択中：</p> <p>手動切替モード・左針選択中：</p> <p>自動切替モード中は、パターンデータに入力された色替え命令に従って自動的に縫製する針を切り替えます。</p> <p>→ 「II-2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには」 p.36 をご覧ください。</p> <p>手動切替モードに設定されているときは、ボタンを押すたびに針切替が実行され、右針選択と左針選択が入れ替わります。</p> <p>→ 「II-2-7. 色替えモードを変更するには」 p.35 をご覧ください。</p>

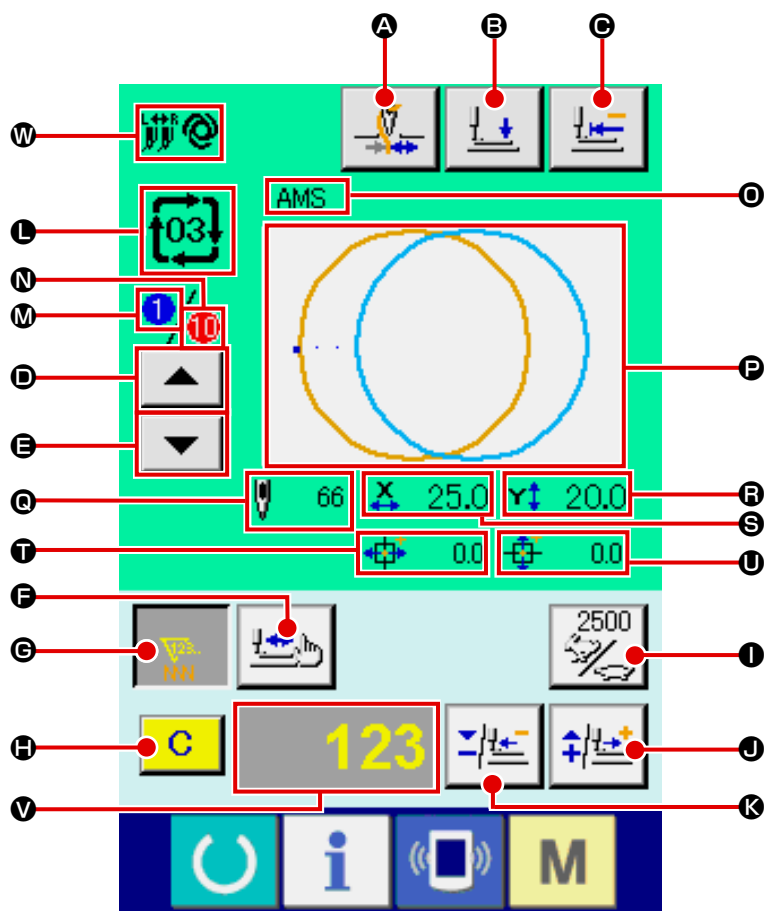
(3) データ入力画面（組み合わせ縫い）





ボタン・表示	内容
Ⓐ 押え下げボタン	外押えと中押えを下降させ、押え下げ画面を表示します。
Ⓑ 糸巻きボタン	下糸を巻くことができます。 → 「II-2-15. 下糸を巻くには」 p.50 をご覧ください。
Ⓒ 縫製順戻しボタン	最初に縫製するパターン No を 1 つ前の縫製順 No に戻すことができます。 画面上部のパターン情報を更新します。
Ⓓ 縫製順送りボタン	最初に縫製するパターン No を 1 つ後の縫製順 No に送ることができます。 画面上部のパターン情報を更新します。
Ⓔ パターン No. 設定ボタン	パターン No を設定します。 プラスボタン Ⓔ ・ マイナスボタン Ⓕ にて登録済みパターン No. を検索します。
Ⓕ パターン一覧ボタン	現在選択されているパターン No と種別をボタン上に表示します。 押すと、選択中のパターン一覧画面を表示し、パターンの選択を行います。
Ⓖ プラスボタン	選択されている項目に対して、編集単位ごとに数値を増加させます。
Ⓕ マイナスボタン	選択されている項目に対して、編集単位ごとに数値を減少させます。
Ⓘ 縫製順表示	現在選択されているパターンデータの縫製順を表示します。
Ⓙ 登録総数表示	現在選択中のサイクルパターンに登録されているパターンの総数を表示します。
Ⓚ パターン名称表示	現在選択されているパターンの名称を表示します。

	ボタン・表示	内容
L	縫い形状表示	<p>現在選択されているパターンの縫い形状を表示します。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。</p> <p>右針縫製部分（橙色）</p>  <p>左針縫製部分（水色）</p>
M	針数表示	現在選択されているパターンの針数を表示します。
N	X 実寸値表示	現在選択されているパターンの X 実寸値を表示します。
O	Y 実寸値表示	現在選択されているパターンの Y 実寸値を表示します。
P	X 方向移動量表示	現在選択されているパターンの X 方向移動量を表示します。
Q	Y 方向移動量表示	現在選択されているパターンの Y 方向移動量を表示します。
R	編集データ表示	<p>現在選択されている編集項目の編集中のデータを表示します。 ※編集データ項目未選択時は、表示されません。</p>

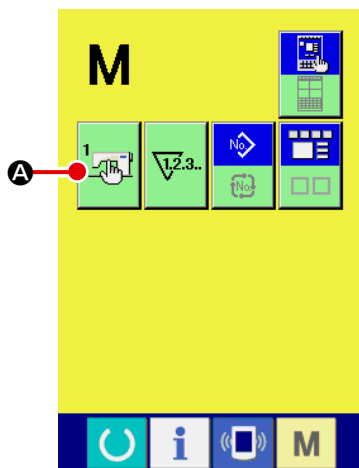
(4) 縫製画面 (組み合わせ縫い)



	ボタン・表示	内容
▲	糸つかみボタン	糸つかみの有効／無効を選択します。  : 糸つかみ無効  : 糸つかみ有効
●	押え下げボタン	外押えと中押えを下降させ、押え下げ画面を表示します。
●	原点復帰ボタン	一時停止時、押えを縫い始めまで戻し、押えを上昇します。
●	縫製順戻しボタン	縫製するパターンを1つ前に戻すことができます。
●	縫製順送りボタン	縫製するパターンを1つ送ることができます。
●	形状確認ボタン	プラスボタン ●・マイナスボタン ●にて、現在選択中のパターンの形状確認を行います。編集データ表示 ●に、現在の針数を表示します。 → 「II-2-9. 形状確認を行うには」 p.41 をご覧ください。
●	カウンター値変更ボタン	プラスボタン ●・マイナスボタン ●にて、カウンター値の変更を行います。ボタン上にカウンター値を表示し、押すと ●が表示され、カウンター値が変更できます。設定中はカウンター値を編集データ表示 ●に表示します。 → 「II-2-16. カウンターを使うには」 p.51 をご覧ください。
●	クリアボタン	カウンター値をクリアします。 ※カウンター値変更ボタン ●が選択状態の時のみ表示されます。

	ボタン・表示	内容
①	速度変更ボタン	ボタン上にミシンの速度を表示し、押すとミシンの速度を変更できます。設定中は現在のミシンの速度を編集データ表示 ⑤ に表示します。 プラスボタン ①・マイナスボタン ②にて 100sti/min 単位で速度を増減させます。
①	プラスボタン	選択中の項目に対して、編集単位ごとに数値を増加または 1 針前進させます。
②	マイナスボタン	選択中の項目に対して、編集単位ごとに数値を減少または 1 針後退させます。
③	パターン No.・種別表示	現在選択中のパターン No.・種別を表示します。
④	縫製順表示	現在選択されているパターンデータの縫製順を表示します。
⑤	登録総数表示	現在選択中のサイクルパターンに登録されているパターンの総数を表示します。
⑥	組み合わせデータ名称表示	選択中の組み合わせデータに入力されている名称を表示します。
⑦	縫い形状表示	現在選択されているパターンの縫い形状を表示します。 縫い形状は縫製する針により色分け表示されます。 右針縫製部分 (橙色)  左針縫製部分 (水色)
⑧	針数表示	現在選択されているパターンの針数を表示します。
⑨	X 実寸値表示	現在選択されているパターンの X 方向実寸値を表示します。
⑩	Y 実寸値表示	現在選択されているパターンの Y 方向実寸値を表示します。
⑪	X 方向移動量表示	現在選択されているパターンの X 方向移動量を表示します。
⑫	Y 方向移動量表示	現在選択されているパターンの Y 方向移動量を表示します。
⑬	編集データ表示	現在選択されている編集項目の編集中のデータを表示します。 ※編集データ項目未選択時は、表示されません。
⑭	針切替モード表示	現在選択中の針切替モードを表示します。 自動切替モード：  手動切替モード・右針選択中：  手動切替モード・左針選択中：  自動切替モード中は、パターンデータに入力された色替え命令に従って自動的に縫製する針を切り替えます。 → 「II-2-8. パターンデータに色替え命令を入力するには」 p.36 をご覧ください。 手動切替モードに設定されているときは、ボタンを押すたびに針切替が実行され、右針選択と左針選択が入れ替わります。 → 「II-2-7. 色替えモードを変更するには」 p.35 をご覧ください。

2-29. メモリースイッチデータを変更するには

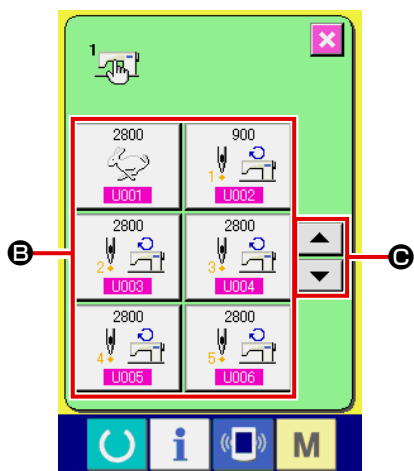


① メモリースイッチデータ一覧画面を表示する

M スイッチを押すと画面上にメモリースイッチボタン



A が表示されます。このボタンを押すと、メモリースイッチデータ一覧画面が表示されます。

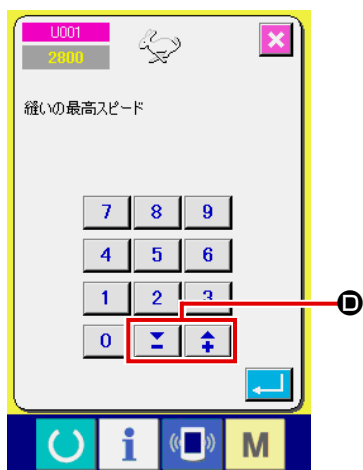


② 変更したいメモリースイッチボタンを選択する


上下スクロールボタン  **C** を押して、変更したいデータ項目 **B** を選択してください。

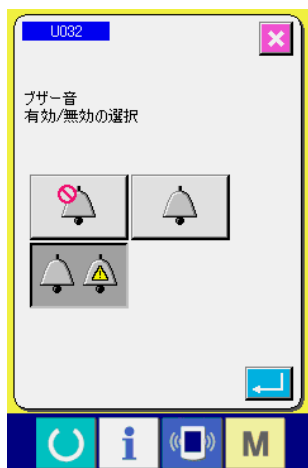
③ メモリースイッチデータを変更する

メモリースイッチデータは、数字を変更するデータ項目とピクトを選択するデータ項目があります。



数字を変更するデータ項目には **U001** のようなピンク色の No. がつけられており、変更画面に表示される+ / - ボタン

 **D** によって設定値を変更することができます。



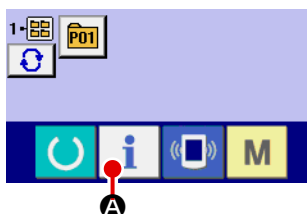
ピクトを選択するデータ項目には **U032** のような青色の No. がつけられており、変更画面に表示されるピクトを選択することができます。

→ メモリースイッチデータの詳細は
[「II-3. メモリースイッチデータ一覧」 p.97](#) をご覧ください。


2-30. インフォメーションを使用するには

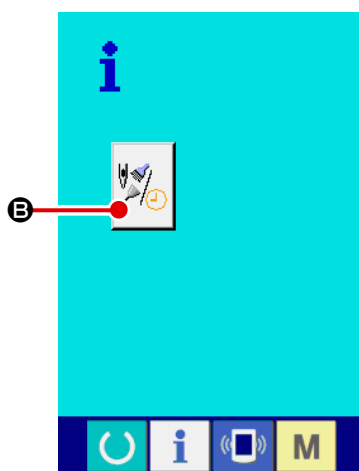
オイル交換（グリースアップ）時期・針交換時期・清掃時期等を指定し、指定時間経過したら警告通知を行うことができます。

(1) 保守点検情報を見るには



① インフォメーション画面を表示する

データ入力画面でスイッチシート部のインフォメーションキー  **A** を押すと、インフォメーション画面が表示されます。

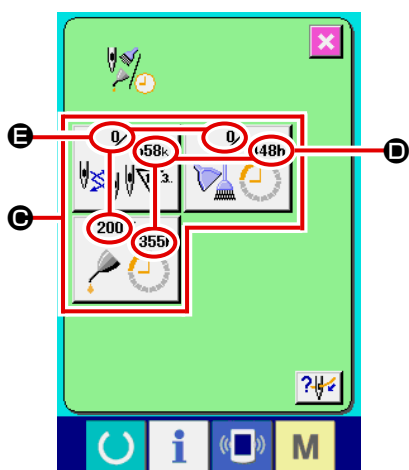


② 保守情報画面を表示する


インフォメーション画面の、保守点検情報画面表示ボタン



B を押してください。

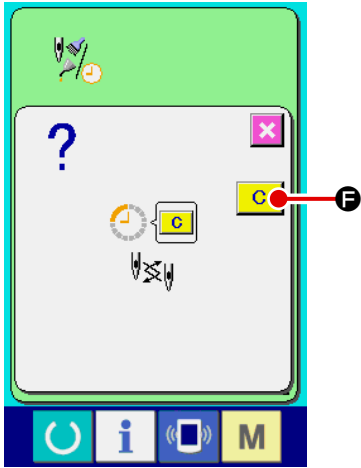


保守点検情報画面には、次の3項目の情報が表示されます。

- ・針交換（1,000 針）：
- ・清掃時間（時間）：
- ・オイル交換時間（時間）：

それぞれの項目ボタン **C** には、点検を知らせる間隔 **D**、交換までの残り時間 **E** を表示しています。

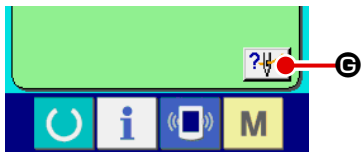
また、交換までの残り時間をクリアすることができます。



③ 交換までの残り時間のクリアを行う

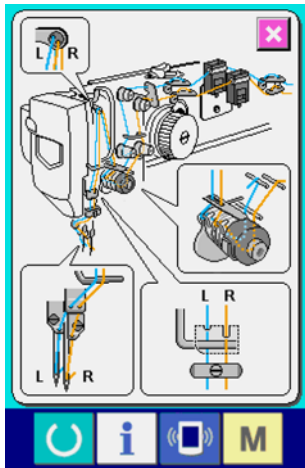
クリアしたい項目ボタン **F** を押すと、交換時間クリア画面が表示されます。

クリアボタン **C** **F** を押すと、交換までの残り時間がクリアされます。

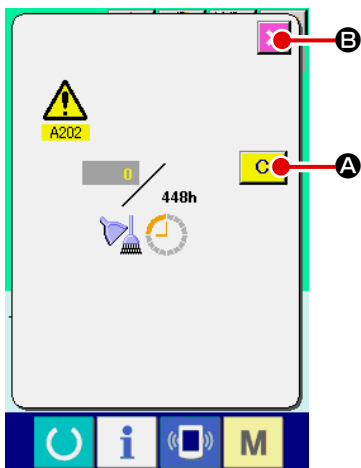


④ 糸通し図を表示する

保守点検情報画面に表示している糸通しボタン **G** を押すと上糸通し図が表示されます。
糸通し時に、ご覧ください。



(2) 警告の解除方法



指定した点検時間になると、警告画面が表示されます。

点検時間をクリアする場合には、


クリアボタン **C** **A** を押して下さい。点検時間をクリアし、ポップアップを閉じます。

点検時間をクリアしない場合は、

キャンセルボタン **X** **B** を押し、ポップアップを閉じてください。

点検時間のクリアを行うまで、1 縫製終了毎に警告画面を表示します。各項目の警告番号は次の通りです。

- ・ 針交換 : A201
- ・ 清掃時間 : A202
- ・ オイル交換時間 : A203

 グリースアップ箇所については、「III-1-7. 指定箇所へのグリース補充」 p.120 を参照して下さい。

2-31. 通信機能を使用するには





通信機能は、他のミシンで作成した縫製データや縫製データ作成・編集装置PM-1で作成した縫製データをミシンへダウンロードすることができます。また、メディアやパソコンへ上記データをアップロードすることができます。

通信する媒体として、メディアとUSBをご用意しています。

※ 但し、パソコンからのダウンロード／アップロードを行うためには、SU-1(データサーバーユーティリティ)が必要となります。

(1) 取り扱い可能なデータについて

取り扱い可能な縫製データは下記の4種類であり、それぞれのデータ形式は下記の通りです。

データ名		拡張子	データ内容
ベクトル形式データ		VD00 × × × .VDT	PM-1で作成された針落ち点のデータであり、JUKIのミシン間で共通に運用できるデータ形式
M3データ		AMS00 × × × .M3	AMS-B,C,Dシリーズのパターンデータ
縫製標準フォーマットデータ		SD00 × × × .DAT	縫製標準フォーマット形式のデータ
簡易プログラムデータ		AMS00 × × × .PRO	簡易プログラムデータ

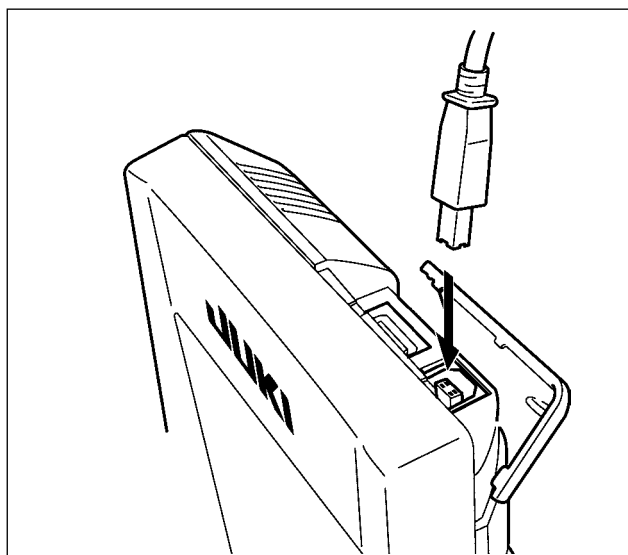
×××：ファイルNo.

※ 簡易プログラムについてはサービスマニュアルをご覧ください。

(2) メディアを使って通信を行うには

メディアの取り扱い方法に関しては「II-1. はじめに」 p.19をお読みください。

(3) USBを使って通信を行うには

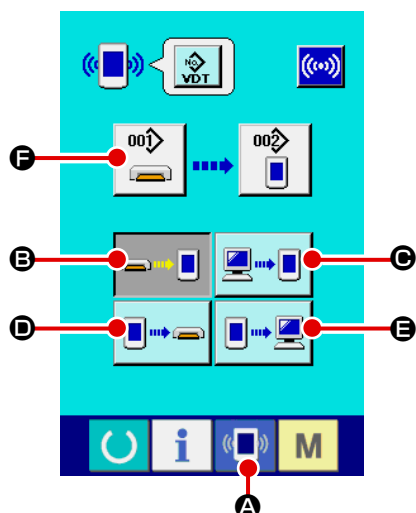


パソコン等によりUSBケーブルを使用してデータのやり取りを行うことができます。




接点部は、汚れると接触不良の原因となるため、手で触ったり、ごみ・ほこり・油・その他異物がつかないように管理してください。また、静電気等により、内部素子が破壊されますので十分取扱いにはご注意ください。

(4) データを取り込むには



① 通信画面を表示する

データ入力画面で、スイッチシート部の通信ボタン  **A** を押すと、通信画面が表示されます。


② 通信方法を選択する

通信方法は下記の4通りあります。

- B** メディア → パネルへデータを書き込み
- C** パソコン（サーバー） → パネルへデータを書き込み
- D** パネル → メディアへデータを書き込み
- E** パネル → パソコン（サーバー）へデータを書き込み

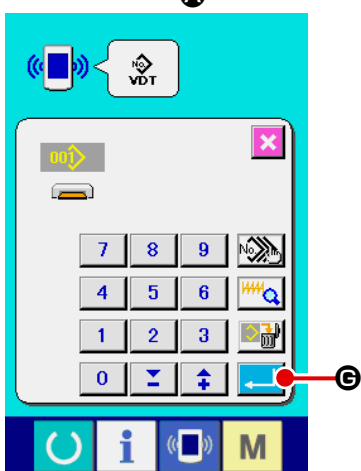
希望の通信方法のボタンを選択してください。

③ データ番号を選択する


 **F** を押すと書き込みファイル選択画面が表示されます。

書き込みたいデータのファイル番号を入力してください。ファイル番号はファイル名の VDOO X X X . vdt の X X X 部の数字を入力してください。


書き込み先のパターン No. の指定も同様に行うことができます。書き込み先がパネルの場合には、未登録のパターン No. が表示されます。

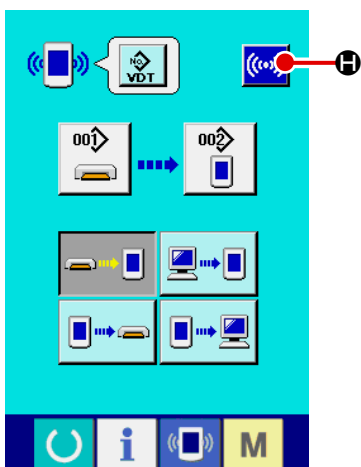


④ データ番号を確定する

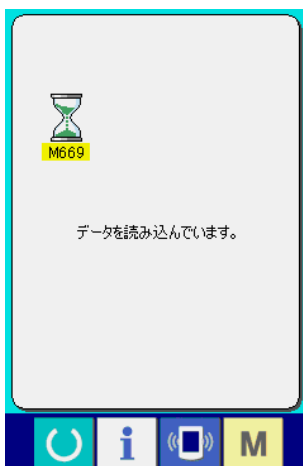
エンターボタン  **G** を押すと、データ番号選択画面が閉じ、データ番号の選択が終了します。

⑤ 通信を開始する

通信開始ボタン  **H** を押すとデータ通信を開始します。通信中は通信中画面を表示し、通信終了後、通信画面に戻ります。

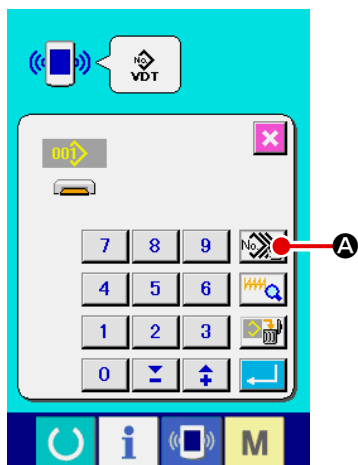


注意 データ読み込み中は蓋は開けないでください。データが読み込めなくなる恐れがあります。




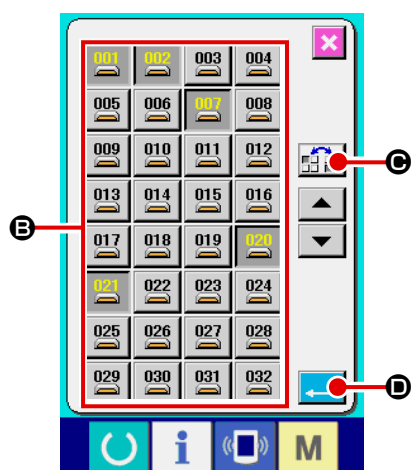
(5) 複数のデータをまとめて取り込むには

ベクトルデータ・M3データ・縫製標準フォーマットデータは、書き込むデータを複数選択して、まとめて書き込むことが可能です。書き込み先のパターン No. は、選択したデータ番号と同じ No. になります。




① 書き込みファイル選択画面を表示する


複数選択ボタン  **A** を押すと、データ番号複数選択画面が表示されます。

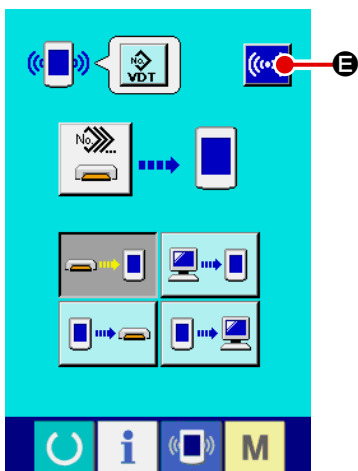


② データ番号の選択を行う


存在するデータのファイル番号の一覧が表示されるので、書き込みしたいファイル番号ボタン **B** を押してください。反転ボタン  **C** にて、ボタンの選択状態を反転することが可能です。

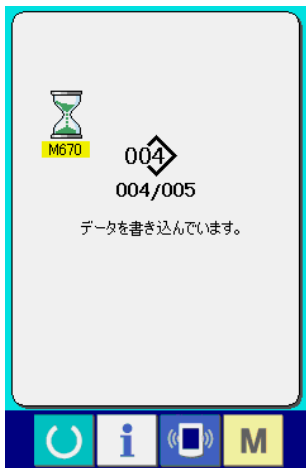
③ データ番号を確定する

エンターボタン  **D** を押すと、データ番号複数選択画面が閉じ、データの選択が終了します。





④ 通信を開始する

通信開始ボタン  **E** を押すと、データ通信を開始します。



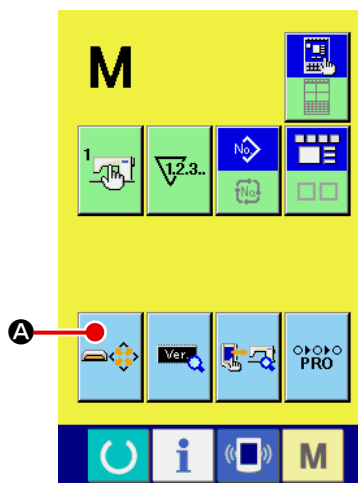
通信中画面には、通信中のデータ番号と書き込みデータ総数と、データ通信終了したデータ数が表示されます。



- * 既に存在するパターン No. に書き込みを行う場合は、書き込み前に上書き確認画面が表示されます。上書きする場合はエンターボタン  **F** を押してください。
上書き確認画面を表示せず、すべて上書きを行う場合はすべて上書きボタン  **G** を押してください。

2-32. メディアのフォーマットを行うには

メディアを再フォーマットする場合は、必ず IP-420 で行ってください。パソコンでフォーマットしたメディアは、IP-420 では読み込むことができません。



① メディアフォーマット画面を表示する

M スイッチを 3 秒間押し続けると画面上にメディア


フォーマットボタン  **A** が表示されます。このボタンを押すと、メディアフォーマット画面が表示されます。



フォーマットしたいメディアをメディアスロットにセットし蓋を閉じてから、メディアフォーマット画面を表示してください。



② メディアのフォーマットを開始する

エンターボタン  **B** を押すと、フォーマットを開始します。フォーマットをする前に、メディア内の必要なデータを他の媒体へ保存しておいてください。フォーマットすると、内部のデータは消去されます。



複数のメディアが接続されていると優先順位によってフォーマットするメディアが決まります。

高 ← 低

CF (TM) スロット ← USB 機器 1 ← USB 機器 2 ← . . .

となりますので、CF (TM) スロットにコンパクトフラッシュ (TM) が入っているとコンパクトフラッシュ (TM) がフォーマットされます。

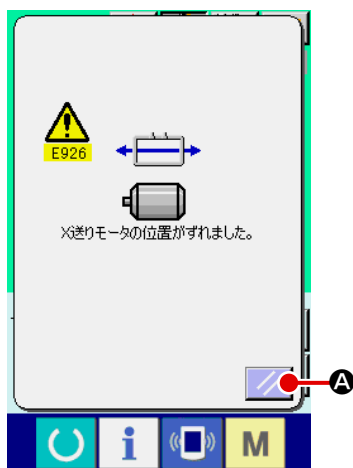
アクセスの優先順位は USB の仕様を参照ください。

2-33. X・Yモーター位置ずれエラー時の操作


X・Yモーターが、位置ずれを検知するとエラー画面が表示されます。

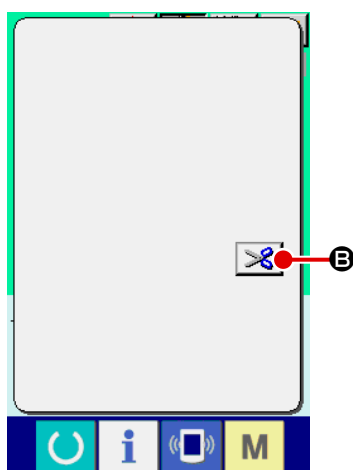
メモリースイッチの選択にてエラー表示のタイミングを変更することができます。詳しくは、サービスマニュアルを参照ください。

(1) 縫製中に表示された場合




① エラーを解除する

リセットボタン  **A** を押して、エラーを解除すると、糸切りポップアップが表示されます。

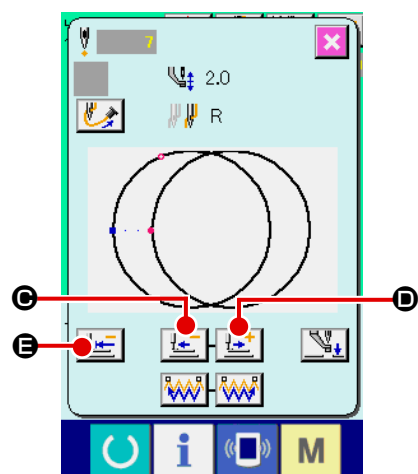


② 糸切りを行う



縫い目を確認して問題がない様ならそのままスタートペダルを踏み込み縫製を再スタートさせます。

そうでない場合、糸切りボタン  **B** を押して糸切りを行います。

糸切りを行うと、送り前進後退ポップアップが表示されます。



③ 押えを縫い直し位置に合わせる。

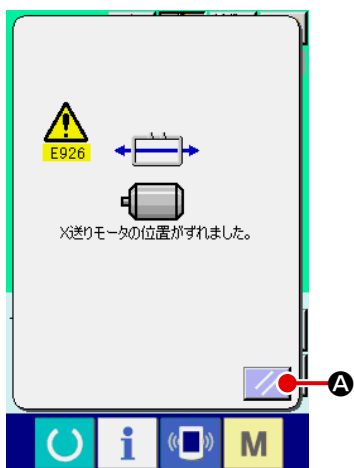
送り後退ボタン  **C** を押すと、押えが1針ずつ戻り、送り前進ボタン  **D** を押すと、押えが1針ずつ進みます。縫い直し位置まで押えを移動してください。


また、原点復帰ボタン  **E** を押すとポップアップを閉じ、縫製画面を表示し縫い始め位置に戻ります。

④ 縫製を再スタートさせる

ペダルを踏み込むと縫製が再スタートします。

(2) 縫製終了後に表示された場合



- ① エラーを解除する
リセットボタン  **A** を押して、エラーを解除すると、縫製画面が表示されます。
- ② 縫製作業を最初からやり直す。
ペダルを踏み込むと縫製がスタートします。

(3) リセットスイッチが表示されていない場合

大きなずれを検知した場合、リセットスイッチが表示されません。



- ① 電源を OFF する。

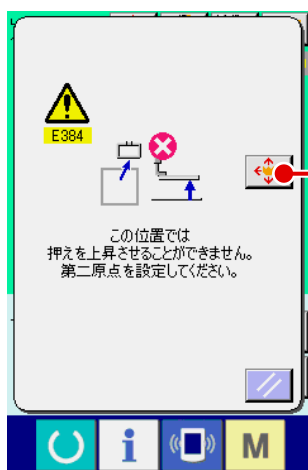
2-34. パターン作成時の注意

下図の押え上昇禁止エリアでは、外押え枠と上糸吸引装置が干渉するため押えを上昇させることができません。



縫い始め点が押え上昇禁止エリアにあるパターンは、本体入力機能で上昇禁止エリア外に第2原点を設定してください。



禁止エリアは K056 ~ K058 の送り移動可能範囲の各設定値を基準にしているため、これらの値を変更すると、上昇禁止範囲にも影響します)

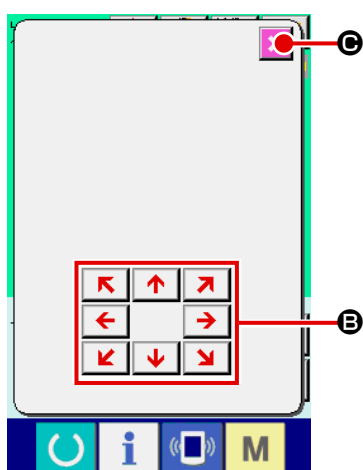


上昇禁止エリアで押えを上昇させようとするすると E384 押え上昇禁止エラーが表示されます。

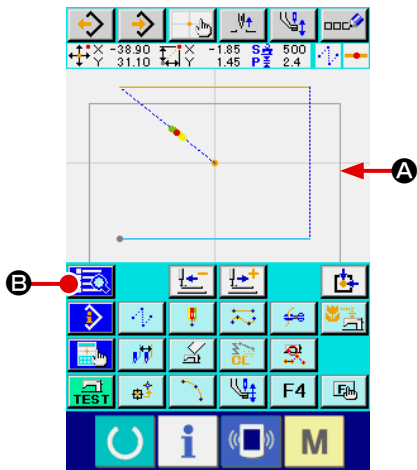
エラー画面でパターン移動ボタン  **A** を押すと、パターン移動画面が表示されます。パターン移動画面で方向キー **B** で位置を移動させてキャンセルボタン  **C** を押すと後付け第二原点を入力することができます。



この後付け第二原点はデータ入力画面に戻ると消去されます。
パターン移動ができない状態でエラーが発生した場合は、パターン移動ボタンは表示されません。

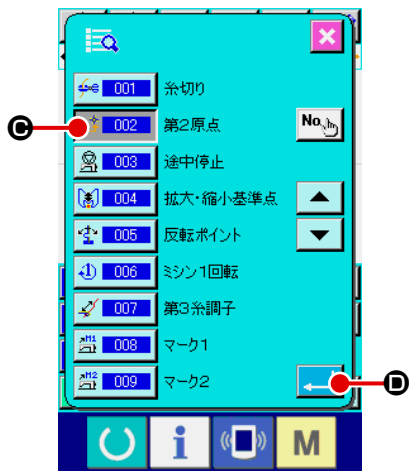


[本体入力機能で第2原点を入力するには]



本体入力画面の形状表示部には押え上昇禁止エリアの境界 **A** が表示されます。第二原点はこの線より内側に入力してください。

押え上昇可能な位置の空送り上に現在点を移動させ、コード一覧ボタン **B** を押します。



コード一覧から、No.002 第二原点機能 **C** を選択し、エンターボタン **D** を押します。

現在点に第二原点命令が挿入され、この位置で待機して押えを上昇するようになります。

3. メモリスイッチデータ一覧

メモリスイッチデータは、ミシンが共通に持つ動作データであり、すべての縫製パターンに共通で作用するデータです。

3-1. データ一覧表

No.	項目		設定範囲	編集単位
U001	縫いの最高スピード		200 ~ 2500	100sti/min
U002	1 針目の縫い速度 糸つかみ有りの場合		200 ~ 900	100sti/min
U003	2 針目の縫い速度 糸つかみ有りの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U004	3 針目の縫い速度 糸つかみ有りの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U005	4 針目の縫い速度 糸つかみ有りの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U006	5 針目の縫い速度 糸つかみ有りの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U007	1 針目の糸張力 糸つかみ有りの場合 0 : 糸調子皿を浮かせる 1 以上 : 糸調子皿を閉じる		0 ~ 200	1
U008	糸切り時の糸張力設定 0 : 糸調子皿を浮かせる 1 以上 : 糸調子皿を閉じる		0 ~ 200	1
U009	糸切り時の糸張力切り替えタイミング		- 6 ~ 10	1
U010	1 針目の縫い速度 糸つかみ無しの場合		200 ~ 1500	100sti/min
U011	2 針目の縫い速度 糸つかみ無しの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U012	3 針目の縫い速度 糸つかみ無しの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U013	4 針目の縫い速度 糸つかみ無しの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U014	5 針目の縫い速度 糸つかみ無しの場合		200 ~ 2500	100sti/min
U015	1 針目の糸張力 糸つかみ無しの場合 0 : 糸調子皿を浮かせる 1 以上 : 糸調子皿を閉じる		0 ~ 200	1
U016	縫い始め時の糸張力切り替えタイミング 糸つかみ無しの場合		- 5 ~ 2	1

No.	項目	設定範囲	編集単位
U018	カウンター動作選択    縫製カウン ター 枚数カウ ンター 下糸カウン ター		
U026	2段ストローク時の押え高さ 	10 ~ 300	1
U032	ブザー音を禁止することができます    ブザー音無 し パネル操作 音 パネル操作 音 +エラー音	---	---
U033	糸つかみの放す針数を設定します 	1 ~ 7	1
U034	糸つかみのつかむタイミングを遅くすることができます 	- 10 ~ 0	1
U035	上糸つかみ制御を禁止することができます   通常 禁止	---	---
U036	送り動作タイミングを選択します 糸締めが悪い場合一方向に設定します 	- 8 ~ 16	1
U037	縫製終了後の押え状態を選択します     縫い始め移 動後、押え上 昇 縫い終 わり で即上昇 縫い始め 移 動 後、 ペダル操 作で上昇 縫い始め移動後、押え SW で上昇 / スター トSW で縫製開始 途中停止では押え上昇 位置設定にて押え上昇	---	---
U038	縫い終わりの押え上昇動作を設定することができます   押え上げ有 り 押え上げ禁 止	---	---
U039	縫製終了後に毎回原点検索させることができます (組み合わせ縫い以外)   原点検索無 し 原点検索有 り	---	---
U040	組み合わせ縫いでの原点検索を設定することができます    原点検索無 し 1パターン終 了ごと 1サイクル終 了ごと	---	---
U041	途中停止命令で停止した時の押えの状態を選択できます   押え自動上 昇 押えスイッ チで上昇	---	---

No.	項目	設定範囲	編集単位
U042	針停止位置を設定します  上位置  上死点	---	---
U046	糸切りを禁止することができます  通常  糸切り禁止	---	---
U048	原点復帰ボタンによる原点復帰の経路を選択できます  直線復帰  パターン逆戻し  原点検索→縫製開始点	---	---
U049	糸巻き速度を設定できます 	800 ~ 2000	100sti/min
U051	上糸つかみ制御を禁止することができます  無効  マグネット式ワイパー	---	---
U064	縫い形状サイズ変更単位の選択ができます  %入力  実寸入力	---	---
U069	糸つかみの屈曲位置を選択します 0 : S 仕様 1 : H 仕様細糸 (#50 ~ #8) 2 : H 仕様中間 3 : H 仕様太糸 (#5 ~ #2) 	---	---
U070	糸つかみ・糸つかみ位置選択  前方位置  後方位置	---	---
U071	糸切れ検知選択  糸切れ検知無効  糸切れ検知有効	---	---
U072	糸切れ検知縫い始め無効針 	0 ~ 15 針	1 針
U073	糸切れ検知縫い途中無効針数 	0 ~ 15 針	1 針

No.	項目	設定範囲	編集単位
U081	<p>外押え制御・ペダル開閉</p> <p>通常時のペダル操作での外押えの動作順序を設定します。</p> <p>0：一体押え 1：左右分離押え（左右優先無し） 2：左右分離押え（右→左の順） 3：左右分離押え（左→右の順） 4～7：特別仕様（※1） 8：一体押え 9：一体押え 2 段ストローク 10：左右分離押え 2 段ストローク（左右優先無し） 11：左右分離押え 2 段ストローク（右→左の順） 12：左右分離押え 2 段ストローク（左→右の順） 13～99：一体押え</p> <p>※1：使用する場合は、サービスマニュアルを参照してください。</p>	0～99	1
U082	<p>外押え制御・途中停止時間開閉</p> <p>パターンデータ中の途中停止命令で外押えを上昇させた時のペダル操作での外押えの動作順序を設定します。</p> <p>0：一体押え 1：左右分離押え（左右優先無し） 2：左右分離押え（右→左の順） 3：左右分離押え（左→右の順） 4～7：特別仕様（※1） 8：一体押え 9：一体押え 2 段ストローク 10：左右分離押え 2 段ストローク（左右優先無し） 11：左右分離押え 2 段ストローク（右→左の順） 12：左右分離押え 2 段ストローク（左→右の順） 13～99：一体押え</p> <p>※1：使用する場合は、サービスマニュアルを参照してください。</p>	0～99	1

No.	項目	設定範囲	編集単位
U084	ペダル SW1 ラッチ有無  なし  あり	---	---
U085	ペダル SW2 ラッチ有無  なし  あり	---	---
U086	ペダル SW3 ラッチ有無  なし  あり	---	---
U087	ペダル SW4 ラッチ有無  なし  あり	---	---
U088	拡大縮小機能モード  禁止  針数増減 (ピッチ固定)  ピッチ増減 (針数固定)	---	---
U089	寸動移動機能モード  禁止  平行移動  後つけ第2 原点	---	---
U091	リテーナ補正動作・動作選択  動作なし  動作あり	---	---
U094	原点検索 / 原点復帰時、針上死点選択  なし  あり	---	---
U097	一時停止・糸切り操作  自動糸切り  手動 (再度の停止 SW で糸切り)	---	---
U101	主モーター XY 送り同期制御・速度 / ピッチ  2500sti/min/ 3.5mm  2200sti/min/ 3.5mm  1800sti/min/ 3.5mm  1400sti/min/ 3.5mm	---	---

No.	項目	設定範囲	編集単位																																
U103	中押え制御有無  なし (下降固定)  あり (運転時、縫いデータで下降)  あり (送り前進・後退時でも下降)	---	---																																
U104	中押え下降タイミング  ミシン頭部起動直前  最後の外押えに同期	---	---																																
U105	中押え / ワイパー払い位置  中押え上払い  中押え上払い (中押え最下降位置)  中押え下払い	---	---																																
U108	エア圧力検出有無  なし  あり	---	---																																
U112	中押え下位置設定 → 「I-4-9. 中押え高さ」 p.16 をご覧ください。 	0 ~ 7.0mm	0.1																																
U129	ニードルクーラ制御有無  なし  あり	---	---																																
U145	カウントアップ画面を自動的に閉じる時間を設定することができます 	0 ~ 99	1																																
U146	パターン選択時の形状表示有無  なし  あり	---	---																																
U245	グリースアップエラー グリースアップ針数のクリアを行います。 → 「III-1-7. 指定箇所へのグリース補充」 p.120 をご覧ください。 	---	---																																
U410	色替えモード選択  自動切替モード  手動切替モード	---	---																																
U500	言語選択 <table border="0"> <tr> <td>日本語</td> <td>English</td> <td>中文繁體字</td> <td>中文简体字 中</td> </tr> <tr> <td>日本語</td> <td>英語</td> <td>中国語(繁体)</td> <td>国語(簡体)</td> </tr> <tr> <td>Español</td> <td>Italiano</td> <td>Français</td> <td>Deutsch</td> </tr> <tr> <td>スペイン語</td> <td>イタリア語</td> <td>フランス語</td> <td>ドイツ語</td> </tr> <tr> <td>Português</td> <td>Türkçe</td> <td>Tiếng Việt</td> <td>한국어</td> </tr> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>トルコ語</td> <td>ベトナム語</td> <td>韓国語</td> </tr> <tr> <td>Indonesia</td> <td>Русский</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>インドネシア語</td> <td>ロシア語</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	日本語	English	中文繁體字	中文简体字 中	日本語	英語	中国語(繁体)	国語(簡体)	Español	Italiano	Français	Deutsch	スペイン語	イタリア語	フランス語	ドイツ語	Português	Türkçe	Tiếng Việt	한국어	ポルトガル語	トルコ語	ベトナム語	韓国語	Indonesia	Русский			インドネシア語	ロシア語			---	---
日本語	English	中文繁體字	中文简体字 中																																
日本語	英語	中国語(繁体)	国語(簡体)																																
Español	Italiano	Français	Deutsch																																
スペイン語	イタリア語	フランス語	ドイツ語																																
Português	Türkçe	Tiếng Việt	한국어																																
ポルトガル語	トルコ語	ベトナム語	韓国語																																
Indonesia	Русский																																		
インドネシア語	ロシア語																																		

3-2. 初期値一覧表

No.	項目	初期値
U001	縫いの最高スピード	2500
U002	1 針目の縫い速度 (糸つかみ有りの場合)	900
U003	2 針目の縫い速度 (糸つかみ有りの場合)	2500
U004	3 針目の縫い速度 (糸つかみ有りの場合)	2500
U005	4 針目の縫い速度 (糸つかみ有りの場合)	2500
U006	5 針目の縫い速度 (糸つかみ有りの場合)	2500
U007	1 針目の糸張力 (糸つかみ有りの場合)	200
U008	糸切り時の糸張力設定	0
U009	糸切り時の糸張力切り替えタイミング	8
U010	1 針目の縫い速度 (糸つかみ無しの場合)	200
U011	2 針目の縫い速度 (糸つかみ無しの場合)	600
U012	3 針目の縫い速度 (糸つかみ無しの場合)	1000
U013	4 針目の縫い速度 (糸つかみ無しの場合)	1500
U014	5 針目の縫い速度 (糸つかみ無しの場合)	2000
U015	1 針目の糸張力 (糸つかみ無しの場合)	0
U016	縫い始め時の糸張力切り替えタイミング (糸つかみ無しの場合)	-5
U018	カウンター動作選択	
U026	2 段ストローク時の押え高さ	70
U032	ブザー音を禁止することができます	
U033	糸つかみの放す針数を設定します	2
U034	糸つかみのつかむタイミングを遅くすることができます	0
U035	上糸つかみ制御を禁止することができます	
U036	送り動作タイミングを選択します	3
U037	縫製終了後の押え状態を選択します	
U038	縫い終わりの押え上昇動作を設定することができます	
U039	縫製終了後に毎回原点検索させることができます (組み合わせ縫い以外)	
U040	組み合わせ縫いでの原点検索を設定することができます	
U041	途中停止命令で停止した時の押えの状態を選択できます	
U042	針停止位置を設定します	
U046	糸切りを禁止することができます	

No.	項目	初期値
U048	原点復帰ボタンによる原点復帰の経路を選択できます	
U049	糸巻き速度を設定できます	1600
U051	ワイパーの動作方法を選択できます	
U064	縫い形状サイズ変更単位の選択ができます	
U069	糸つかみの屈曲位置を選択します	1
U070	糸つかみ・糸つかみ位置選択	
U071	糸切れ検知選択	
U072	糸切れ検知縫い始め無効針数	8
U073	糸切れ検知縫い途中無効針数	3
U081	外押え制御・ペダル開閉	0
U082	外押え制御・途中停止時間開閉	0
U084	ペダル SW1 ラッチ有無	
U085	ペダル SW2 ラッチ有無	
U086	ペダル SW3 ラッチ有無	
U087	ペダル SW4 ラッチ有無	
U088	拡大縮小機能モード	
U089	寸動移動機能モード	
U091	リテーナ補正動作・動作選択	
U094	原点検索 / 原点復帰時、針上死点選択	
U097	一時停止・糸切り操作	
U101	主モーター XY 送り同期制御・速度 / ピッチ	
U103	中押え制御有無	
U104	中押え下降タイミング	
U105	中押え / ワイパー払い位置	
U108	エア圧力検出有無	
U112	中押え下位置設定	3.5
U129	ニードルクーラ制御有無	
U145	カウントアップ画面を自動的に閉じる時間を設定することができます	0
U146	パターン選択時の形状表示有無	
U245	グリースアップエラー	-
U410	色替えモード選択	
U500	言語選択	未設定

4. エラーコード一覧

エラーコード	表示	エラー内容	表示メッセージ	復帰方法	復帰場所
E007		マシンロック 何らかのトラブルのため マシン主軸が回らない	マシンがロックしています。	電源 OFF	
E008		頭部コネクタ異常 頭部のメモリーが読み取 れない	未定義頭部が選択されています。	電源 OFF	
E010		パターンNoエラー バックアップされたパター ンNoがデータROMに登 録されていないか、読み出 し不可の設定がされた	指定されたパターンがありません。	リセット後再 入力可能	前画面
E011		外部メディア未挿入 外部メディアが挿入され ていない	メディアが挿入されていません。	リセット後再 入力可能	前画面
E012		リードエラー-外部 メディアからのデータ リードができない	データが読めません。	リセット後再 起動可能	前画面
E013		ライトエラー-外部 メディアからのデータラ イトができない	データが書けません。	リセット後再 起動可能	前画面
E015		フォーマットエラー フォーマットができない	フォーマットが出来ません。	リセット後再 起動可能	前画面
E016		外部メディア容量オー バー 外部メディアの容量が足 りない	容量が足りません。 (メディア)	リセット後再 起動可能	前画面
E017		マシンメモリー容量オー バー マシンメモリーの容量が 足りない	容量が足りません。 (マシン)	リセット後再 起動可能	前画面
E019		ファイルサイズオーバ ー ファイルが大きすぎる	パターンデータが大きすぎます。 (約50,000針)	リセット後再 起動可能	前画面
E024		パターンデータサイズ オーバー メモリーサイズがオー バーしている	メモリーサイズがオーバーしました。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面

エラーコード	表示	エラー内容	表示メッセージ	復帰方法	復帰場所
E027		リードエラー サーバーからのデータ リードができない	データが読めません。	リセット後再 起動可能	前画面
E028		ライトエラー サーバーからのデータラ イトができない	データが書けません。	リセット後再 起動可能	前画面
E029		メディアスロット開放エ ラー メディアスロットの蓋が 開いている	メディアスロットの蓋が開いています。	リセット後再 起動可能	前画面
E030		針棒位置外れエラー 針棒が所定の位置にない	針が正しい位置にありません。	手元プーリー を回して、 針棒を所定の 位置に戻して ください。	データ 入力画面
E031		エア圧低下 エアの圧力が低下して いる	エア圧力が低下しています。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面
E032		ファイル互換エラー ファイルが読めない	ファイルが読めません。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面
E040		縫製エリアオーバー	移動限界を超えました。	リセット後再 起動可能	縫製画面
E043		拡大エラー 最大ピッチを超えていま す。	最大ピッチを超えました。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面
E045		パターンデータエラー	パターンデータが壊れています。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面
E050		停止スイッチ ミシン起動中に停止ス イッチが押されたとき	一時停止スイッチが押されました。	リセット後再 起動可能	ステップ 画面
E052		糸切れ検知エラー 糸切れを検知したとき	糸切れを検出しました。	リセット後再 起動可能	ステップ 画面

エラーコード	表示	エラー内容	表示メッセージ	復帰方法	復帰場所
E061		メモリスイッチデータ エラー メモリスイッチデータ が壊れているか、リビジョ ンが古いとき	メモリスイッチエラー	電源 OFF	
E080		外部停止スイッチ	外部停止スイッチが押されました。	リセット後 再起動可能	ステップ 画面
E204		USB接続エラー USB機器が接続されて いて10回以上縫製され たとき	縫製中はUSBストレージ機器を 接続しないで下さい。	リセット後再 起動可能	縫製画面
E220		グリースアップ警告 10,000万針動作したと き → 「III-1-7. 指定箇所 へのグリース補充」 p.120 をご覧くだ さい。	重要: グリスが無くなります。 グリースアップを行ってください。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面
E221		グリースアップエラー 12,000万針動作したと き縫製不可の状態になり ます。 メモリスイッチ U245 でクリアするこ とが可能です → 「III-1-7. 指定箇所 へのグリース補充」 p.120 をご覧くだ さい。	重要: グリスが無くなりました。 グリースアップを行ってください。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面
E302		頭部倒し確認 頭部倒れセンサーが OFF しているとき	頭部が倒れています。	リセット後再 起動可能	前画面
E305		糸切りメス位置エラー 糸切りメスが正規位置に ありません	糸切りメスセンサーを検出できません。	電源 OFF	データ 入力画面
E306		糸つかみ位置エラー 糸つかみ装置が正規位置 にありません	糸掴みセンサーを検出できません。	電源 OFF	
E307		外部入力命令タイムアウトエラー ベクトルデータの外部入 力命令で一定時間入力 がない	ベクトルデータの外部入力命令で 一定時間入力がありません。	リセット後再 起動可能	データ 入力画面






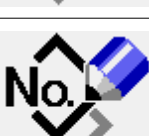
エラーコード	表示	エラー内容	表示メッセージ	復帰方法	復帰場所
E308		ウェイト端子のタイムアウトエラー ウェイト端子に一定時間入力がない	ウェイト端子から一定時間入力がありません。	電源 OFF	
E382		縫製中ワイパー位置外れ ワイパーが待機位置から外れた時	縫製中にワイパーが待機位置から外れました。	リセット後再起動可能	ステップ画面
E384		押え上昇禁止 押え上昇禁止エリアで押えを上昇させようとした時	この位置では押えを上昇させることができません。第二原点を設定してください。	リセット後再起動可能	データ入力画面
E385		ワイパー動作エラー ワイパーが動作しなかった時	ワイパーが動作しませんでした。	リセット後再起動可能	ステップ画面
E386		ワイパー戻りエラー ワイパーが待機位置に戻らなかった時	ワイパーが待機位置に戻りませんでした。	リセット後再起動可能	ステップ画面
E406		パスワード不一致エラー	パスワードが一致しません。初めから入力し直してください。	リセット後再起動可能	パスワード入力画面
E703		パネルが想定外のマシンに接続された（機種エラー） 初期通信において、システムの機種コードが合っていないとき	パネルとマシンの機種が異なります。	通信スイッチ押下後、プログラム書き換え可能	通信画面
E704		システムのバージョン不一致 初期通信において、システムソフトのバージョンが合っていないとき	プログラムのバージョンが合っていません。	通信スイッチ押下後、プログラム書き換え可能	通信画面
E730		主軸モーターエンコーダー不良 マシンモーターのエンコーダーが異常のとき	マシンモータが不良です。（エンコーダA, B相）	電源 OFF	
E731		主軸モーターホールセンサー不良・位置センサー不良 マシンモーターのホールセンサー、または位置センサーが不良のとき	マシンモータが不良です。（エンコーダU, V, W相）	電源 OFF	
E733		主軸モーター逆回転 マシンモーターが逆に回転したとき	マシンモータが逆回転しています。	電源 OFF	

エラーコード	表示	エラー内容	表示メッセージ	復帰方法	復帰場所
E802		電源瞬断検知	電源が瞬断されました。	電源 OFF	
E811		過電圧 入力電源が規定値以上になったとき	入力電圧が高すぎます。 (入力電圧確認)	電源 OFF	
E813		低電圧 入力電源が規定値以下になったとき	入力電圧が低すぎます。 (入力電圧確認)	電源 OFF	
E901		主軸モーター I P M異常 サーボコントロール基板の I P Mが異常のとき	SDC基板の不良です。 (IPM)	電源 OFF	
E903		パルスモーター電源異常 サーボコントロール基板のパルスモーター電源が ± 15%以上変動しているとき	SDC基板の電源不良です。 (パルスモータ電源85V)	電源 OFF	
E904		ソレノイド電源異常 サーボコントロール基板のソレノイド電源が ± 15%以上変動しているとき	SDC基板の電源不良です。 (ソレノイド電源33V)	電源 OFF	
E905		サーボコントロール基板用ヒートシンク温度異常 サーボコントロール基板のオーバーヒート 時間をおいてから再度電源ONしてください	SDC基板の温度上昇を検出しました。	電源 OFF	
E907		X送りモーター原点検索エラー 原点検索動作時に原点センサー信号が入力されないとき	Xモータの原点が見つかりません。 (X原点センサー)	電源 OFF	
E908		Y送りモーター原点検索エラー 原点検索動作時に原点センサー信号が入力されないとき	Yモータの原点が見つかりません。 (Y原点センサー)	電源 OFF	
E910		押えモーター原点検索エラー 原点検索動作時に原点センサー信号が入力されないとき	押え糸切りモータの原点が見つかりません。 (押え糸切り原点センサー)	電源 OFF	
E913		糸つかみ原点検索エラー 原点検索動作時に原点センサー信号が入力されないとき	糸掴みモータの原点が見つかりません。 (糸掴み原点センサー)	電源 OFF	

エラーコード	表示	エラー内容	表示メッセージ	復帰方法	復帰場所
E914		送り不良エラー 送りと主軸のタイミングずれが発生	XY送りの不良を検出しました。	電源 OFF	
E915		操作パネル ⇄ メイン CPU 間通信異常 データ通信に異常が発生したとき	通信できません。 (パネル-メイン基板)	電源 OFF	
E916		メイン CPU ⇄ 主軸 CPU 間通信異常 データ通信に異常が発生したとき	通信できません。 (メイン基板-マシンモータ基板)	電源 OFF	
E917		操作パネル⇄パソコン間通信不可 データ通信に異常が発生したとき	通信できません。 (パネル-PC)	リセット後再起動可能	
E918		MAIN 基盤過熱 メイン基盤のオーバーヒート 時間をおいてから再度電源 ON してください	メイン基板の温度上昇を検知しました。	電源 OFF	
E925		中押えモーター原点検索エラー 原点検索時、中押えモーターの原点センサーが変化しない	中押えモータの原点が見つかりません。 (中押え原点センサー)	電源 OFF	
E926		X モーター位置ずれエラー	XY送りモータの位置がずれました。	1. 縫製中のエラー表示の場合 リセット後、再起動可能 2. 縫製終了後のエラー表示の場合 リセット後、再起動可能 3. その他の場合 電源OFF	1. ステップ画面 2. 縫製画面 3. --
E927		Y モーター位置ずれエラー	Y送りモータの位置がずれました。	1. 縫製中のエラー表示の場合 リセット後、再起動可能 2. 縫製終了後のエラー表示の場合 リセット後、再起動可能 3. その他の場合 電源OFF	1. ステップ画面 2. 縫製画面 3. --

エラーコード	表示	エラー内容	表示メッセージ	復帰方法	復帰場所
E928		糸切りモーター位置ずれエラー	糸切りモータの位置がずれました。	電源 OFF	
E930		中押えモーター位置ずれエラー	中押えモータの位置がずれました。	電源 OFF	
E931		Xモーター過負荷エラー	X送りモータの負荷が大き過ぎます。	電源 OFF	
E932		Yモーター過負荷エラー	Y送りモータの負荷が大き過ぎます。	電源 OFF	
E933		糸切りモーター過負荷エラー	糸切りモータの負荷が大き過ぎます。	電源 OFF	
E935		中押えモーター過負荷エラー	中押えモータの負荷が大き過ぎます。	電源 OFF	
E936		X Y モーター枠外エラー	送りモータ位置が 縫製範囲を超えました。	電源 OFF	
E943		メインコントロール基板不良 メインコントロール基板へのデータ書き込みができないとき	メイン基板が不良です。	電源 OFF	
E946		頭部中継基板不良 頭部中継基板へのデータ書き込みができないとき	頭部基板が不良です。	電源 OFF	

5. メッセージ一覧

メッセージ No.	表示	表示メッセージ	内容
M520		消去します。 よろしいですか？	ユーザーパターンの消去確認 消去します。よろしいですか？
M521		消去します。 よろしいですか？	パターンボタンの消去確認 消去します。よろしいですか？
M522		消去します。 よろしいですか？	サイクルパターンの消去確認 消去します。よろしいですか？
M523		パターンデータが保存されていません。 消去してもよろしいですか？	バックアップデータの消去確認 パターンデータが保存されていませ ん。消去してもよろしいですか？
M528		上書きします。 よろしいですか？	ユーザーパターンの上書き確認 上書きします。よろしいですか？
M529		上書きします。 よろしいですか？	メディアの上書き確認 上書きします。よろしいですか？
M530		上書きします。 よろしいですか？	パネルのベクトルデータ / M3 データ / 縫製標準フォーマットデータ / 簡易 プログラムデータの上書き確認 上書きします。よろしいですか？
M531		上書きします。 よろしいですか？	メディアデータのベクトルデータ / M3 データ / 縫製標準フォーマット データ / 簡易プログラムデータの上 書き確認 上書きします。よろしいですか？
M532		上書きします。 よろしいですか？	PC 上のベクトルデータ / M3 データ / 縫製標準フォーマットデータ / 簡 易プログラムデータの上書き確認 上書きします。よろしいですか？
M534		上書きします。 よろしいですか？	メディアの調整データ・オールミシ ンデータの上書き確認 上書きします。よろしいですか？

メッセージ No.	表示	表示メッセージ	内容
M535		上書きします。 よろしいですか？	PC の調整データ・オールミシンデータの上書き確認 上書きします。よろしいですか？
M537		削除します。 よろしいですか？	糸張力コマンドの削除確認 削除します。よろしいですか？
M538		削除します。 よろしいですか？	中押え増減値の削除確認 削除します。よろしいですか？
M542		フォーマットします。 よろしいですか？	フォーマット確認 フォーマットします。よろしいですか？
M544		データがありません。	パネルに対応するデータがない データがありません。
M545		データがありません。	メディアに対応するデータがない データがありません。
M546		データがありません。	PC に対応するデータがない データがありません。
M547		データが存在するため 上書きできません。	パターンデータの上書き禁止 データが存在するため、上書きできません。
M548		データが存在するため 上書きできません。	メディアデータの上書き禁止 データが存在するため、上書きできません。
M549		データが存在するため 上書きできません。	PC 上のデータの上書き禁止 データが存在するため、上書きできません。
M550		本体入力のバックアップ データがあります。	本体入力のバックアップデータ通知 本体入力のバックアップデータがあります。

メッセージ No.	表示	表示メッセージ	内容
M554		キーロックカスタマイズデータを初期化しました。	カスタマイズデータ初期化通知 キーロックカスタマイズデータを初期化しました。
M555		キーロックカスタマイズデータが壊れています。初期化しますか？	カスタマイズデータ破損 キーロックカスタマイズデータが壊れています。初期化しますか？
M556		キーロックカスタマイズデータを初期化します。よろしいですか？	カスタマイズデータ初期化確認 キーロックカスタマイズデータを初期化します。よろしいですか？
M557		パスワードをクリアします。よろしいですか？	パスワード設定のクリア確認 パスワードをクリアします。よろしいですか？
M653		フォーマットをしています。	フォーマット中 フォーマットしています。
M669		データを読み込んでいます。	データ読み込み中 データを読み込んでいます。
M670		データを書き込んでいます。	データ書き込み中 データを書き込んでいます。
M671		データを変換しています。	データ変換中 データを変換しています。

III. ミシンの保守

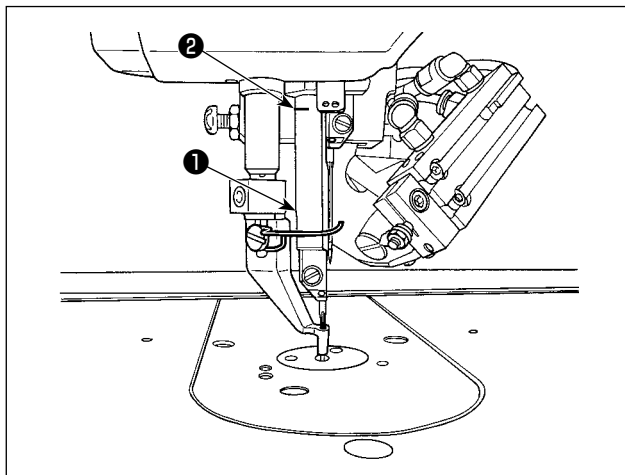
1. 保守

1-1. 針と釜



注意

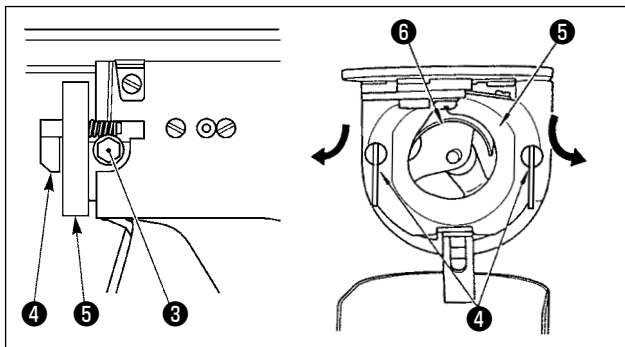
不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



* 一度電源を入れ、中押えを下げた状態にしてから、再度電源を切ってください。

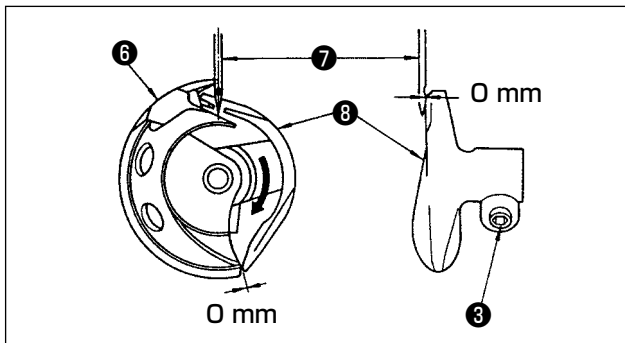
- 1) プーリーを手で回し、針棒①の最下点から上昇時に刻線②を針棒揺動台の下端に合わせます。

注意 1. 調整には左針を用いてください。
2. 左右で針番手が異なる場合、細い針を左針にして調整してください。

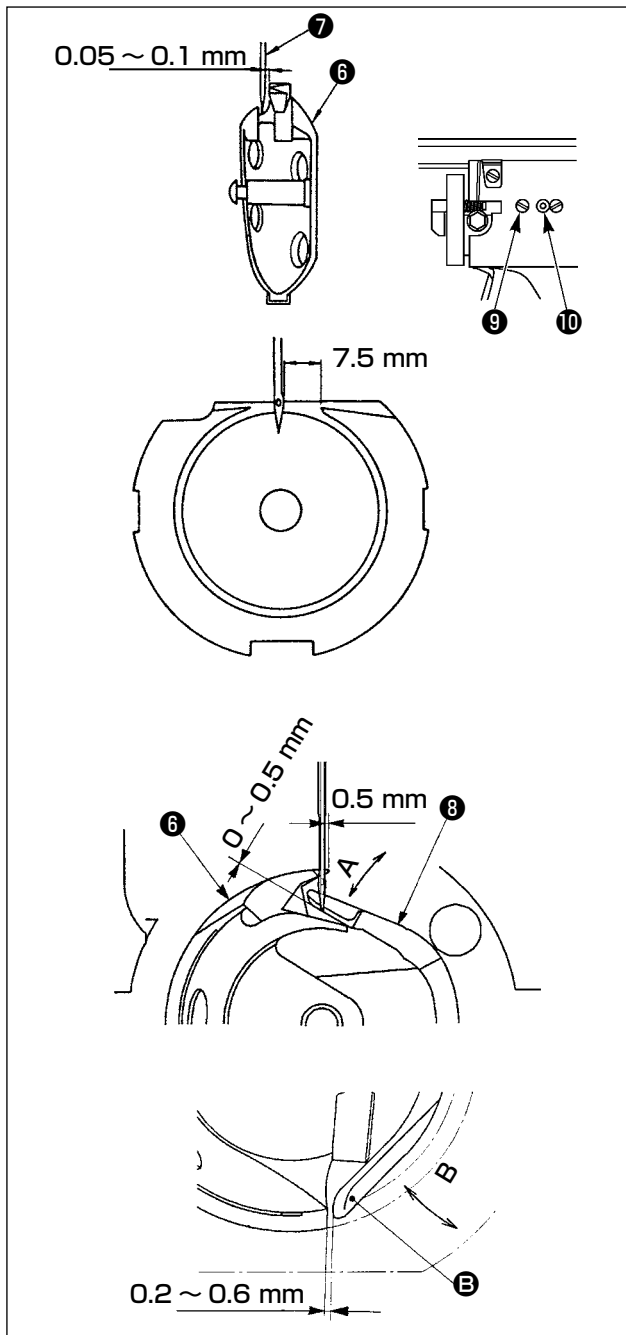


- 2) ドライバー止めねじ③をゆるめ、中釜押えフック④を左右に開き、中釜押え⑤を外します。

注意 この時中釜⑥を落さないように注意してください。



- 3) 中釜⑥の剣先が針⑦の中心に一致するよう、またドライバー⑧は前端面で針を受け、針曲がりを防止していますので、ドライバー前端面と針のすき間が0 mmになるように調節し、ドライバー止めねじ③を締めてください。



- 4) 大釜止めねじ⑨をゆるめ大釜調節軸⑩を左右に回して針⑦と中釜⑥の剣先のすき間が、0.05 ~ 0.1 mm になるように大釜の前後位置を調節してください。
- 5) 大釜の前後位置を調節後は、針と大釜のすき間が 7.5 mm になるように回転方向を調節してから大釜止めねじ⑨を締めてください。
- 6) 標準出荷時と針の番手を変えた時、または新しいドライバーを使用するときは、ドライバーの高さ調整を行ってください。

[ドライバーの高さ調整]

- 1) 中釜⑥の針先が針⑦の中心に一致するように調節し、ドライバーの止めねじ③を締めてください。
- 2) 中釜⑥の剣先を針⑦の右端から 0.5mm 出したとき、ドライバー⑧の針受け部下端から針⑦の先端の突出量が 0 ~ 0.5mm となるように、ドライバー⑧の針受け部を矢印 A 方向に曲げます。
- 3) ドライバー⑧の後端 B と中釜⑥のすき間が 0.2 ~ 0.6mm となるようにドライバー⑧の後端 B を B 方向に曲げます。
- 4) 上記 3) ~ 5) の調整を行います。



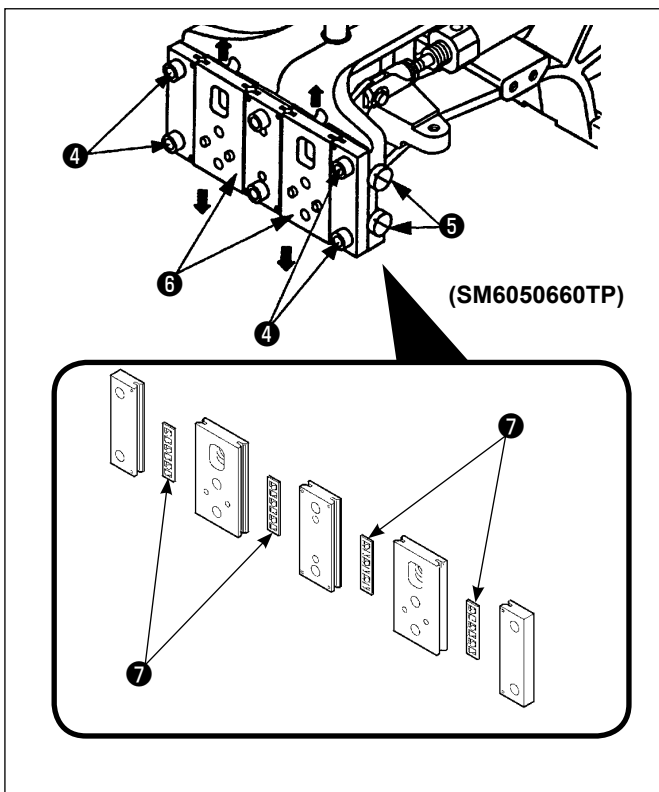
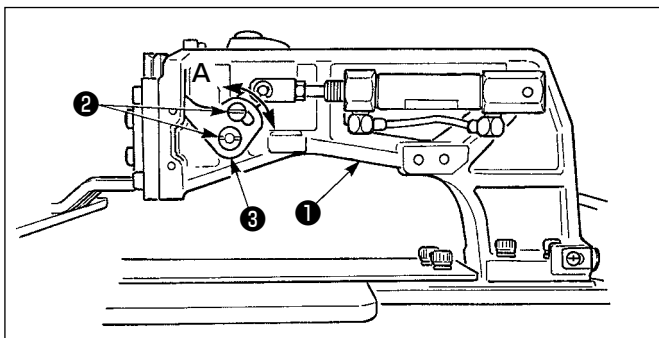
ドライバーの針受け高さが合っていないと、中釜剣先摩耗、目飛びの原因となります。

1-2. 押えの高さ



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



- 1) 布送り台①の左右にある止めねじ②をゆるめ、布押えリンク③をA方向にすると低くなります。
- 2) 高さ調節後は止めねじ②を確実に締めてください。

布押えリンクの位置を変更しても滑り板ベアリングの引っかかりが発生して押え高さが変わらない場合には下記手順により、滑り板ベアリングの与圧調整を実施し、押さえに左右ガタの発生しない範囲で与圧をゆるめてください。

出荷時は布押え滑り足を上下させ、滑り板ベアリング⑦とスプリングピンが当たった後の動き始めトルク（滑りトルク）は0.98～7.84N（100～800g）に調整されています。

1. 止めねじ④をゆるめます。
2. 与圧調整ねじ⑤を軽く締め付け、滑り板ベアリング⑦に与圧をかけます。この際、布押え足滑り板⑥を上下させトルクのむらの無いように与圧をかけてください。
3. 止めねじ④を締めます。



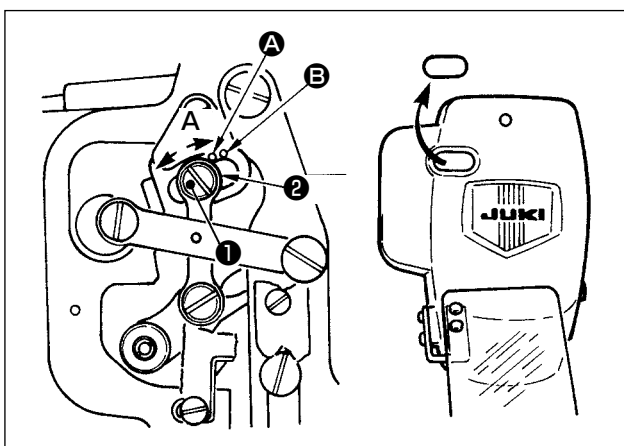
1. 止めねじ④を締めると滑り板ベアリング⑦の与圧が変化します。止めねじ④を締めた後滑りトルクの確認を行ってください。
2. 与圧調節ねじ⑤は、ミシンには付いていません。

1-3. 中押えの上下ストローク調節



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



* 一度電源を入れ、中押えを下げた状態にしてから、再度電源を切ってください。

- 1) 面部カバーをはずします。
- 2) プーリーを回し、針棒を下死点にします。
- 3) 段ねじ①をゆるめ段ねじ①の位置をA方向に動かすと、ストロークが大きくなります。
- 4) 刻点Aが座金②の外周右側に一致したときストロークは4 mm、刻点Bが一致したときは7 mmです。

（工場出荷時は4 mmに調節してあります。）



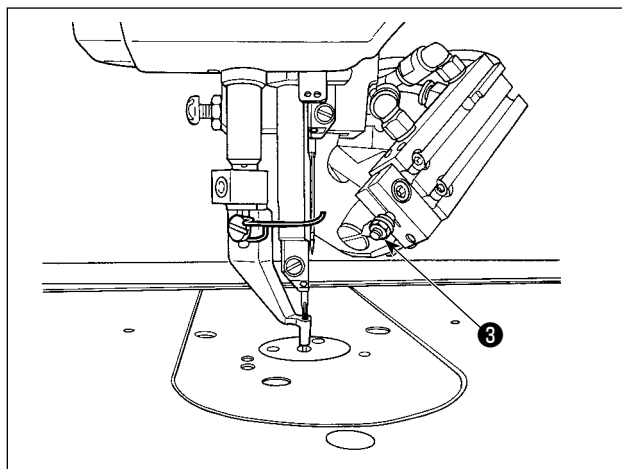
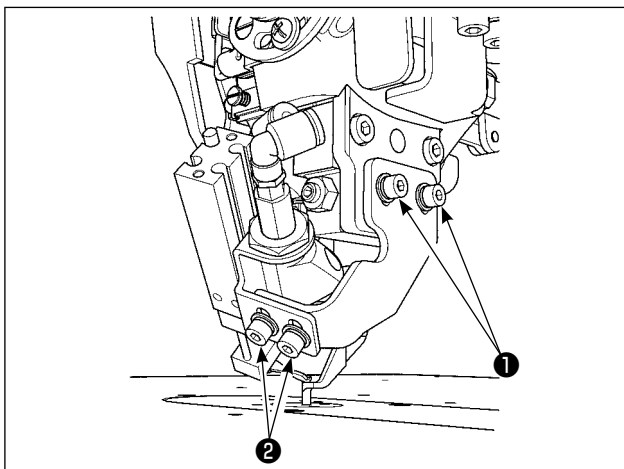
面部カバーのゴム栓を外すことにより、面部カバーを外さなくても調整できます。

1-4. ワイパー位置



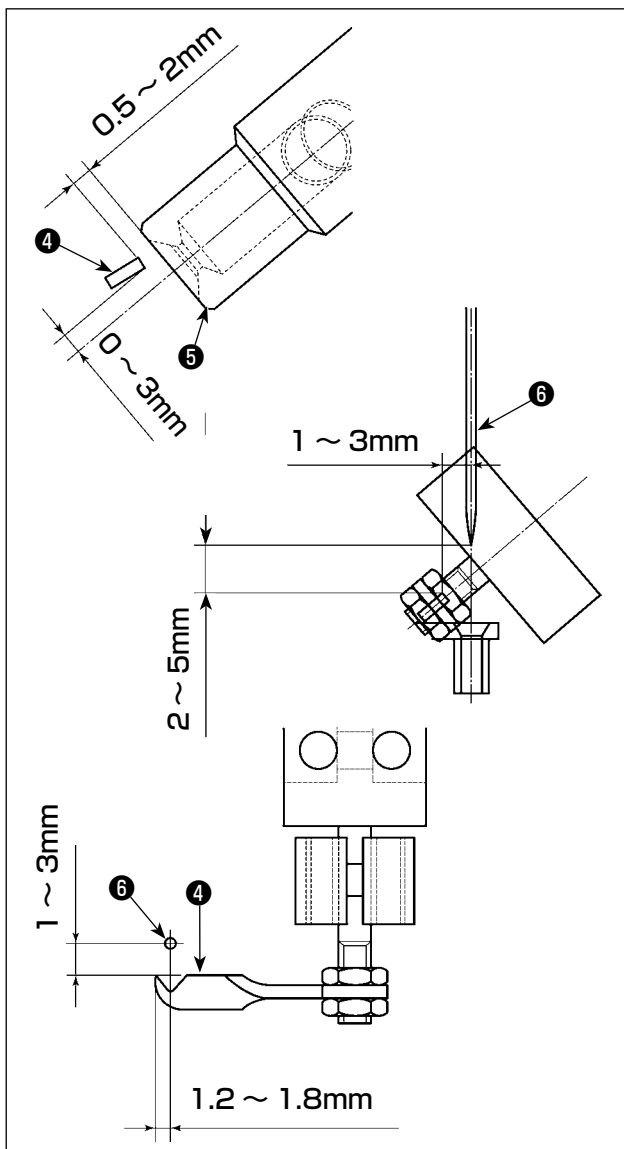
注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



* 一度電源を入れ、中押え高さを 3.5mm に設定後、中押えを下げた状態にしてから、電源を切りエアを閉じてください。

- 1) ワイパー駆動時に上糸たぐり位置が悪く、上糸が吸引されない場合には、高さ方向位置調節ねじ①、ワイパー前進量調節ねじ②、戻り位置調整ナット③でワイパー位置を調節してください。



ワイパー戻り位置の調整

- 1) ワイパー④下面が糸吸引装置⑤の吸引口中心に対し 0 ~ 3 mm 上側になるよう調整してください。

またワイパー④と吸引口⑤とのすき間は 0.5 ~ 2mm になるよう調整してください。

ワイパー前進位置の調整

- 1) ワイパー先端が針先（運動針側）を通過する時のすき間を垂直方向：1 ~ 3mm に調整してください。
- 2) ワイパー最前進時にワイパー先端と針⑥（運動針側）のすき間を水平方向：1 ~ 3mm、垂直方向：2 ~ 5mm に調整してください。

ワイパー左右位置の調整

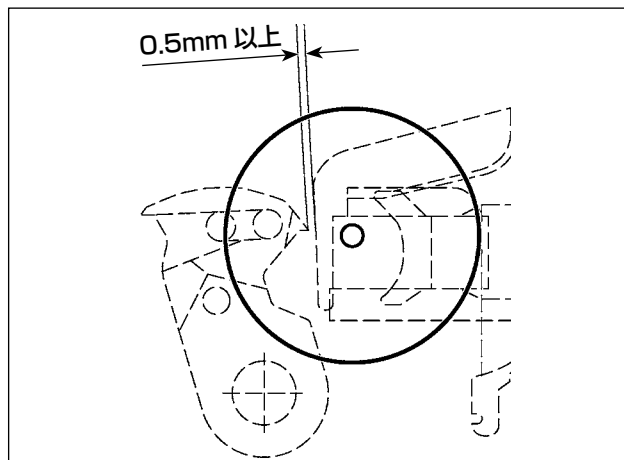
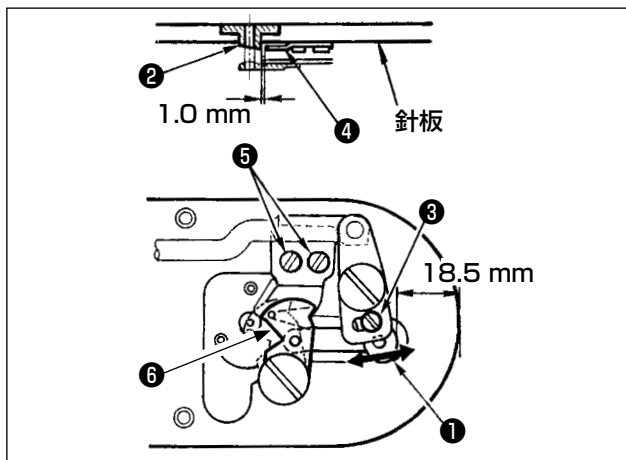
- 1) ワイパー最前進時にワイパー先端の針（運動針側）に対する突出量は 1.2 ~ 1.8mm に調整してください。

1-5. 動メスと固定メス



注意

不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



- 1) 針板前端から糸切りレバー小①の先端まで18.5mmになるように調節ねじ③をゆるめ、動メス⑥を矢印方向に動かして調節します。
- 2) 針穴ガイド②と固定メス④のすきまが1.0mmになるように止めねじ⑤をゆるめ、固定メス④を動かして調節します。

IPパネルの準備キーを押して原点検索後、動メス⑥先端と糸つかみ先端のすき間が0.5mm以上ある事を確認してください。すき間が0.5mm以上確保できない場合、18.5±0.5mmの範囲内で動メス⑥の位置を調整してすき間を確保してください。

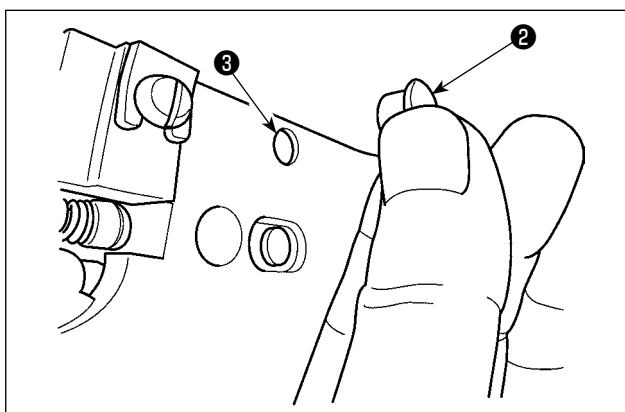
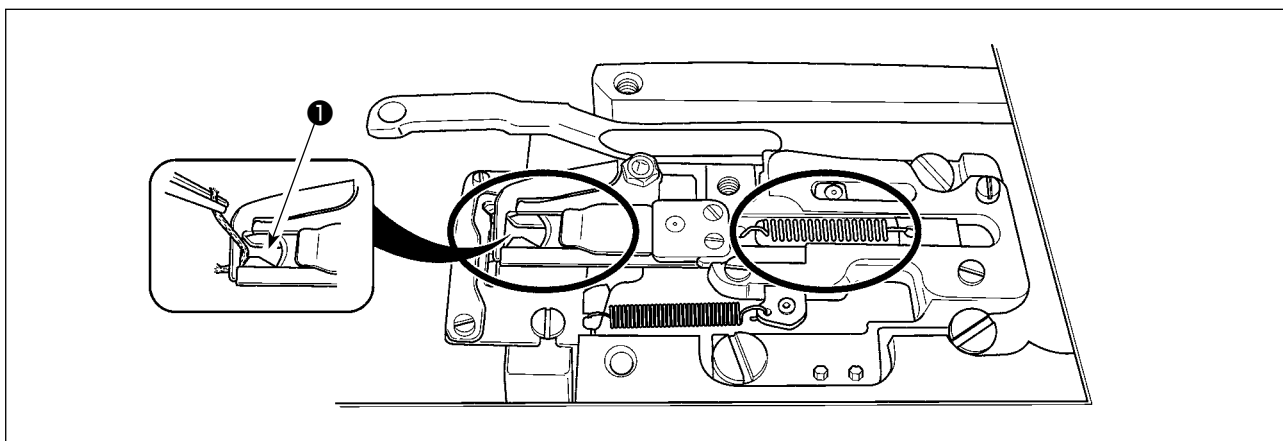


1-6. 糸つかみ装置



注意

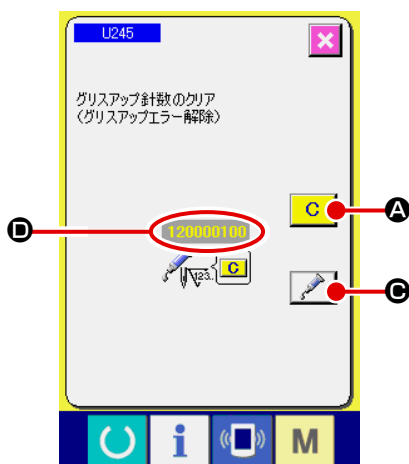
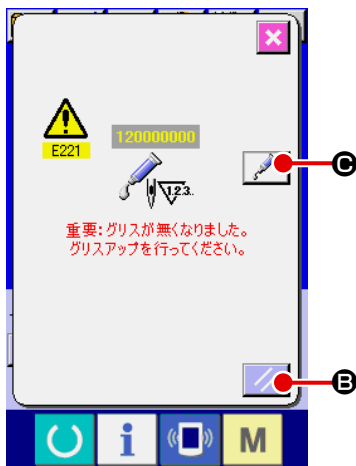
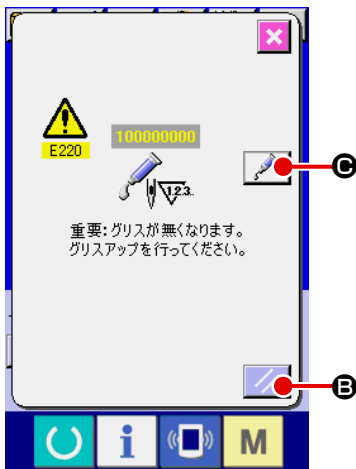
不意の起動による事故を防ぐため、電源を切ってから行ってください。



糸つかみ先端①に糸がはさまっていると糸つかみが不完全となり、縫い始めの縫いトラブルの原因となります。ピンセット等で取り除いてください。丸印内の箇所には、糸くず、糸ぼこりがたまりやすいので、針板を外して定期的に清掃、及びゴム栓②を外して③の穴からエアブローしてください。

1-7. 指定箇所へのグリース補充

- * 下記エラー発生時または 1 年ごと（どちらか早い方）にグリースを補充してください。
 ミシンの清掃、その他の理由でグリースが減少した場合は直ちに補充をお願いします。



一定の針数を縫製すると、電源投入時にエラー「E220 グリースアップ警告」が表示されます。これは、指定箇所のグリース補充時期を知らせるもので、必ず下記のグリース補充を行ってください。その後、メモリースイッチ **U245** を呼び出してクリアボタン **C** **A** を押し、針数 **D** を“0”にしてください。

エラー「E220 グリースアップ警告」が表示されても、リセットキー **B** を押しとエラーが解除し、継続して使用できますが、その後の電源再投入時には毎回エラーコード「E220 グリースアップ警告」が表示されます。

また、エラー No.E220 表示後、グリースを補充せずさらに一定期間使用するとエラー「E221 グリースアップエラー」が表示され、リセットキーを押してもエラーが解除できずミシンが動作しなくなります。

エラー「E221 グリースアップエラー」が表示された場合は、必ず下記指定箇所へグリースを補充してください。その後、メモリースイッチ **U245** を呼び出してクリアボタン **C** **A** を押し、針数 **D** を“0”にしてください。

グリースを補充せずリセットキー **B** を押した場合、その後の電源再投入時には毎回エラーコード「E221 グリースアップ警告」が表示され、ミシンが動作しませんのでご注意ください。

- 注意**

 1. グリース補充後、針数 **D** を“0”に変更しないと、エラーコード E220 または E221 が再度表示されます。E221 が表示された場合、ミシンが動作しませんのでご注意ください。
 2. 各画面でグリース塗布位置表示ボタン **C** を押し、**C** を押しと、グリース塗布位置がパネル表示で確認できます。但し、グリースの塗布は必ず電源を切って行ってください。

(1) 専用グリース搭載箇所

図に示す位置にジューキグリース A ①専用継手と止めねじが搭載されています。
また、付属品として LM ガイド専用グリースが付属しています。
定期的 (パネルにグリースアップ警告 No.E220 表示又は 1 回 / 1 年) にグリースを補充してください。
ミシンの清掃、その他の理由でグリースが減少した場合は直ちに補充をお願いします。



グリースは混ぜて塗布しないでください。必ず指定のグリースをご使用ください。
グリース注入継手とねじはジューキグリース A を塗布時にご使用ください。LM ガイド専用グリースには使用しないでください。

ジューキグリース A ①

グリースが不足した場合は購入をお願いします。

		補用部品 No.
ジューキグリース A	10g チューブ	40006323
	100g チューブ	23640204
LM ガイド専用グリース	70g チューブ	40097886



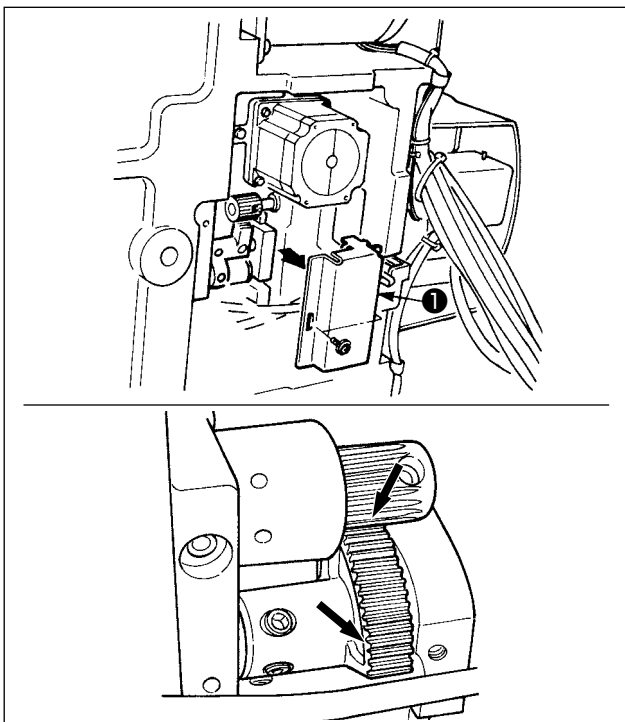
不意の起動による事故を防ぐため、必ず電源を切ってから行ってください。
また、運転前に外したカバー類を元通りに取り付けてください。

(2) ジューキグリース A の塗布箇所



下記指定箇所の補充には、付属のグリースチューブ A (品番 40006323) をご使用ください。
指定以外のグリースを補充すると、部品破損の原因になります。

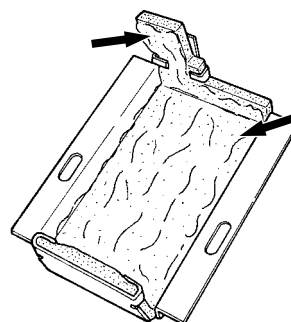
■ 大振り子ギア部へのグリース補充



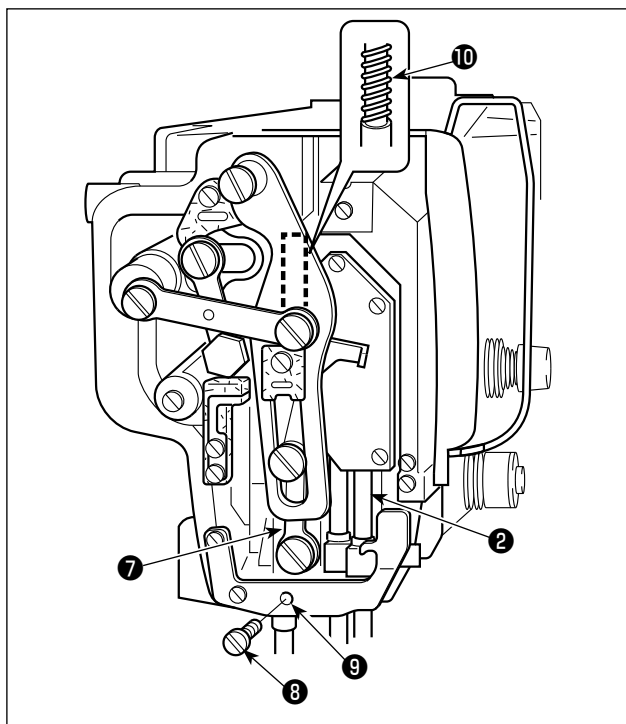
- 1) ミシンを倒し、グリースカバー①を外します。
- 2) 大振り子のギア部と下軸のギア外周にジューキグリース A を塗布します。
- 3) グリースカバー①のフェルト面にもジューキグリース A を塗布します。



清掃、エアブロー等でグリースが減少した場合は必ず再度塗布してください。



■ 針棒上下メタル部、角コマ部及び中押え棒下メタル部へのグリース補充

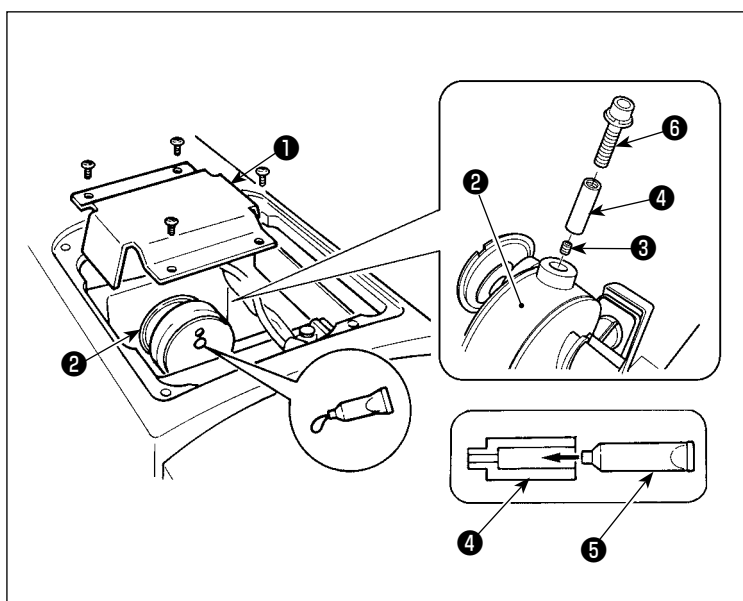


- 1) 面部カバーを開け、中押え補助ばね B ①を外します。
- 2) 針棒外周②にジューキグリース A を塗布してください。マシンを手で回転させて針棒外周全体に塗布してください。
- 3) 中押え棒外周⑦にジューキグリース A を塗布のこと。
中押え棒メタルグリース穴止ねじ⑧を外して、穴⑨にジューキグリース A を入れます。止ねじ⑧を締めてジューキグリース A をメタル内部に充填します。
- 4) 中押えばね⑩表面にジューキグリース A を塗布します。



面部内の針棒外周に塗布されたグリースは拭取らないでください。清掃、エアブロー等でグリースが減少した場合は必ず再度塗布してください。

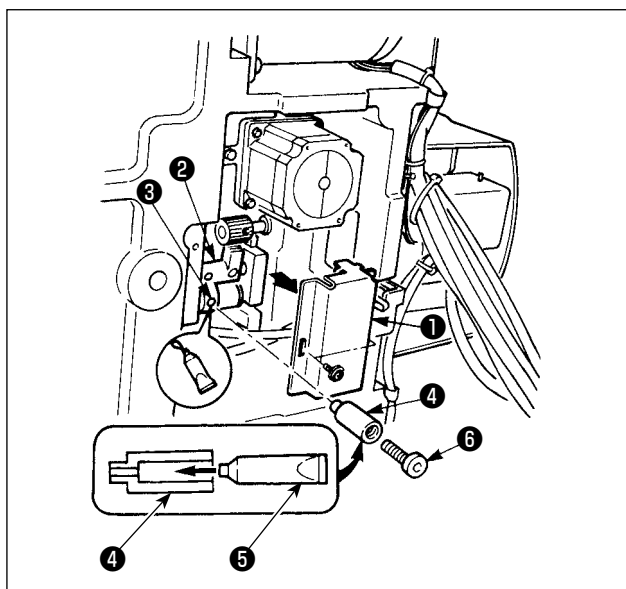
■ 偏心カム部へのグリース補充



- 1) クランクロッドカバー①を開けます。
- 2) クランクロッド外周②のグリース注入口蓋止めねじ③を外します。
- 3) 継手④にジューキグリース A チューブ⑤よりグリースを充填します。
- 4) 付属のねじ⑥を継手にねじ込め、グリースを補充してください。
- 5) グリース補充後は取り出した止めねじ③をしっかりと固定してください。

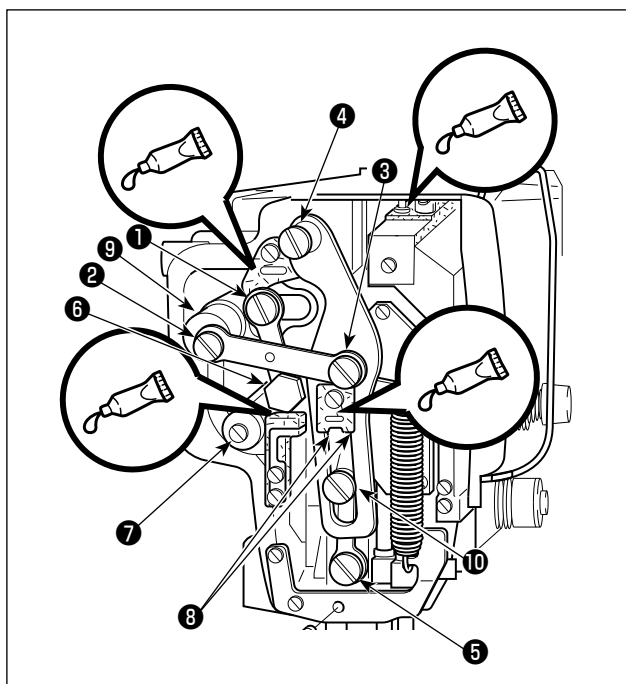
ミシンの上軸を回転させながら補充するとしっかりと充填できます。

■ 大振りピン部へのグリース補充



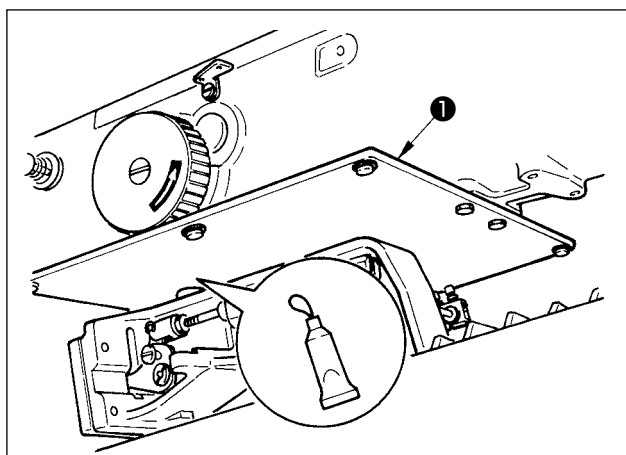
- 1) ミシンを倒し、グリースカバー①を取り外します。
- 2) 付属の継手④にジューキグリースAチューブ⑤よりグリースを充填してください。
- 3) 大振りギア②の止めねじ③を外し、継手④をねじ穴にねじ込みます。
- 4) 付属のねじ⑥を継手にねじ込み、ジューキグリースAを補充してください。
- 5) グリース補充後は、取り外した止めねじ③をしっかりと固定してください。

■ 面部へのグリース補充



- 1) 面部カバーを開けます。
- 2) フェルト部(4ヶ所)と、その周りの段ねじ、支点①～⑨とガイド溝部⑩にジューキグリースAを補充してください。

■ 押え板へのグリース補充



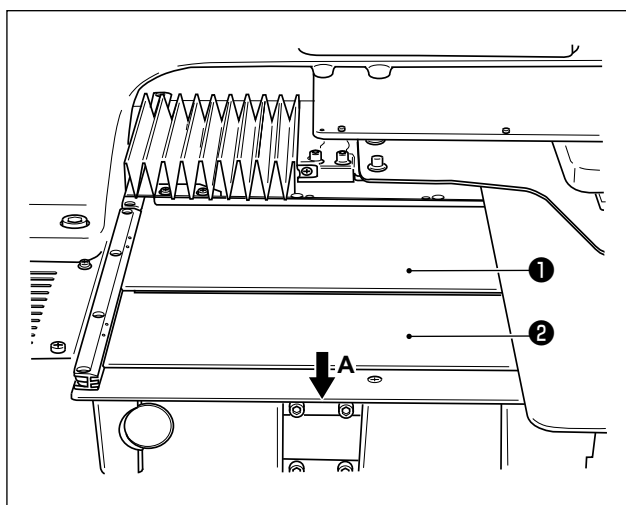
- 1) 押え板①裏面にグリースを塗布してください。

(3) LMガイド専用グリースの塗布箇所



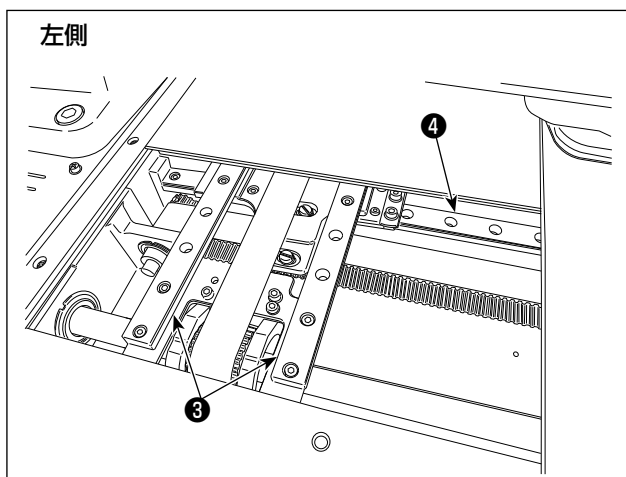
下記指定箇所の補充には、付属のグリース（品番 40097886）をご使用ください。指定以外のグリースを補充すると、部品破損の原因になります。

■ X 移動下カバーの取り外し

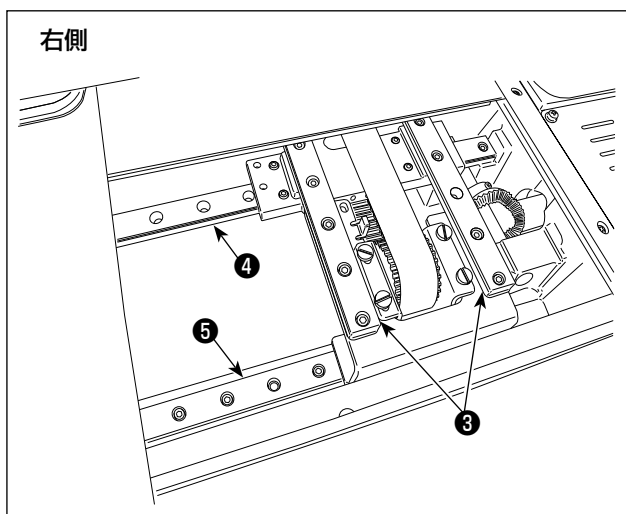


- 1) X 移動上カバー①を上方へ軽く押し上げながら、X 移動下カバー②を A 方向に引き抜きます。
- 2) X_LMガイド③×2、Y_LMガイド④×2、Y 補助 LM ガイド⑤×1 のレール両側面の溝部に付属のグリース（品番 40097886）を塗布します。
グリースの塗布は左右の X 移動下カバー②を取り外して両側から行ってください。
また、布送り台を前後に動かして塗布してください。
- 3) 布送り台を手動で前後左右に移動限界まで動かして、LM ガイド全体にグリースを馴染ませてください。

左側



右側



1. 清掃、エアブロー等でグリースが減少した場合は必ず再度塗布してください。

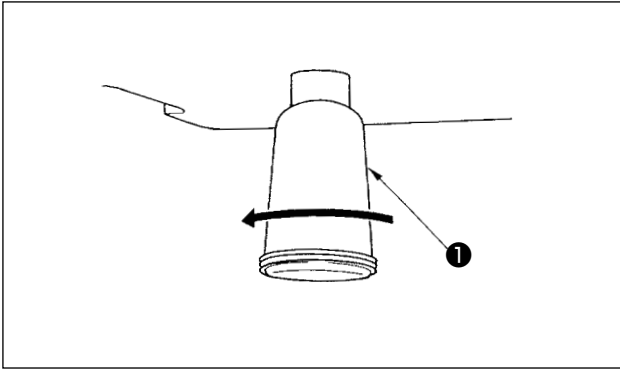
2. ミシン油は LM ガイドに塗布しないでください。LM ガイド内のグリースが流れ出し LM ガイドの摩耗の原因になります。



3. X 移動下カバー②を取り外す際は、カバーに接着されているストッパーゴムが破損しないようご注意ください。

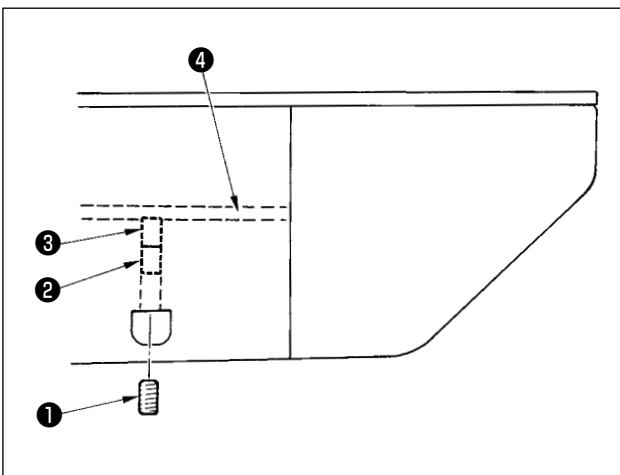
4. X 移動下カバー②を組付け後は、布送り台を手動で動かし、X 移動カバーが大きなガタや引っ掛かりなく動くことを確認してください。

1-8. 廃油の処理



ポリオイラ①に油がたまりましたら、ポリオイラ①を取り外し油を抜いてください。

1-9. 釜への給油量



- 1) 止めねじ①をゆるめて止めねじ①を取り外します。
- 2) 調整ねじ②を締め込むと給油パイプ左④の油量を絞れます。
- 3) 調整後は止めねじ①を締め込んで固定してください。

1. 標準出荷状態は釜給油絞り③を軽く締め込み、4回転戻した位置です。



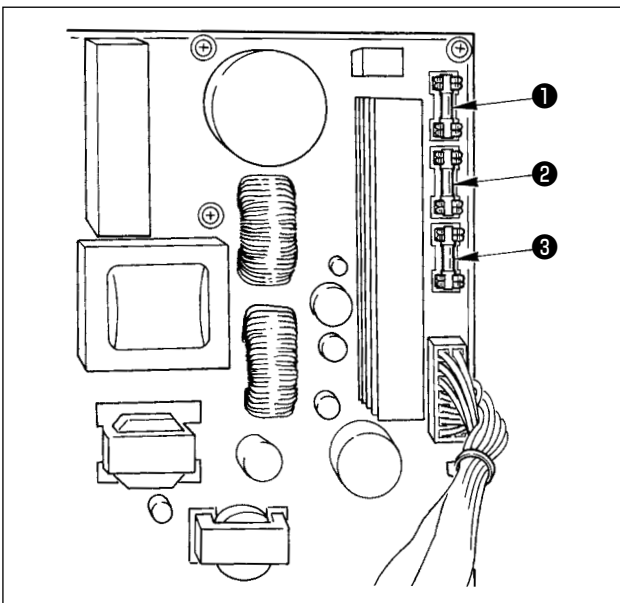
2. 油量を絞る場合、一度に締め込まず、釜給油絞り③を締め込み2回戻した位置で半日程度様子を見てください。絞りすぎは釜摩耗の原因となります。

1-10. ヒューズの交換



危険

1. 感電による事故を防ぐため、電源を切り、5分経過してからカバーを開けてください。
2. 必ず電源スイッチを切ってから制御ボックスの蓋を開け、指定の容量のヒューズと交換してください。



ヒューズは3本使用します。

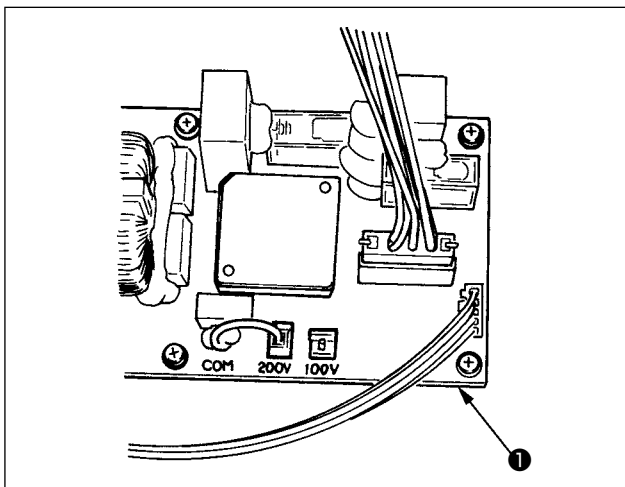
- ① パルスモーター電源保護用
15A (タイムラグヒューズ)
- ② ソレノイド電源保護用
3.15A (タイムラグヒューズ)
- ③ 制御電源保護用
2A (速断ヒューズ)

1-11. 100 ⇔ 200V 電圧仕様の切り替え方法



危険

感電、不意の起動による人身の損傷を防ぐために電源を切り、5分以上経過してからカバーを外してください。不慣れによる事故、感電事故を防ぐため、電気関係の調整は電気専門知識のある人、または、当社販売店の技術者に依頼してください。



下記の2点の変更により、単相 100 V ~ 120V 三相 200 V ~ 240V の切り替えができます。

①電源コードの交換

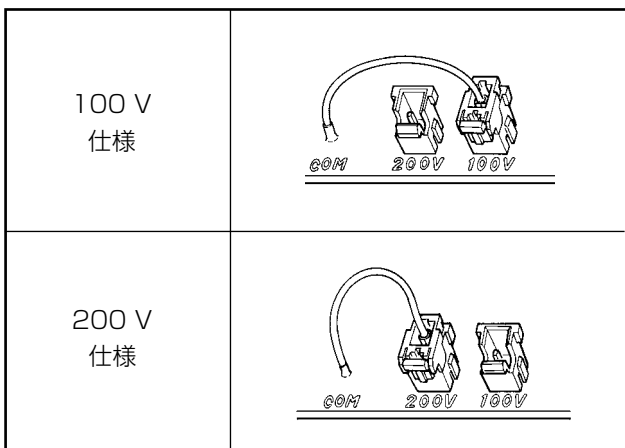
② FLT 基板切換えコネクタの差し替え

- 1) ミシンが停止していることを確認の上、電源スイッチで電源を OFF にしてください。
- 2) 電源スイッチが OFF になっていることを確認の上、電源コードを電源コンセントから抜きます。その後5分以上待ちます。
- 3) 電装ボックスの裏蓋を止めている4本のねじをはずし、裏蓋をゆっくり開きます。

[200 V ~ 240V → 100 V ~ 120Vに変更する場合]

(注意) 変更方法を間違えると、電装ボックスを破損します。十分注意してください。

- ・ 電源コードの交換
JUKI 純正品 電源コード (40086468)、アースコード (M90345800A0) に変更
- ・ 切換えコネクタの差し替え
ボックス側面にある FLT 基板 ① の 100 ⇔ 200V 切り換えコネクタを 100V に差し換える。
- ・ 変更の確認
間違いなく変更したか、確認してください。

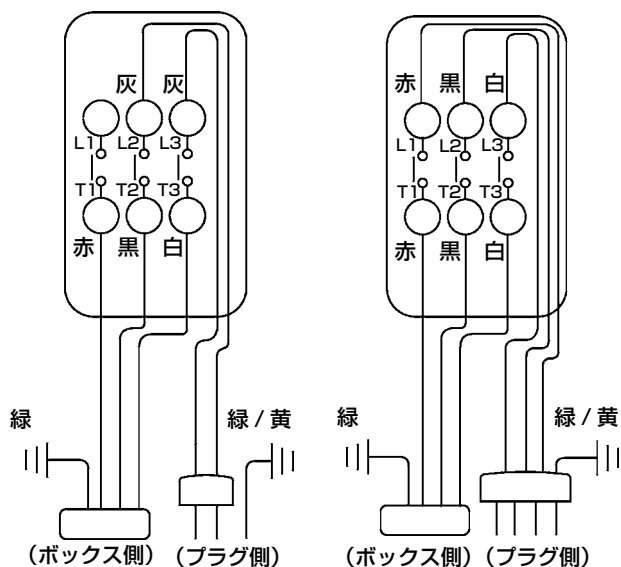


電源 SW 内部の配線は以下のとおり接続してください。

100 V 配線

必ず白・黒間に接続してください。

200 V 配線



[100 V ~ 120V → 200 V ~ 240Vに変更する場合]

(注意) 変更方法を間違えると、電装ボックスを破損します。十分注意してください。

- ・ 電源コードの交換
JUKI 純正品 電源コード (40086469) に変更
 - ・ 切換えコネクタの差し替え
ボックス側面にある FLT 基板 ① の 100 ⇔ 200V 切り換えコネクタを 200V に差し換える。
 - ・ 変更の確認
間違いなく変更したか、確認してください。
- 4) 裏蓋と電装ボックス本体で線噛みしないように十分注意し、裏蓋を押しながら閉じ、4本のねじを締めます。

1-12. 縫いにおける現象・原因と対策

現象	原因	対策	ページ
1. 縫い始めの糸抜け。	<ul style="list-style-type: none"> ① 縫い始めに目飛びがする。 ② 糸切り後の上糸長さが短い。 ③ 下糸が短か過ぎる。 ④ 糸つかみが不安定（生地が伸びやすい、糸のすべりが悪い、糸が太い等） ⑤ 1針目のピッチが小さい。 ⑥ 上糸がクランプされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 針と釜のすき間を0.05～0.1 mmにする。 ○ 縫い始めにソフトスタートを設定する。 ○ 第二糸調子の糸浮かし量を調節する。 ○ 糸取りばねを強くするか、第一糸調子を弱くする。 ○ 下糸張力を弱くする。 ○ 針穴ガイドと固定メスのすきまを広げる。 ○ 縫い始め1針目の回転数を下げる。（600～1000sti/min程度） ○ 糸つかみ針数を3～4針に増やす。 ○ 1針目のピッチを長くする。 ○ 上糸切り残り長さを調整して45 mm以上にする。 ○ ワイパー位置を上糸吸引装置に対して調整する。 	<p>115</p> <p>97</p> <p>15,17</p> <p>15</p> <p>119</p>
2. 糸切れが多い。 化繊糸のささくれ。	<ul style="list-style-type: none"> ① 釜、ドライバーに傷がある。 ② 針穴ガイドに傷がある。 ③ 中押えに針が当たる。 ④ 大釜の溝に糸くずが入っている。 ⑤ 上糸張力が強過ぎる。 ⑥ 糸取りばねが強過ぎる。 ⑦ 化繊糸が熱で溶ける。 ⑧ 糸引き上げ時に、針先を糸で刺してしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り外して細い砥石又はパフでみがく。 ○ パフでみがくか、交換する。 ○ 中押えの位置を調節する。 ○ 中釜を取り外して糸くずを取り除く。 ○ 上糸張力を弱くする。 ○ 糸取りばねを弱くする。 ○ シリコンオイルを使用する。 ○ 針棒高さを刻線半分から刻線分下げる。 ○ 針先の荒れ確認する。 ○ ボールポイント針を使用する。 	<p>16</p> <p>15</p> <p>16</p>
3. 針折れが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ① 針が曲がっている。 ② 中押えに針が当たる。 ③ 針が細い。 ④ ドライバーで針を曲げ過ぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 針を交換する。 ○ 中押えの位置を調節する。 ○ 縫製品に合わせて針の番手を変える。 ○ 針と釜との位置調整をする。 	<p>11</p> <p>16</p> <p>115</p>
4. 糸が切れない。 (下糸のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ① 固定メスの切れ味が悪い。 ② 針穴ガイドと固定メスとの段差が小さい。 ③ 動メスの位置が悪い。 ④ 最終針で目飛びがする。 ⑤ 下糸張力が低い。 ⑥ 生地のばたつき。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 固定メスを交換する。 ○ 固定メスの曲りを大きくする。 ○ 動メス位置を調節する。 ○ 針と釜とのタイミングを調整する。 ○ 下糸張力を高くする。 ○ 最終針の中押え高さを下げる。 	<p>119</p> <p>115</p>
5. 目飛びが多い。	<ul style="list-style-type: none"> ① 針と釜の合わせ方が悪い。 ② 針と中釜のすきまが大きい。 ③ 針が曲がっている。 ④ ドライバーで針を曲げ過ぎる。 ⑤ 糸切り後の上糸長さが長い。 (2針目～10針目程度迄の目飛びの場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 針と釜の位置調整をする。 ○ 針と釜の位置調整をする。 ○ 針を交換する。 ○ ドライバーの位置調整をする。 ○ 糸取りばねを弱くするか、第一糸調子を強くする。 	<p>115</p> <p>115</p> <p>11</p> <p>115</p> <p>15,17</p>

現象	原因	対策	ページ
6. 布の裏側に上糸がはみ出る。	<ul style="list-style-type: none"> ① 上糸の締まりが悪い。 ② 糸調子皿を浮かす機構が作動しない。 ③ 糸切り後の上糸長さが長過ぎる。 ④ 針数が少ない。 ⑤ 縫い長さが短い場合（縫い裏に上糸端がはみ出る。） ⑥ 針数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上糸張力を強くする。 ○ 縫製中に第二糸調子皿が閉じていることを確認する。 ○ 第一糸調子を強くする。 ○ 糸つかみを OFF にする。 ○ 糸つかみを OFF にする。 ○ 落とし込みタイプの下板を使う。 	15 15
7. 生地表に一針目の糸端が出てしまう	<ul style="list-style-type: none"> ① 一针目の目飛び。 ② 中押えが針に対し異心している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 釜タイミングを 1/2 針早めに調整する。 ○ 中押え中心に針が落ちるように中押えと針の異心を調整する。 	
8. 糸切り時の糸切れ	<ul style="list-style-type: none"> ① 動メスの位置が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動メス位置を調節する。 	119
9. 糸つかみに上糸がからむ	<ul style="list-style-type: none"> ① 縫い始めの上糸が長い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一糸調子を締め込み、針糸長さを 45 ~ 55mm にする。 	18
10. 針糸長さのバラツキ	<ul style="list-style-type: none"> ① 糸取りばねの張力が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 糸取りばねの張力を上げる。 	16
11. 針糸長さが短くならない	<ul style="list-style-type: none"> ① 第一糸調子の張力が低い。 ② 糸取りばね張力が強すぎる。 ③ 糸取りばねの張力が低すぎて、動作が不安定。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第一糸調子を強くする。 ○ 糸取りばね張力を低くする。 ○ 糸取りばね張力を強くし、ストロークも長くする。 	15 16
12. 縫い始め 2 針目の下糸結接部が表に出る。	<ul style="list-style-type: none"> ① ボビンの空転が大きい。 ② 下糸張力が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動メス位置を調整する。 ○ 下糸張力を強くする。 ○ 糸つかみを OFF にする。 	119 15
13. ワイパー作動不良（戻り不良）	<ul style="list-style-type: none"> ① 最終針が縫い始め等と同針落ちとなっていて、糸と生地抵抗が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最終針の針落ち点をずらす。 	
14. 2 本の糸が絡む	<ul style="list-style-type: none"> ① 前回の縫い終わりで上糸がクランプされていない。 ② 前回の縫い終わりで上糸が切れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上糸切り残り長さを調整して 45 mm 以上にする。 ○ ワイパー位置を上糸吸引装置に対して調整する。 ○ 現象 4. の原因を参照し対策する。 	
15. 縫えているのに糸切れ検知エラーが発生しマシンが止まる	<ul style="list-style-type: none"> ① 糸切れ検知センサーの感度が低い。糸が細い場合や糸の張力が強い場合、低速時に発生しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 糸切れ検知センサーの感度調整ボリュームを右に回し、感度を上げる。 	16
16. 糸切れしても糸切れ検知エラーが発生せずマシンが止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ① 糸切れ検知センサーの感度が高い。高速時に発生しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 糸切れ検知センサーの感度調整ボリュームを左に回し、感度を下げる。 	16
17. 布裏に針糸が出てしまう	<ul style="list-style-type: none"> ① 針糸張力が低い。 ② 下糸が細く上糸張力が上げられない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上糸張力を上げる。 ○ 中押え高さを下げる。 ○ 送りタイミングを遅らせる。 	15

2. オプション

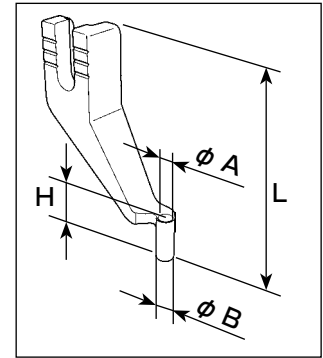
2-1. 針穴ガイド一覧

使用針	針穴ガイド		
番手	品番	針穴径	用途
#14～#18※ ¹	B242621000B	φ 2.0	中厚～厚物
#18～#20	B242621000D	φ 2.4	厚物 (OP)
	B242621000F	φ 3.0	

使用針	中押え	
番手	品番	寸法 (φ A × φ B × H × L)
#14～#20	40140277	φ 1.8 × φ 2.9 × 7.5 × 37

※¹ H仕様装着針 (DP × 17 #18)

・ (OP) はオプション



2-2. フェルト糸案内

	品番	用途
	① 40141947	エスレンオイルを上糸へ塗布するときに 40141946 糸案内と組み替えて使用します。 針熱による糸切れが発生する場合や、糸の滑りを良くしたい場合に使用してください。
	② B1131528000	フェルト糸案内に組み付けるフェルトです。

2-3. バーコードリーダー



- ・バーコード読み取り装置のレーザー光を直接覗かないでください。目に障害を及ぼす場合があります。
- ・人の目に向けてレーザー光を射出させないでください。目に障害を及ぼす場合があります。
- ・光学機器で直接レーザー光を覗き込まないでください。目に障害を及ぼす場合があります。



- ・ミシンの使用温度範囲内および使用温度湿度内で使用してください。
- ・電源を供給した状態でコネクタの抜き差しをしないでください。

バーコード機能とは、カセット識別等の用途で、バーコードを読み取り、対応した縫製パターンに切り替えて縫製できる機能です。

バーコードの読み取りにより、ミシンメモリ内に保存されたユーザパターン 999 個、パターンボタンに登録されている縫製データ 50 個に切り替えることが可能です。

使用するためには、AMS-EN バーコードオプション (40089238) が必要になります。

詳細は AMS-EN シリーズバーコード読み取り装置 (オプション) の取扱説明書 / パーツリスト (40089259) を参照ください。

バーコードリーダー仕様

クラス 2 レーザー製品

最大出力：1.0mW

波長：650nm

安全規格

JIS C 6802:2005

IEC60825-1+A2:2007